

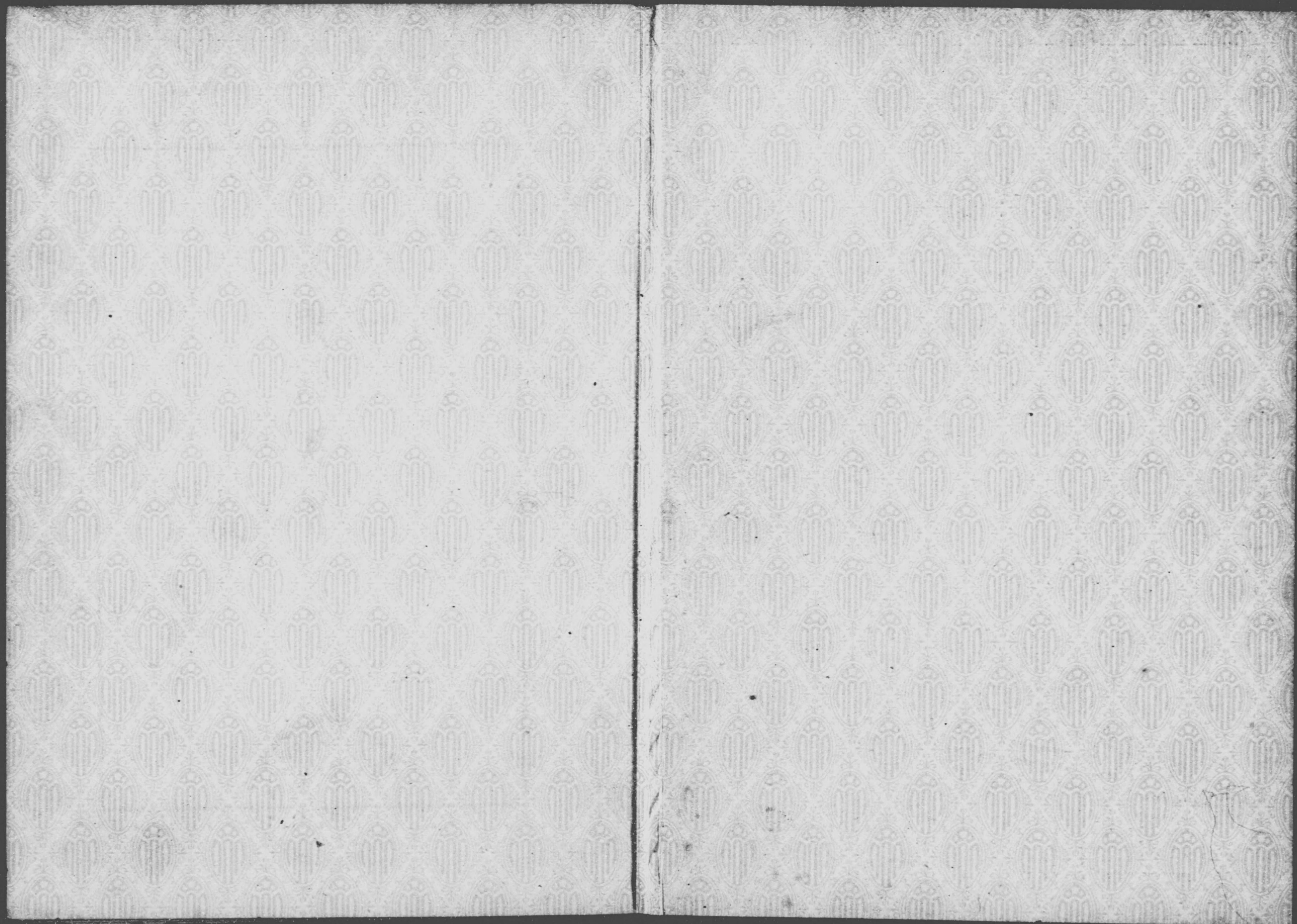




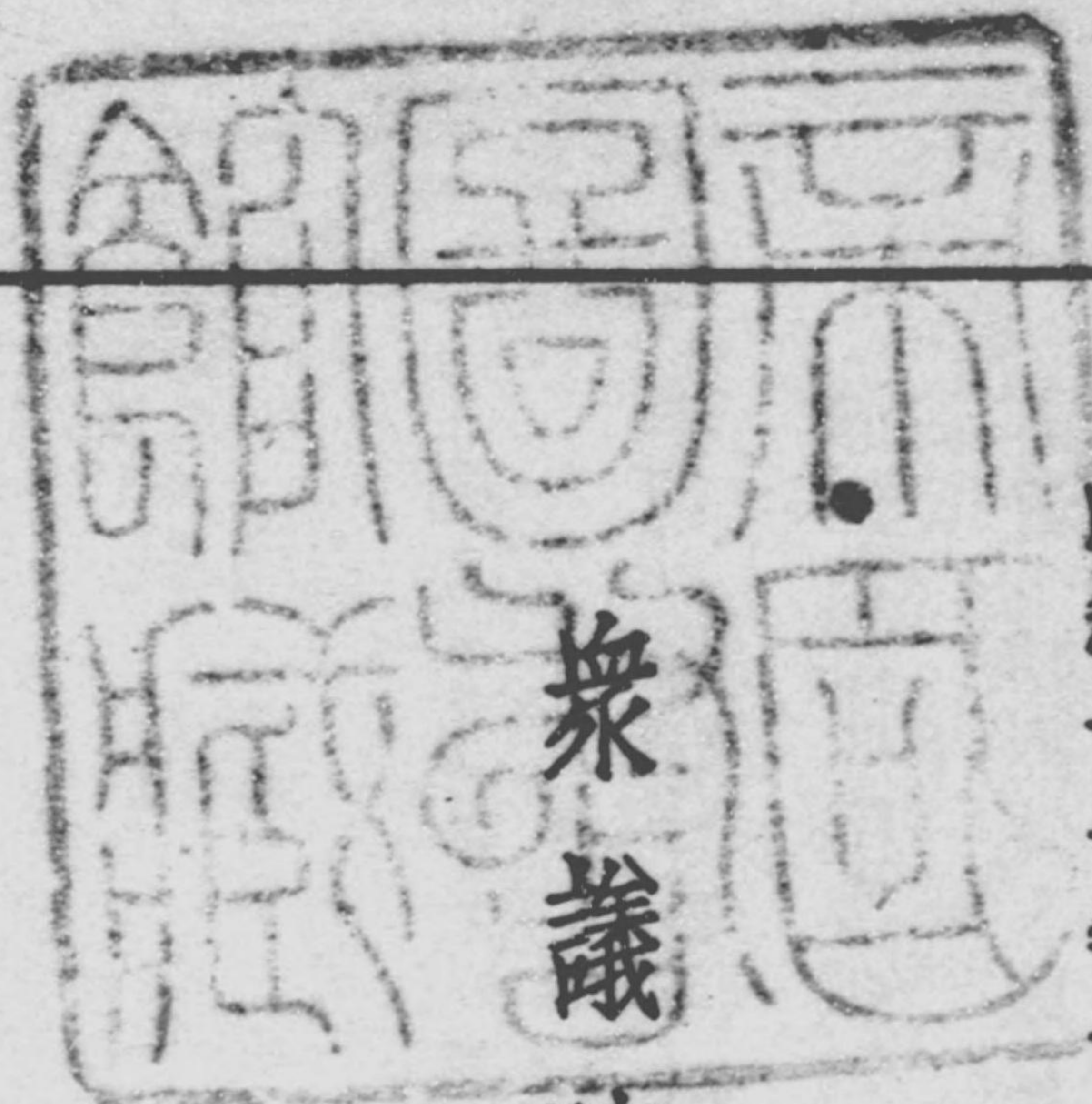
衆議院要覽











昭和十七年十一月

衆議院要覽(乙)

衆議院事務局





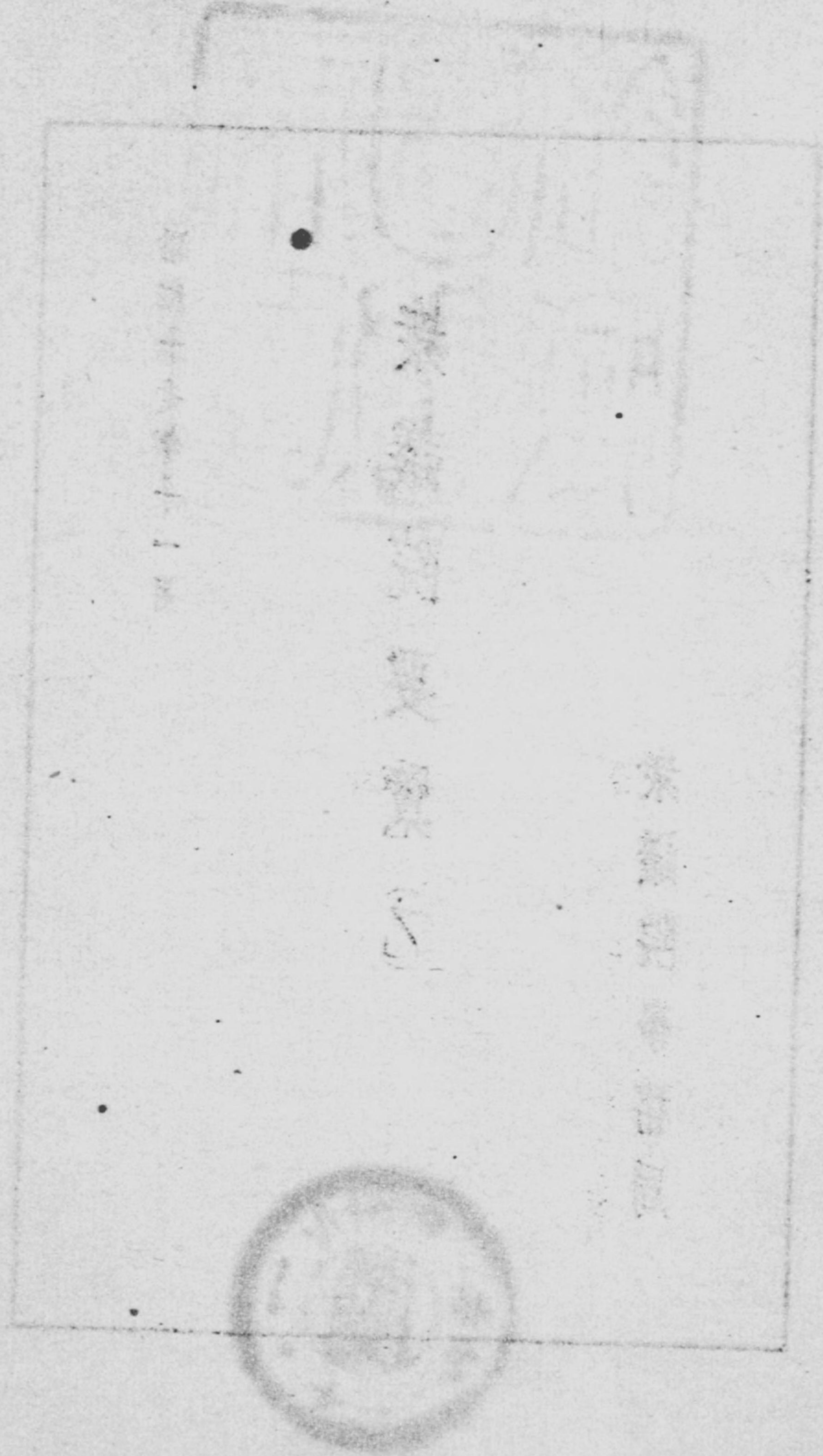
( 71 )  
377

### 凡例

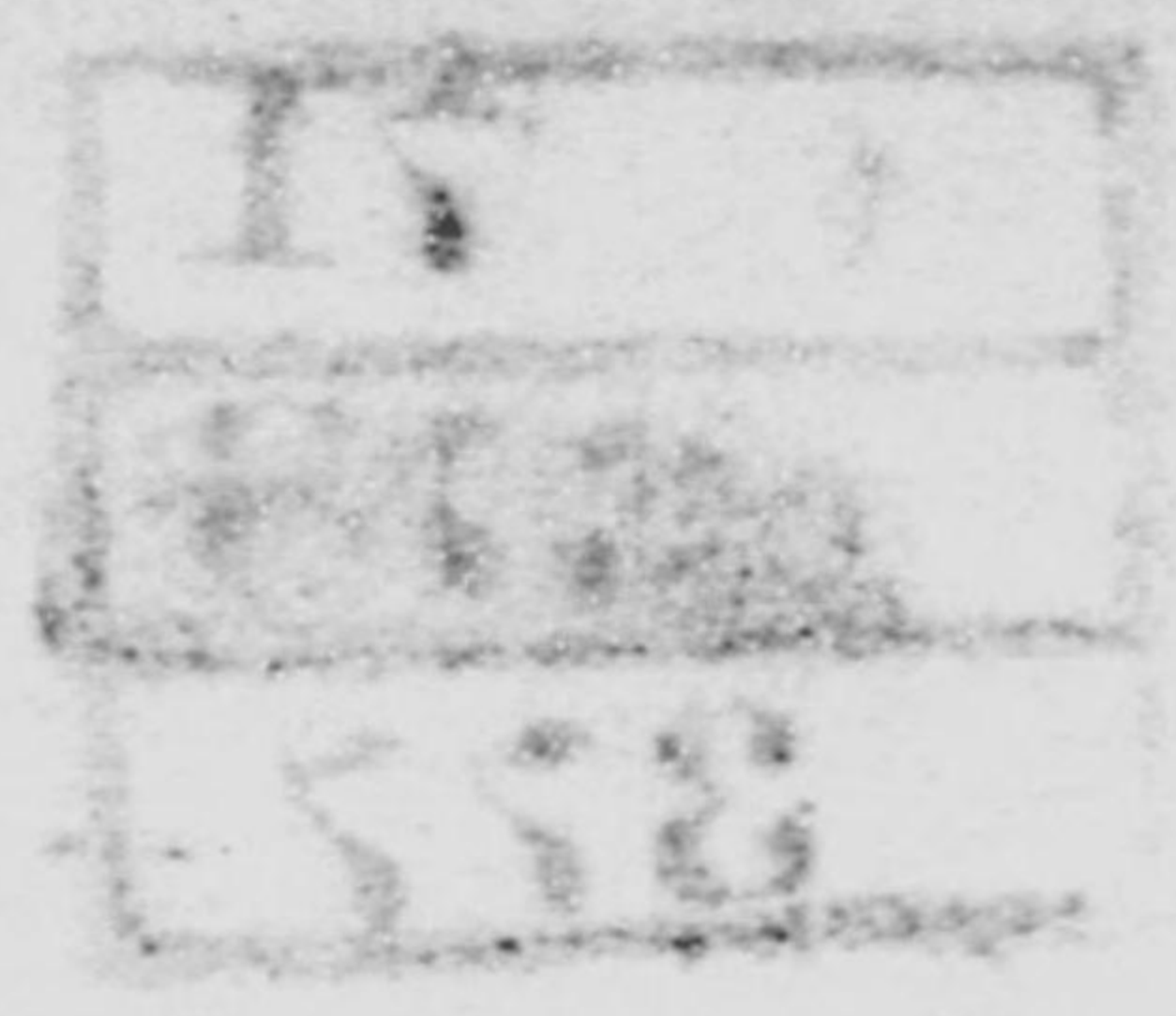
- 一 本書ハ現議員ノ寫眞及履歴ヲ輯録ス
  - 一 履歴事項ハ出生地、學歷及業務ノ梗概ヲ録スルニ止ム
- 本書ハ昭和十七年十一月現在ニ據ル

昭和十七年十一月

衆議院事務局







四庫全書

卷一百一十一

...

...

...

# 衆議院要覽(乙)

## 目次

- 議長、副議長、議員履歷 附書記官長及書記官履歷
- 議員選舉區別氏名
- 衆議院議場略圖

目次



五十音索引

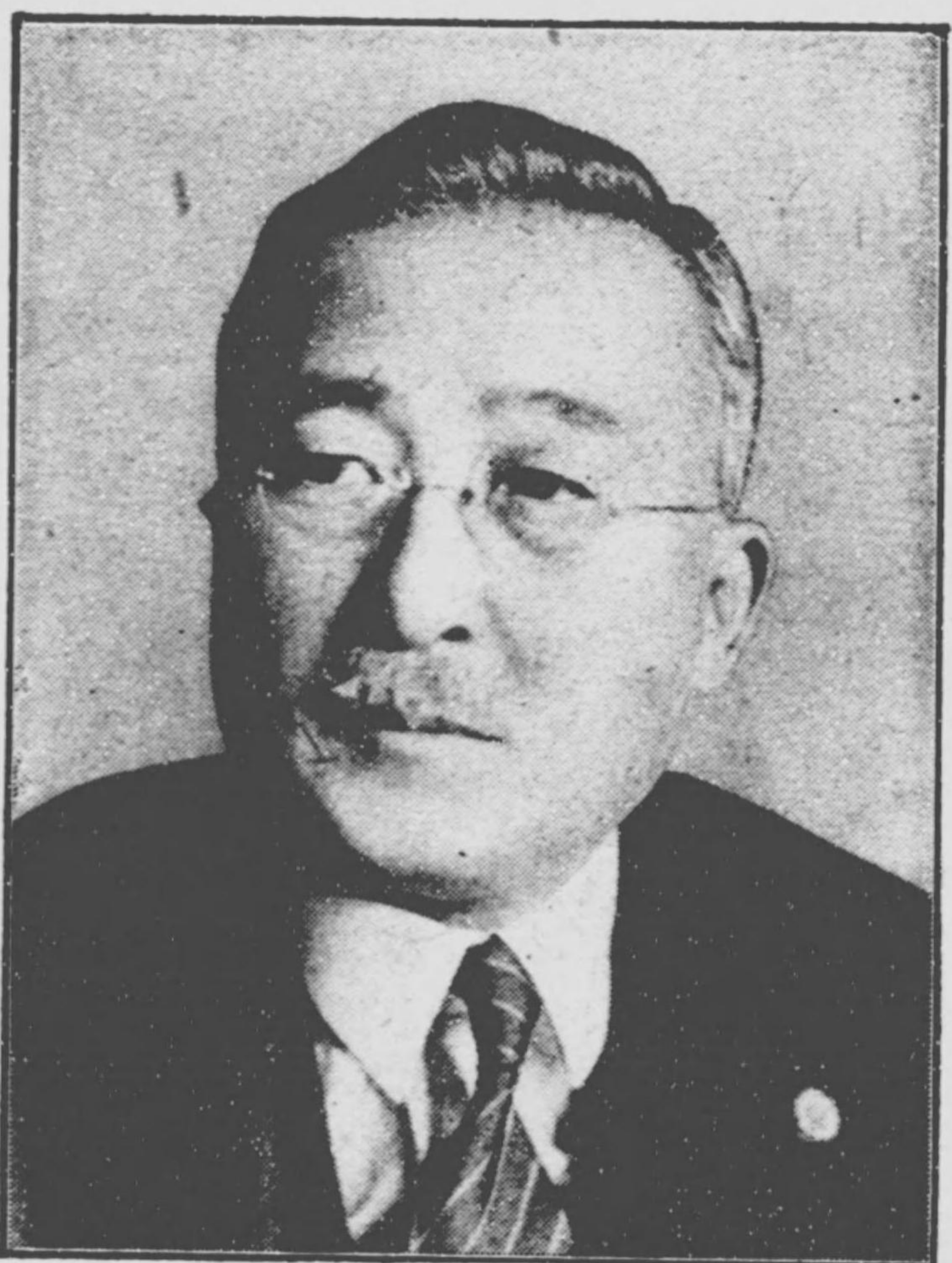
ワ	ラ	ヤ	マ	ハ	ナ	タ	サ	カ	ア
二三三	—	二二五	一八四	一六〇	一三八	一二二	九二	五二	三
ヰ(イ)	リ	イ(ヰ)	ミ	ヒ	ニ	チ	シ	キ	イ(ヰ)
二三	—	二三	二〇〇	一六九	一五五	—	一〇二	六八	二三
ウ	ル	ユ	ム	フ	ヌ	ツ	ス	ク	ウ
二九	—	二二六	二〇七	一七二	—	一三〇	一〇七	七七	二九
ヱ(エ)	レ	エ(ヱ)	メ	ヘ	ネ	テ	セ	ケ	エ(ヱ)
三三	—	三三	—	一八〇	—	一三四	—	八二	三三
ヲ(オ)	ロ	ヨ	モ	ホ	ノ	ト	ソ	コ	オ(ヲ)
三四	二三二	二二七	二〇九	一八〇	一五七	一三五	一一一	八一	三四

議長、副議長、議員履歴



岡田忠彦

岡山縣第一區選出、  
從四位勳二等  
翼贊政治會



明治十一年三月岡山市ニ生ル、同三十六年東京帝國大學法科大學政治科卒業○「南支那ノ一瞥」旋風裡ノ歐米」著書アリ○文官高等試験合格、静岡、大分各縣事務官、奈良、山口、熊本各縣警察部長、内務書記官、長崎縣、東京府各内務部長、埼玉、長野、熊本各縣知事、警保局長等ニ歴任ス、又東京市助役トナル○社會局參與、都市計畫岡山地方委員會、寺院境內地讓與審査會、資源審議會、法制審議會(臨時)、紀元二千六百年祝典評議委員會、議院制度調査會、地方制度調査會、稅制調査會各委員及帝國燃料興業株式會社設立委員被仰付、大政翼贊會顧問ヲ委嘱セラル、嘗テ哈爾濱及浦鹽斯德へ出張被仰付、前後二回歐米各國ヲ視察ス○曩ニ衆議院副議長タリ○現ニ衆議院議長タリ○當選七回(15 16 17 18 19 20 21)



内ヶ崎 作三郎

宮城縣第一區選出、  
正五位勳三等、  
翼贊政治會



明治十年四月宮城縣黒川郡富谷村ニ生ル、同三十四年東京帝國大學文科大學英文學科卒業  
○早稻田大學講師トナリ、明治四十一年英國ニ留學、同四十四年「オックスフォード、マシエスター」學院卒業、内務省ノ囑託ニ依リ英國及獨逸ノ社會事業ヲ視察ス、又明治四十二年ベルリンニ大正九年ボストンニ開催セラレタル第六回及第八回進歩的宗教世界大會ニ於ケル日本代表タリ○早稻田大學教授、理事、評議員タリ○内務參與官、文部政務次官ニ被任○社會事業調査會、神社制度調査會、度量衡制度調査會、國語審議會、宗教制度調査會、教育審議會、國民貯蓄獎勵委員會、實業教育振興調査會、科學振興調査會、内閣東北局、臨時東北地方振興計畫調査會各委員被仰付、大政翼贊會總務ヲ委囑セラル○日本外政協會理事、大日本學徒體育振興聯盟相撲部委員長ヲ囑託セラル○大正十年支那及滿洲ヲ視察調査ス○現ニ衆議院副議長タリ○當選七回(15 16 17 18 19 20 21)

安孫子 孝次

北海道第一區選出、  
正四位勳四等、  
農業、  
翼贊政治會



明治十五年十二月北海道札幌郡琴似町ニ生ル、同四十一年東北帝國大學農科大學農學科卒業○北海道廳地方農事試驗場技手、同廳立上川農事試驗場技師、北海道廳技師ニ歷任シ、北海道農事試驗場場長、北海道傷痍軍人農業訓練所長ヲ命セラル、北海道農會副會長、同會長ニ選ハル、北海道農地委員會委員、農地開發營團評議員、北海道地方電力調整委員會委員被命、農地審議會委員被仰付、内務省ヨリ歐米各國へ出張ヲ命セラル○當選一回(21)

安倍 寛

山口縣第一區選出、  
公吏、  
翼贊政治會



明治二十七年三月山口縣大津郡日置村ニ生ル、大正十年東京帝國大學法學部卒業○日置村長トナル、山口縣會議員、同參事會員、商事調停委員ニ選ハル、現ニ日置村長タリ、商工省委員被仰付、支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲滿洲國へ派遣セラル○當選二回(20 21)



安藤 覺

神奈川縣第三區選出、翼贊政治會  
僧侶



明治三十二年六月神奈川縣愛甲郡小鮎村ニ生ル、大正十四年日本大學宗教科專門部卒業○神奈川縣愛甲郡依知村安龍寺、廣德寺住職トナル、萬朝報社社會部記者、讀賣新聞社政治部記者、同副部長、同部長兼編輯局次長タリ、又其ノ間日本大學新聞研究室講師トナル、讀賣新聞社ヨリ從軍記者トシテ上海、滿洲國熱河省戰線ニ特派セラル、内務省委員被仰付○當選一回(21)

安藤 孝三

愛知縣第二區選出、翼贊政治會  
飛行機操縦士



明治三十一年五月愛知縣知多郡岡田町ニ生ル○大阪商船瓜哇丸水夫トナル、所澤飛行第四大隊ニ入隊ス、一等飛行機操縦士トナル、知多郡八幡町古見海岸水上飛行場ヲ開場シ、後同郡旭村新舞子飛行場ニ移轉ス、名古屋二見間定期飛行ニ從事シ、又和歌山新宮市間エア・タキシマ開始ス、安藤飛行機研究所ヲ創設之カ所長トナリ、飛行機操縦士、航空機關士ノ養成、飛行術、機關學、飛行機修理等ヲ指導ス、支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲北支ヘ派遣セラル○當選二回(20 21)

安藤 正純

東京府第三區選出、翼贊政治會  
正五位勳三等



明治九年九月東京市ニ生ル、同二十八年東洋大學哲學科、同三十二年早稻田大學政治科卒業、後外國語學校ニ學ブ、數論の哲學「政治と宗教との關係」教育論叢其ノ他數種ノ著書アリ○東洋大學講師、東京朝日新聞社編輯局長トナリ、大阪東京兩朝日新聞社重役ヲ兼任ス、東京労働學校長トナル、又眞龍女學校ヲ創立シ其ノ校長タリ、淺草區會議長ニ舉ケラル○文部參事官、文部政務次官ニ被任、文政審議會、宗教制度調査會、社會教育調査會、警保委員會、教育審議會、中央社會事業委員會、中央失業對策委員會、中央社會事業委員會、寺院境内地處分審查會、國語審議會各委員被仰付、歐米各國並滿洲、北支ヲ視察ス○當選八回(14 15 16 17 18 19 20 21)

阿子島 俊治

宮城縣第一區選出、翼贊政治會  
會社員



明治三十五年六月宮城縣刈田郡白石町ニ生ル、昭和二年早稻田大學政治經濟學部政治科卒業○養ニ國民新聞社政治部記者、同部次長兼論說委員タリ、日本タイプライター株式會社ニ入社南方室事務長トナル、又大政翼贊會政策局内政部囑託、東亞聯盟協會常任委員、大日本興亞同盟役員タリ、内閣委員被仰付、大政翼贊會調查局第三部副部長ヲ委囑セラル○當選一回(21)



逢澤 寛

岡山縣第一區選出、翼贊政治會  
會社重役



明治二十一年五月岡山縣御津郡宇垣村ニ生ル○中國土木合資會  
社代表社員、中國土木株式會社社長トナル、岡山商工會議所會  
頭ニ選ハル、日本土木建築工業組合聯合會理事、岡山縣土木建  
築工業組合理事長、岡山縣食糧國防團長ニ學ケラル、大政翼贊  
會岡山縣協力會議員、同岡山市常務委員ヲ委嘱セラル○當選一  
回(21)

愛野時一郎

佐賀縣第二區選出、翼贊政治會  
正八位、陸軍少尉、會社重役



明治三十三年二月佐賀縣藤津郡鹿島村ニ生ル、大正十一年中央  
大學卒業○陸軍輜重兵少尉ニ被任、祐德自動車株式會社、肥前  
鹿島運送株式會社各社長タリ、兼ニ橫濱興信銀行員、鹿島村信  
用組合長、佐賀米穀取引所理事長トナル、現ニ鹿島村長タリ、  
農林省委員被仰付、支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲北支ヘ派遣セ  
ラル○當選三回(19 20 21)

青木 精一

群馬縣第一區選出、翼贊政治會  
正五位勳三等



明治十六年四月群馬縣勢多郡新里村ニ生ル、正教神學校卒業○  
日露戰役ニ從軍ス、日本電報通信社記者、大阪新報社東京支局  
長、中央新聞社政治部長トナル、又浦鹽派遣軍司令部附日本電  
報通信社從軍記者トシテ西伯利亞一帶ヲ視察ス○遞信政務次  
官ニ被任、土木會議議員、電氣委員會、簡易生命保險積立金運  
用委員會、預金部資金運用委員會、議院制度調査會、臨時資金  
調整委員會、企畫審議會、電氣通信委員會、有機合成事業委員  
會各委員及遞信省委員被仰付、警保委員會、蠶絲委員會各委員  
被命、大政翼贊會調査委員會委員ヲ委嘱セラル、滿蘇國境方面  
ヲ視察ス○當選七回(15 16 17 18 19 20 21)

青山 憲三

石川縣第二區選出、翼贊政治會  
正五位勳四等



明治十二年九月石川縣鹿島郡中乃島村ニ生ル、同三十四年和佛  
法律學校卒業○三等郵便局長ニ任セラシメ、北陸漁業株式會社監  
査役、同取締役社長トナル、展、縣會議員、同參事會員、地  
方森林會議員、石川縣水產組合聯合會會長、帝國水產會副會長、  
石川縣水產振興會會長、全國漁業組合聯合會理事、同會長ニ選ハ  
ル、又鐵道省及農林省囑託、產業組合中央金庫評議員ヲ命セラ  
ル○内務省參事官ニ被任、石油業委員會、司法制度調査委員會、  
防空委員會、都市計畫中央委員會、同中央協力會議員ヲ委嘱セラル  
制度調査委員會、土木會議議員、同中央協力會議員ヲ委嘱セラル  
大政翼贊會調査委員會委員、同中央協力會議員ヲ委嘱セラル○  
當選六回(15 16 17 18 20 21)



赤尾 敏 東京府第六區選出、翼贊政治會



明治三十二年一月名古屋市ニ生ル○建國會會長トシテ年年建國祭ヲ舉行シ來ル、國際反共同盟理事、大日本祕會理事長タリ、内閣委員被仰付○當選一回(21)

赤城 宗徳 茨城縣第三區選出、翼贊政治會



明治三十七年十二月茨城縣眞壁郡上野村ニ生ル、昭和二年東京帝國大學法學部卒業、著書ニ「その後」「農村隨筆」「一路南進」「大東亞建設の構圖」等アリ○茨城縣會議員ニ選ハル、現ニ相續稅審査委員、茨城縣信用販賣購買利用組合聯合會理事、眞壁郡農會會長、茨城縣農會副會長、昭和六年以來上野村長タリ、大政翼贊會中央協力會議員、同茨城縣支部常務委員ヲ委嘱セラル、商工省委員被仰付、支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲支那ニ派遣、又商工省ヨリ蘭領東印度、泰國、佛領印度支那ノ經濟視察ニ派遣セラル○當選二回(20 21)

赤間 徳壽 富山縣第一區選出、翼贊政治會



明治十六年九月富山縣中新川郡濱加積村ニ生ル、同四十二年東京外國語學校本科英語學科卒業○富山商業學校教諭、富山中學校教諭ニ被任、濱加積村會議員、富山縣會議員ニ選ハル、現ニ濱加積村產業組合理事、富山縣產業組合聯合會監事、產業組合中央會富山縣支會副會長、地方金融協議會監事、富山電氣鐵道株式會社取締役、日本水力工業株式會社監査役タリ、又富山地方森林會議員、富山縣農地委員會、富山縣選舉正委員會各委員、戰時特別調停委員トナル、大政翼贊會中央協力會、同富山縣協力會各議員、同支部常務委員ヲ委嘱セラル○當選一回(21)

赤松 寅七 福岡縣第二區選出、翼贊政治會



明治十五年九月福岡縣嘉穂郡庄内村ニ生ル、陸軍士官學校及陸軍大學校卒業○陸軍歩兵少尉ヨリ累進陸軍少將ニ被任、其ノ間日露戰役ニ從軍シ、滿洲警備ニ當リ又支那廣東及南寧ニ駐在ス、歩兵第二十聯隊中隊長、參謀本部附、臺灣軍參謀、第十三師團參謀、歩兵第二十聯隊長、歩兵第四十二聯隊長ヲ命セラ、國民貯蓄獎勵委員會委員被仰付○當選一回(21)











五十嵐吉藏

群馬縣第一區選出、翼贊政治會  
農業



明治三十四年十月群馬縣佐波郡豐受村ニ生ル、群馬縣立安中蠶絲學校本科卒業○群馬縣會議員ニ三度選ハル、佐波郡養蠶業組合副組合長、有限責任販賣組合群馬社理事、同專務理事、佐波郡養蠶業組合長、群馬縣蠶絲販賣組合聯合會專務理事ニ推サル○大政翼贊會群馬縣支部參與、同協力會議員ヲ委嘱セラル、農林保險審査會委員被仰付○當選一回(21)

伊豆富人

熊本縣第二區選出、翼贊政治會  
正五位勳三等、新聞社長



明治二十一年九月熊本縣葦北郡日奈久町ニ生ル、大正四年早稻田大學政治經濟科卒業○九州日々新聞記者、東京朝日新聞記者、同盟通信社理事トナリ、現ニ熊本日日新聞社長、日本新聞聯盟評議員タリ○遞信大臣秘書官、文部參與官ニ被任、教育審議會、國語審議會、宗教制度調査會、科學振興調査會各委員及商工省委員被仰付、大政翼贊會調査委員會委員ヲ委嘱セラル、屢支那ヲ視察シ、支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲上海ニ派遣セラル○當選四回(18 19 20 21)

伊藤清

千葉縣第二區選出、翼贊政治會  
辯護士



明治二十三年十二月千葉縣匝瑳郡八日市場町ニ生ル、大正七年東京帝國大學法學部獨法科卒業、英國及獨國ニ留學シ「ロンドン」大學及「ベルリン」大學ニ於テ法律及政治經濟學ヲ研究ス○司法官試補、判事ニ被任、東京、長崎各地方兼區裁判所ニ勤務ス、後辯護士ヲ開業シ今日ニ至ル、日本大學講師、大日本興亞同盟理事トナル、日本肥料、小林鑛業、昭和電工、津田合名、鐵道塗裝工業、日本寫眞工業、鹿島組等各株式會社顧問タリ、司法省委員被仰付○當選一回(21)

伊藤五郎

山形縣第二區選出、翼贊政治會  
辯護士



明治三十五年二月山形縣北村山郡常盤村ニ生ル、昭和三年中央大學法學部卒業○高等試驗行政科並司法科合格、辯護士ヲ開業現ニ其ノ業務ニ從事ス、小作調停委員、商事調停委員、金錢債務臨時調停委員、借地借家調停委員タリ、嘗テ橫濱辯護士會副會長トナル○地方分與稅委員會委員及內閣委員被仰付、支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲北支ヘ派遣セラル○當選二回(20 21)



伊藤東一郎

岐阜縣第二區選出、翼贊政治會  
從七位勳四等、陸軍中尉、農業



明治十二年十二月岐阜縣津村ニ生ル○日露戰役ニ從軍  
ス、陸軍歩兵中尉ニ被任、石津村在郷軍人團長、鯖江聯隊區内  
在郷將校團海津郡支部長、桑名聯隊司令部在郷將校團監事、  
帝國在郷軍人會桑名支部理事、同海津郡聯合分會長、輪西中普  
通水利組合會議員、太田輪中水害豫防組合會議員トナル、石津村  
會議員、三度岐阜縣會議員ニ選ハレ、縣會副議長ニ舉ケラル、小  
作調停委員、自作農創定調査委員、金錢債務調停委員、戰時特  
別調停委員タリ、又大日本砂防協會、金錢債務調停委員、戰時特  
查會委員被仰付○支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲上海へ派遣セラ  
ル○當選三回(19 20 21)

伊藤三樹三

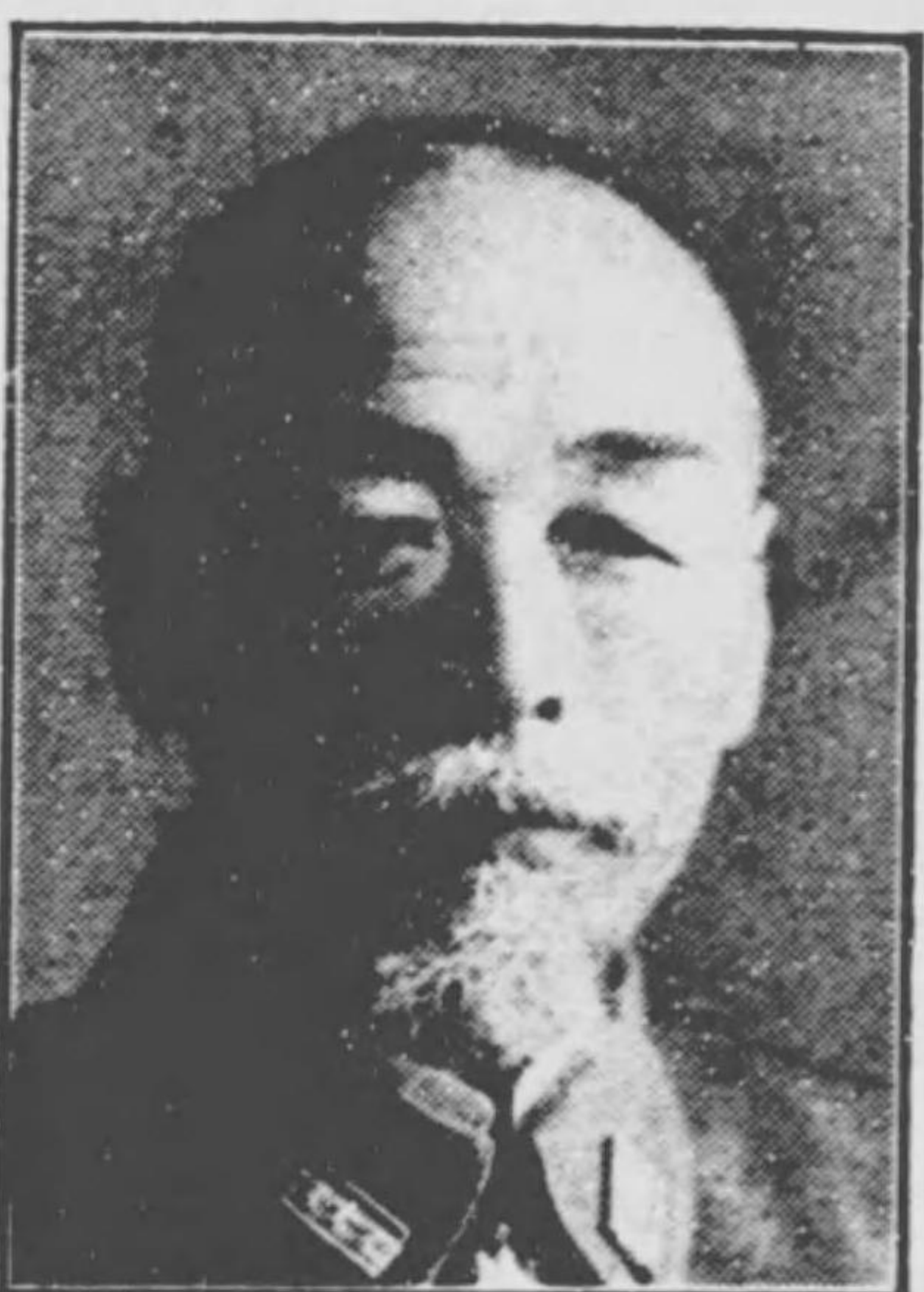
山口縣第二區選出、翼贊政治會  
農業



明治二十一年三月山口縣佐波郡柚野村ニ生ル、私立修道中學校  
卒業○騎兵軍曹ニ被任、柚野村長トナル、佐波郡會議員、郡農  
會會長、山口縣會議員、同參事會員、縣農會副會長、縣會副議  
長、同議長ニ舉ケラル、現ニ縣山林會評議員、縣木工聯合會  
長、防長紙同業組合組長、人事調停委員、縣養蠶業組合聯合會  
評議員、縣畜産組合聯合會副會長、縣職業轉換協議會委員、大  
日本傷痍軍人會山口縣支部相談役、縣港灣調査會委員、軍用保  
護馬鍛鍊會中央會參與、戰時特別調停委員タリ、大政翼贊會山  
口支部顧問ヲ委嘱セララル○當選一回(21)

伊吹元五郎

長崎縣第一區選出、翼贊政治會  
正五位勳三等、陸軍大佐



明治七年十一月長崎市ニ生ル、同三十一年陸軍士官學校卒業○  
陸軍歩兵少尉ヨリ陸軍歩兵大佐ニ累進ス、其ノ間西伯利亞ニ出  
征ス、帝國在郷軍人會長崎門市聯合分會長、同本部、同第十二師  
管聯合支部各評議員、同西彼杵郡聯合分會長トナル、又長崎ふ  
るつはもの會長、佐古梅ヶ崎招魂祭奉贊會長、長崎護國會會長タ  
リ、大政翼贊會長崎縣協力會議長、同中央協力會議員ヲ委嘱セ  
ラル、中央職業紹介委員會委員被仰付○當選一回(21)

伊禮肇

沖繩縣選出、翼贊政治會  
正五位勳三等、辯護士



明治二十六年十月沖繩縣中頭郡北谷村ニ生ル、大正八年京都帝  
國大學法學部卒業○沖繩縣屬ニ任セラル、又北谷村長ニ舉ケラ  
ル、後辯護士ヲ開業其ノ業務ニ從事ス、沖繩毎日新聞社理事ト  
ナル○拓務參與官ニ被任、海外拓殖委員會、阿片委員會、臺  
灣重要産業調整委員會、食糧品物價專門委員會、酒類及調味食  
料品價格形成專門委員會各委員、拓務省委員及大東亞省委員被  
仰付○當選六回(16 17 18 19 20 21)



猪野毛利榮

福井縣選出、翼贊政治會  
正五位勳三等、農業



明治十九年一月福井縣大野郡富田村ニ生ル、同四十五年日本大  
學法律科、同高等專攻科、善鄰書院及日本體育會體操學校卒業○  
二六新聞記者、順天中學教諭トナル、曩ニ日本浪人社ヲ創立シ  
雜誌「日本浪人」ヲ、經國社ヲ創立シ「政治及經濟界」ヲ主宰ス、  
日本大學理事、日本體育會理事タリ○司法大臣祕書官、内務大  
臣祕書官、外務政務次官ニ被任、通商審議會、資源審議會、大  
阿片委員會、關稅調查委員會、對支文化事業調查會、體育運動  
審議會各委員及外務省委員被仰付、屢、南北支那、滿洲、西比  
利亞、蒙古各地ヲ歴遊ス、皇軍慰問ノ爲議員團長トシテ南支那  
ヘ派遣セララル○佛國政府ヨリ「オファイシエド・ロドル」デユカ  
ンボージニ勳章ヲ贈ラル○當選六回(15 17 18 19 20 21)

飯塚茂

埼玉縣第一區選出、翼贊政治會  
鑛業



明治二十二年七月栃木縣下都賀郡三鴨村ニ生ル、大正四年慶應  
義塾大學部法律科卒業○現ニ馬來半島ジヨホール州所在飯塚鐵  
鑛株式會社社長タリ、大藏省委員被仰付○當選一回(21)

池崎忠孝

大阪府第三區選出、翼贊政治會  
正五位、著述業



明治二十四年二月岡山縣阿哲郡萬歲村ニ生ル、大正六年東京帝  
國大學法科卒業、「藝術上の理想主義」「日本潜水艦」「太平洋戰  
略論」英米現勢論「最近軍事問題論」放「國防の立場から」其ノ  
他數種ノ著書アリ○萬朝報社員、大阪時事新報社顧問トナル、  
後辭シテメリヤス製造業ニ從事ス○大阪時事新報社顧問トナル、  
制度調査會、國語審議會、體育運動審議會、宗敎制度調査會、  
教育審議會、史蹟天然紀念物調査會、審議會、宗敎制度調査會、  
及厚生省委員被仰付、大政翼贊會參與ヲ委嘱セララル○當選三回(19 20 21)

池田秀雄

佐賀縣第一區選出、翼贊政治會  
從四位勳二等



明治十三年二月佐賀縣小城郡三日月村ニ生ル、同四十二年東京  
帝國大學法科大學卒業○文官高等試驗合格、東京朝日新聞記者  
トナル、後拓殖局書記官、長野、廣島、宮城、各縣理事官、内務部  
縣警部長、秋田縣知事、外務省朝鮮總督府殖産局長、北海道  
長官、秋田縣知事、京師總督府殖産局長、北海、道、道、道、道、道、  
務次官ニ歴任ス、京城振興委員會、傷痍軍人保護對策審議會、東北振  
興調査會、重要肥料國產振興委員會、傷痍軍人保護對策審議會、統制  
委員會、軍人援護對策審議會、各委員被仰付、百貨店委員會、統制  
引所制度調査會、臨時產業公理局小賣業改善調査會各委員被仰付、  
大政翼贊會調査會、當選四回(18 19 20 21)



池田正之輔

山形縣第二區選出、翼贊政治會  
會社重役



明治三十一年一月山形縣飽海郡觀音寺町ニ生ル、大正十四年日本大學政治科卒業○日本大學出版部長、やまと新聞社支那特派員、讀賣新聞社記者、司法省及遞信省囑託、報知新聞社論說委員、同社常務取締役兼總務局長ヲ經テ同盟通信社理事トナル、東北畜産興業株式會社監查役ニ就任ス、鐵道省委員被仰付、大政翼贊會中央協力會議員ヲ委囑セララル○當選一回(21)

池本甚四郎

京都府第二區選出、翼贊政治會  
從七位、醬油釀造業



明治二十三年十一月京都府久世郡小倉村ニ生ル、大正二年山口高等商業學校卒業○京都市立第一商業學校教諭、小倉村長、京都府會議員、同議長タリ、又所得調査委員、帝國耕地協會理事トナル、現ニ郡農會議員、相續稅審查委員、巨椋池耕地整理組合長、京都府耕地協會副會長、帝國耕地協會顧問タリ、農林省委員被仰付○支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲北支那へ派遣セララル○當選三回(19 20 21)

石樽敬一

岐阜縣第一區選出、翼贊政治會  
從七位、陸軍中尉、農業



明治二十三年十二月岐阜市ニ生ル、岐阜縣農林學校農科卒業○陸軍歩兵中尉ニ被任、岐阜市主事トナリ、岐阜縣稻葉郡三里村長、同農會長、縣農會議員、縣會議員、同副議長ニ選ハル、縣會全員委員長、小作調停委員、國勢調査委員、郡農會評議員、加納、三里各耕地整理組合長、帝國在郷軍人會本會評議員、同岐阜市聯合分會長、岐阜市警防團長等タリ、都市計畫岐阜地方委員會委員被仰付○當選一回(21)

石坂繁

熊本縣第一區選出、翼贊政治會  
從七位、陸軍主計中尉、辯護士



明治二十六年一月熊本縣菊池郡西合志村ニ生ル、大正八年東京帝國大學法科大學獨法科卒業○三井物産株式會社神戸支店ニ勤務ス、陸軍三等主計ニ被任、同一等主計ニ進ム、後辯護士ヲ開業其ノ業務ニ從事ス、熊本縣會議員ニ選ハル、私立合志義塾講師、帝國在郷軍人會手取分會長、熊本海外協會理事タリ、都市計畫熊本地方委員會委員、拓務省委員及大東亞省委員被仰付、熊本縣農地委員會委員被命、大政翼贊會中央協力會議員ヲ委囑セララル、衆議院ヨリ南洋視察ノ爲派遣セララル○當選三回(19 20 21)



石坂養平

埼玉縣第二區選出、翼贊政治會  
農業



石田善佐

新潟縣第四區選出、翼贊政治會  
著述業



明治十八年十一月埼玉縣大里郡奈良村ニ生ル、大正二年東京帝國大學文科大學哲學科卒業、「文藝中道」「偃仰錄」「文明の高士」ノ著書アリ○株式會社武州銀行監査役、熊谷製絲株式會社取締役、松本米穀肥料株式會社監査役トナル、埼玉縣會議員、同副議長ニ擧ケラル、大里郡農會長、全國養蠶組合聯合會副會長、帝國農會評議員、埼玉縣養蠶組合聯合會長、縣農會長、大里郡青年團長タリ、農林省委員被仰付○當選四回(16 19 20 21)

明治二十六年八月新潟縣東頸城郡下保倉村ニ生ル、大正六年早稻田大學政治經濟科卒業、「雪に生活する」其ノ外教育關係翻譯書數種アリ○高田日報社主筆、高田時事新聞社、高田毎日新聞各社長、上越新聞社顧問トナル、高田市會議員、新潟縣會議員ニ選ハル、大政翼贊會新潟縣支部參與、同新潟縣協力會議員、同中央協力會議員ヲ委嘱セラル、遞信省委員被仰付○當選一回(21)

一宮房治郎

大分縣第一區選出、翼贊政治會  
正五位勳三等、會社員



出井兵吉

埼玉縣第三區選出、翼贊政治會  
勳三等、農業



明治十七年九月大分縣速見郡豐岡町ニ生ル、同三十七年上海東亞同文書院卒業○漢字新聞北京順天時報記者、大阪朝日新聞東京通信員トナリ奉天ニ漢字新聞記者、盛京時報社ヲ創立シ其ノ主幹理事ヲ兼ヌ、後大阪朝日新聞記者、盛京時報社長、東亞同文會被任、労働保險調査會、都市計畫中央委員會各臨時委員、對支文化事業調査會、保險衛生調查會、衆議院議員選舉修正審議會、神社制度調査會、國民貯蓄獎勵委員會、教育審議會各委員、內閣委員及大東亞省委員被仰付、南北米及歐洲各國ヲ視察ス○當選七回(13 14 16 17 19 20 21)

明治四年六月埼玉縣北埼玉郡須影村ニ生ル、慶應義塾ニ學ブ○村會議員、郡會議員、同議長、村農會長、同消防組頭、縣會議員、同副議長、同議長、郡農會評議員、埼玉縣勤儉獎勵會委員、同小作調停委員、土地賃貸價格調査委員、經濟更生委員會委員、同人事調停委員等ニ擧ケラル、又私立不動中學校理事、財團法人埼玉共濟會評議員兼理事、同副議長、埼玉縣村農會長、行田運送倉庫株式會社取締役社長トナル、現ニ秩父鐵道株式會社取締役、合同運送株式會社取締役社長ニシテ縣山林會理事兼副議長、財團法人日本青年館評議員、村教育會長、縣教育會副會長、埼玉縣社會事業協會北埼玉支部長、村農會長、北埼玉養蠶業組合長等ノ公職ニアリ、土木會議議員、神宮關係施設調査委員、交通事業調整委員會委員被仰付○當選六回(16 17 18 19 20 21)



泉 國三郎

岩手縣第二區選出、翼贊政治會  
辯護士



明治二十九年十二月岩手縣氣仙郡世田米村ニ生ル、「泉國三郎演說集」「東北凶作を語る」ノ著書アリ○警視廳巡查ヲ命セラル、辯護士試験ニ合格、辯護士ヲ開業其ノ業務ニ従事ス、遠野町會議員、岩手縣會議員ニ選ハル、又遠野消防組頭、同町助役、遠野町警防團長トナル、人事調停委員、金錢債務臨時調停委員、借地借家調停委員被命、臨時東北地方振興計畫調查會委員、内閣委員被仰付、大政翼贊會岩手縣支部顧問、翼贊青年團顧問ヲ委嘱セラル、支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲滿洲國へ派遣セラ  
ル○當選二回(20 21)

稻葉 圭亮

新潟縣第二區選出、翼贊政治會



明治十九年十二月新潟縣岩船郡村上本町ニ生ル、大正六年東京帝國大學法科大學政治科卒業○東亞研究所員トナル、厚生省委員被仰付○當選一回(21)

犬 養 健

岡山縣第二區選出  
正五位勳三等、著述業



明治二十九年七月東京市ニ生ル、東京帝國大學文學部哲學科ニ學ブ、「南京六月祭」「犬養健集」二つの時代」其ノ他文學ニ關スル著書數種アリ○法政大學講師トナル○内閣總理大臣秘書官、遞信參與官ニ被任、簡易生命保險積立金運用委員會、著作權審查會、船舶管理委員會、臨時電力調查會、電力審議會、航空機製造事業委員會、電氣通信委員會各委員、日本發送電株式會社設立委員、興亞委員會幹事及中華民國派遣特命全權大使隨員被仰付、海事審議會、航空事業調查會各委員被命○當選五回(17 18 19 20 21)

今 井 新 造

山梨縣選出、翼贊政治會  
會社員、大日本武德會劍道教士



明治二十七年一月甲府市ニ生ル、「劍道雜話」ノ著書アリ○多年魚問屋業ニ従事シ後株式會社山梨モータース商會ヲ設立シ現ニ其ノ專務取締役、株式會社山梨開發協會取締役、甲府魚市場株式會社顧問タリ、又甲府市聯合青年團長ニ選ハレ現ニ其ノ顧問及大日本消防協會山梨支部幹事タリ、山梨縣警察部、憲兵分隊等員ニ學ケタル、又武德會山梨支部、山梨縣警察部、憲兵分隊等ノ劍道教師トナル、劍道精練證ヲ賜ハリ劍道二段ヲ允許セラ  
ル次テ劍道教士號ヲ賜ハリ、昭和十年宮中ニ於ケル武道天覽試合ニ出場ス、社會事業調査委員會及大政翼贊會中央協力會議員ヲ委嘱セラ  
ル、中央社會事業委員會委員、内閣委員及大東亞省委員被仰付○支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲中支那へ派遣セラ  
ル○當選三回(19 20 21)



今井健彦

千葉縣第二區選出、翼贊政治會  
正五位勳三等



今井嘉幸

兵庫縣第一區選出、翼贊政治會  
正七位、陸軍少尉、法學博士、辯護士



明治十六年七月靜岡縣榛原郡初倉村ニ生ル○中央新聞、中外商  
業新報ニ入社シ後福井日報社長トナル○農林參與官、商工政務  
次官ニ被任、石油業、交通事業調整、重要肥料業、關稅調查、製  
鐵事業、重要礦物、液體燃料、國民貯蓄獎勵、瓦斯事業、中央  
物價、中央電力調整各委員會委員、議會制度審議會、貿易審議  
會各委員、輕金屬製造事業委員會委員及文部省委員被仰付、審議  
政翼贊會調査委員會委員ヲ囑セラル○滿洲支那及南洋方面大  
ヲ視察ス、第十四回萬國議院商會會議及第二十五回列國議會同  
盟會議ニ參列シ歐洲各國ヲ視察ス、支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ  
爲團長トシテ北支那へ、又視察ノ爲滿洲、南洋、中南米へ派遣  
セラル○當選七回(15 16 17 18 19 20 21)

今尾登

京都府第一區選出、翼贊政治會  
新聞社員



明治三十二年八月兵庫縣加東郡河合村ニ生ル、大正十三年同志  
社大學法學部政治科卒業、米國へ留學ス○大阪毎日、東京日日新  
聞社へ入社、同社ヨリ「ゼネバ」及米國へ特派セラル、大日本相  
撲協會顧問タリ、商工省委員被仰付○當選一回(21)

今成留之助

新潟縣第三區選出、翼贊政治會  
從七位勳四等、辯護士



明治十五年十二月高田市ニ生ル、同四十年日本大學專門部卒業  
○判檢事登用試験ニ合格ス、曩ニ稅務屬ニ被任、日露ノ役ニ從  
軍ス、後司法官試補ヲ經テ判事ニ任セラレ、甲府地方兼區裁判  
所判事、新潟地方裁判所判事ニ補セラル、後辯護士ノ業務ニ從  
事ス、新潟市會議員、同參事會委員、新潟縣會議員、同參事會委員  
ニ選ハル○支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲中支那及北支那へ二回  
派遣セラル○當選二回(20 21)



今牧嘉雄

東京府第三區選出、翼贊政治會  
醫學博士、醫師



岩瀬亮

千葉縣第三區選出、翼贊政治會  
勳三等、會社重役



明治三十年十二月富山縣射水郡新湊町ニ生ル、大正九年長崎醫學專門學校卒業、京都帝國大學ヨリ醫學博士ノ學位ヲ授與セラ  
ル○別府市朝見病院長ニ就任ス、後東京ニ於テ開業ス、日本醫  
師會理事タリ、醫藥制度調査會委員及內務省委員被仰付、日本  
醫療團評議員被命、大政翼贊會東京府支部常務委員、同中央協  
力會議員ヲ委囑セララル○當選一回(21)

明治三十一年十二月千葉縣夷隅郡興津町ニ生ル、東京殖民貿易  
語學校高等科卒業、「日本及各國澱粉事情」ノ著書アリ○現ニ  
日本澱粉株式會社、櫻組工業株式會社、辰巳倉庫株式會社、樺  
太炭業株式會社、昭和炭業株式會社、昭和航空計器株式會社、樺  
社長、日本輸出農產物株式會社參與、昭和火藥株式會社取締役、  
日本澱粉工業組合聯合會理事、財團法人保險教育財團、大日  
本映畫協會各理事タリ○日本輸出農產物株式會社設立委員及農  
林省委員被仰付、食料農林水產物價格形成專門委員會委員被命、  
大政翼贊會調査會委員ヲ委囑セララル○馬來半島其ノ他南洋各地  
ノ實業ヲ視察ス、又第二十八回列國議會同盟會議ニ參列歐米各  
國ヲ視察ス○當選四回(18 19 20 21)

宇田耕一

高知縣第一區選出、翼贊政治會  
從七位勳五等、陸軍中尉、會社重役



明治三十七年十月高知市ニ生ル、昭和四年京都帝國大學法學部  
卒業○陸軍中尉ニ被任、南滿洲鐵道株式會社員、白洋汽船、高  
知瓦斯、高知新聞社、共同產業、帝國製鐵各株式會社取締役、  
土佐交通株式會社取締役副社長、株式會社澁川製鋼所取締役會  
長、高知縣木材株式會社副社長、土佐電氣株式會社取締役社長  
等ニ就任ス、四國配電株式會社設立委員被命、高知縣森林組合  
聯合會會長トナル、木材統制委員會臨時委員及商工省委員被仰  
付、大政翼贊會高知縣支部常務委員、同縣翼贊壯年團長ヲ委囑  
セララル○當選一回(21)

卯尾田毅太郎

富山縣第二區選出、翼贊政治會  
勳四等、會社重役



明治二十七年四月富山縣射水郡新湊町ニ生ル、大正七年早稻田  
大學商科卒業○神戸貿易會社員トナル、富山縣會議員、同參事  
會員ニ選ハル、又新湊町職業紹介所長、富山縣出稼者保護組合  
新湊支部長トナル、五度新湊町長ニ重任ス、越中鐵道、日本海  
木材、富山セメント、新湊商業各株式會社取締役及監查役、射  
水水產會顧問、新湊信用組合理事、新湊商工會頭タリ、都市  
計畫富山地方委員會委員及鐵道省委員被仰付、支那事變ニ際シ  
皇軍尉問ノ爲北支ヘ派遣セララル○當選二回(20 21)



上田孝吉

大阪府第三區選出、  
正五位勳三等、辯護士



明治十九年九月石川縣石川郡金山町ニ生ル、大正四年東京帝國大學獨法科卒業○辯護士ノ業務ニ従事ス、大阪市會議員、同參事會、同副議長ニ舉ケラル○遞信參事、大正八年東京帝國大學各委員、米穀配給調整中央委員會、都市計畫中央委員會、管理委員會、航空機製造事業委員會、電力審議會、海軍審議會、資各委員、日本發送電株式會社、大日本航空株式會社、重要物會管理營團各設立委員及工商省委員被仰付、航空事業調査委員變ニ際シ皇軍慰問議員團長トシテ北滿ヘ派遣セララル○當選五回(17 18 19 20 21)

植松練磨

福島縣第三區選出、  
從四位勳二等(旭)功三級、海軍少將



明治十六年四月福島縣相馬郡鹿島町ニ生ル、海軍大學校及海軍水雷學校高等科卒業○海軍少將ニ被任、其ノ間第七十四號水雷艇長、鳳艇長、水雷學校第二頭、逐隊司令、利根驅逐艦長、海軍指揮官、水雷學校第三頭、第四水雷戰隊司令官、海軍潛水學校校長、第三、第四水雷戰隊司令官、特別陸戰隊司令官、北振興株式會社社長、東洋經濟研究所顧問、東北船渠造船株式會社及東北振興會精密機械株式會社各取締役ニ就任シ現在ニ至ル○當選一回(21)

植村武一

奈良縣選出、  
牛乳搾取業、  
翼贊政治會



明治三十一年九月奈良市ニ生ル、大正八年東京帝國大學農學部獸醫學實科卒業○奈良市會議員、同議長、奈良縣會議員、同副議長ニ選ハル、奈良市常會員トナリ、又大政翼贊會奈良縣支部常務委員ヲ委嘱セララル、拓務省委員及大東亞省委員被仰付○當選一回(21)

牛塚虎太郎

東京府第一區選出、  
正三位勳一等、  
翼贊政治會



明治十二年四月富山縣射水郡水戸田村ニ生ル、同三十八年東京帝國大學法科大學政治學科卒業、「大禮要義」立儲要義、市政四年「等ノ著書アリ○文官高等試驗合格、遞信屬、同書記官兼商船學校教授、地方海員審判所審判官、內閣書記官、大喪使事務官、大禮使事務官、國勢院部長、岩手、群馬、宮城各縣知事及東京府知事ニ歴任ス、其ノ間中央大學講師ニ應嘱ス、麴町區會議員、同議長、東京市會議員ニ當選ス、巖二東京市長ヲ委嘱セララル○當選一回(21)







江藤源九郎



奈良縣選出、翼贊政治會  
從四位勳二等功四級、陸軍少將

小笠原 三九郎



愛知縣第四區選出、翼贊政治會  
正五位勳四等

明治十八年四月愛知縣幡豆郡室場村ニ生ル、同四十四年東京帝國大學法科大學卒業、南洋紀要、金買入法と金の諸問題、東京支店書記、同廣東支店長、同本店總務部助役、同頭取席助役、華南銀行專務取締役、南洋倉庫株式會社社長、臺灣土地開拓株式會社取締役、昭南鐵礦株式會社社長トナリ、現ニ極洋捕鯨ニ被任、臨時資金調整、電氣通信、米穀取引事業審議、自參與官ニ被任、臨時米穀統制、米穀配給調整中央、農林作農創設維持、絲價安定、米穀統制、地方競馬整理審查會、農林計畫、重要肥料業各委員、中小產業調查會各委員及大藏省議會、相續稅物納制度調查會、中小產業調查會各委員及大藏省委員被仰付、大政翼贊會參與ヲ委嘱セララル○當選三回(182021)

小笠原 八十美



青森縣第一區選出、翼贊政治會  
畜產業

明治二十一年六月青森縣上北郡十和田村ニ生ル○十和田湖畔ニ於テ旅館、遊覽船、自動車營業ヲナス、屢、二本木町會議員、青森縣會議員、同參事會員ニ選ハル、二本木產馬畜產組合總代會議員、同評議員、同畜產組合長、同產牛畜產組合長、上北郡水產會會長、三本木消防組頭、同養蠶實行組合長、青森縣養蠶組合代議員、保證責任利用組合上北病院組合長理事、青森縣購買販賣組合聯合會理事、三本木町農會總代トナル、所得調查委員、日本馬事會評議員、南支那及中支那へ派遣セララル○當選三回(192021)

小川郷太郎



岡山縣第二區選出、翼贊政治會  
從三位勳二等、法學博士

明治九年六月岡山縣淺口郡里庄村ニ生ル、同三十六年東京帝國大學法科大學卒業、經濟學通論、財政學、銀行法理由、其ノ他數種ノ著書アリ○京都帝國大學法科大學講師、同助教、教授ニ被任、歐米ニ留學スルコト數年、歸朝後同大學教授ニ被任、經濟學部長ニ補セラル、立命館大學、同志社大學、關西大學等ノ講義ヲ兼ヌ、又京都商業會議所特別議員、拓殖大學學監、大藏省次官、商工大臣、鐵道大臣ニ被任、資源審議會副總裁、大政翼贊會、中央金庫設立委員、鐵道大臣ニ被任、經濟調查會、米穀調查會、絲價委員會、帝國經濟調查委員會、人口食糧問題、金運委員會、企業審議會、中央物價委員會、國家總動員審議會、物價對策審議會、各委員被仰付、人造絹織物及ス・フ織物單純化各委員會會長、帝都高速交通營團設立委員長被命○當選八回(1315161718192021)



小澤 治

茨城縣第一區選出、翼贊政治會  
從七位、陸軍中尉、農業



明治十八年三月茨城縣稻敷郡本原村ニ生ル、成城學校卒業○陸  
軍歩兵中尉ニ被任、三度茨城縣會議員ニ選ハル、現ニ帝國在郷  
軍人會稻敷郡聯合分會長、稻敷郡養蠶組合長、同郡農會長、同  
郡壯年團長タリ、皇軍慰問ノ爲南支那ヘ派遣セララル○當選一回  
(21)

小田 彦太郎

宮崎縣選出、翼贊政治會  
從七位勳六等、陸軍中尉



明治二十一年一月延岡市ニ生ル、同四十三年東京帝國大學農科  
大學林學實科卒業○陸軍歩兵中尉ニ被任、延岡町會議員、同町  
長、延岡市會議員、同議長、宮崎縣會議員、同副議長、延岡商  
工會議所議員、同會頭ニ舉ケラル、延岡瓦斯、延岡チツソロ  
イド加工、高千穂運輸、宮崎縣木材各株式會社取締役、延岡バ  
ス株式會社監査役、宮崎縣瓦斯用木炭株式會社取締役社長トナ  
ル、所得稅營業收得稅調查委員、商事調停委員、金錢消費貸借  
調停委員、宮崎縣地方森林會議員被命○當選一回(21)

小高 長三郎

千葉縣第三區選出、翼贊政治會  
正五位勳三等



明治二十三年十一月千葉縣山武郡蓮沼村ニ生ル、同四十三年大  
倉商業學校卒業、「立憲政友會史」七卷ヲ編纂、「立憲政友會報  
國史」ノ著書アリ○自由通信社會計課勤務、外交部長、支配  
人ヲ經テ同社長トナル○外務參與官ニ被任、宗教制度調查會  
委員、對支文化事業調查會委員及外務省委員被仰付、皇軍慰問  
ノ爲滿洲國及南支那ヘ派遣セララル、又支那ヲ視察ス○當選四回  
(18 19 20 21)

小野 義一

高知縣第二區選出、翼贊政治會  
從四位勳二等、大學教授



明治九年十月高知縣幡多郡宿毛町ニ生ル、同三十六年東京帝國  
大學法科大學政治科卒業○文官高等試驗合格、大藏屬、煙草專  
賣局事務官、樺太民政署事務官、大藏書記官、大藏大臣秘書官、  
大藏省銀行局長、理財局長、大藏次官等ニ  
歴任ス、曩ニ東京市助役トナル、現ニ拓殖大學教授タリ、臨時  
法制審議會幹事、臨時財政經濟調查會幹事、關稅訴訟審査委員  
會、簡易生命保險積立金運用委員會、港灣調查會、臨時審査委員  
正調査委員會、社會事業調查會、米穀委員會、勞働保險調查會、改  
都市計畫中央委員會、神戶市調查會、明治神宮造營局評議會、  
議員會、物價對策審議會、預金部資金運用委員會、各委員、鐵道委  
員會、被仰付、在官中歐米各國ヘ差遣ハサル、又歐洲ヲ視察ス  
○當選二回(15 21)







小山田義孝

秋田縣第二區選出、翼贊政治會  
正五位勳三等、陸軍主計少尉



明治二十九年十一月秋田縣仙北郡強首村ニ生ル、大正八年早稲田大學專門部政治經濟科卒業○陸軍三等主計ニ被任、強首村會議員、秋田縣會議員、同參事會員、強首村長ニ學ケラル、又強首村農會長、淀川村耕地整理組合長トナル○陸軍參與官ニ被任、地方競馬整理審査會委員及鐵道省委員被仰付○當選四回(18 19 20 21)

尾崎行雄

三重縣第二區選出  
正三位勳一等(旭)



安政六年十一月神奈川縣津久井郡中野町ニ生ル、慶應義塾ニ學フ○統計院權少書記官、外務省參事官、文部大臣、司法大臣ニ歷任ス、又東京市長ニ學ケラル、曩ニ新潟新聞、報知新聞、朝日新聞記者トナル、日本大博覽會評議員被仰付、歐米ニ漫遊ス、又第十六回列國議會同盟會議ニ參列ス○永年在職議員トシテ院議表彰セラル○當選二十一回(1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21)

越智太兵衛

奈良縣選出、翼贊政治會



明治十五年十一月奈良縣添上郡治道村ニ生ル、奈良縣立郡山中學校卒業○發志院信用組合理事長、奈良縣信用購買聯合會理事、同會長、產業組合中央金庫評議員トナル、現ニ全國購買販賣組合聯合會長、產業組合中央會理事、滿洲化學工業株式會社取締役、有機肥料配給株式會社監查役等タリ、農林計畫委員會委員被仰付、中央食糧營團設立委員及理事被命、大政翼贊會中央協力會議員ヲ委嘱セラル○當選一回(21)

大麻唯男

熊本縣第一區選出、翼贊政治會  
正五位勳三等(旭)



明治二十二年七月熊本縣玉名郡梅林村ニ生ル、大正三年東京帝國大學法科大學政治科卒業○文官高等試驗ニ合格、山梨、山形、神奈川各縣警視、山形縣理事官、內務事務官、臨時震災救護事務局事務官、內務兼外務各書記官、內閣總理大臣祕書官、文部參與官ニ歷任ス、臨時條約改正調査委員會幹事、體育運動審議會委員被仰付、大政翼贊會總務ヲ委嘱セラル、西伯利亞及支那ヲ視察ス○羅馬尼皇帝ヨリ「エトアル・ド・ルー・マニー」第五等勳章、佛蘭西政府ヨリ「コンマン・ドール・ドラゴン・ド・ランナン」勳章ヲ贈ラル○當選七回(15 16 17 18 19 20 21)



大石 齊 治

富山縣第二區選出、翼贊政治會  
從七位勳五等、陸軍中尉、農業



明治八年二月富山縣氷見郡氷見町ニ生ル、石川縣農學校本科卒業  
業○陸軍歩兵中尉ニ被任、實業學校教員資格檢定試驗合格、富  
山縣農學校教諭、郡立上伊那甲種農學校教諭兼舍監、徳島縣立  
農學校教諭兼舍監、富山縣郡立農學校校長兼教諭等ニ歷任ス、氷  
見町會議員、富山縣會議員ニ選ハル、又高岡市助役トナル、帝  
國在郷軍人會氷見郡聯合分會長タリ、都市計畫富山地方委員會  
委員、土木會議議員被仰付○當選一回(21)

大 石 大

高知縣第一區選出、翼贊政治會  
勳四等、農業



明治十一年一月高知縣長岡郡長岡村ニ生ル、同三十六年明治大  
學法律科卒業、「非常時解消ト昭和維新ノ提唱」ノ著書アリ○小  
學校訓導、裁判所書記ヲ經テ香川縣警部ニ被任、署長、高等警  
察課長等ニ被補、後下津井鐵道株式會社支配人、愛媛鐵道株式  
會社專務取締役、同社長、國東鐵道株式會社取締役、日本運動  
具株式會社社長、南海鑛業株式會社取締役トナル、又高知市會  
議員、同參事會員ニ舉ケラル、滿洲國ヲ視察ス、支那事變ニ際  
シ皇軍慰問ノ爲上海ヘ派遣セラル、又滿蘇國境方面ヲ視察ス○  
當選五回(14 15 19 20 21)

大 川 光 三

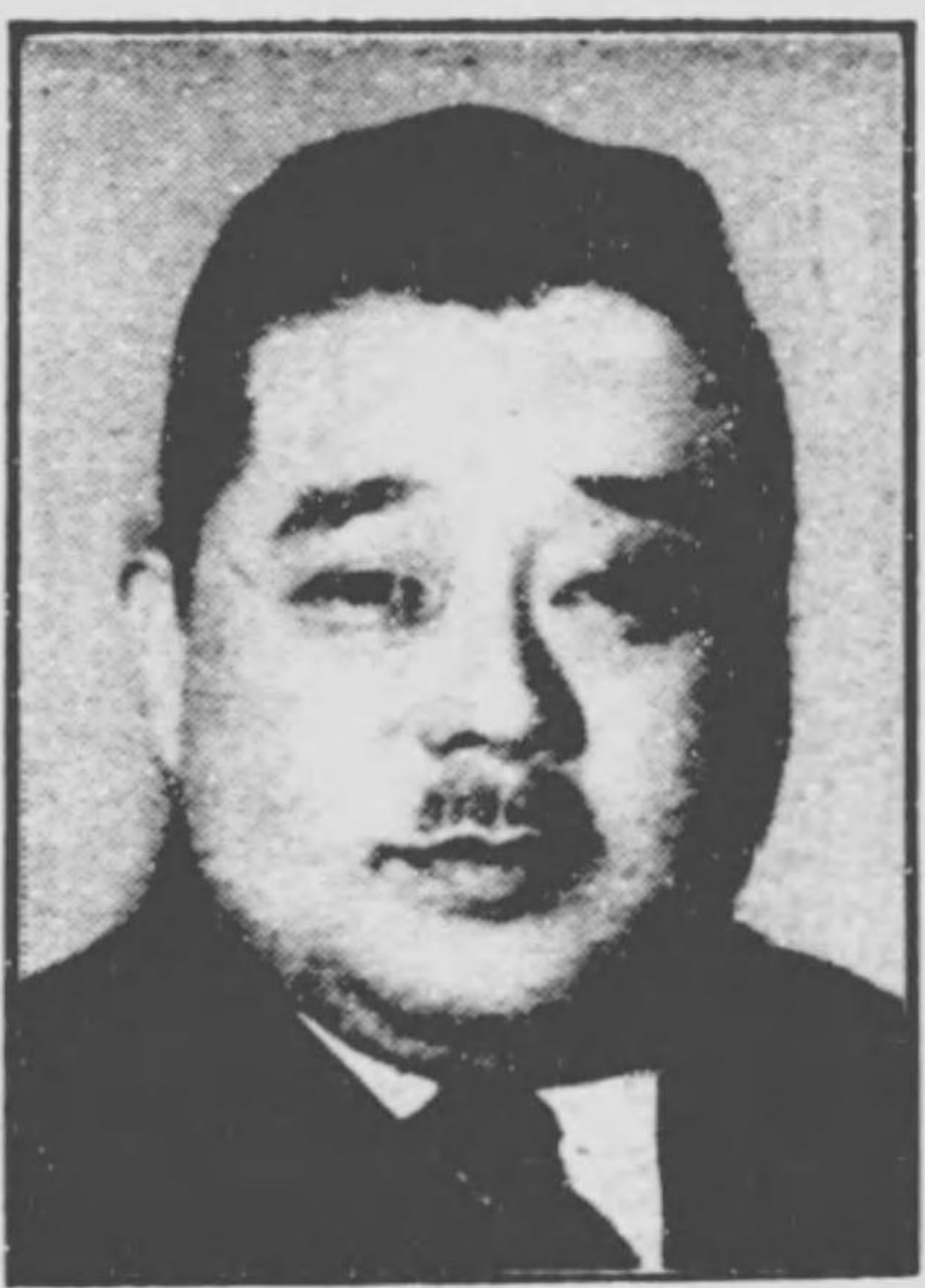
大阪府第四區選出、翼贊政治會  
辯護士



明治三十二年三月大阪府三島郡富田町ニ生ル、大正十二年關西  
大學專門部經濟科卒業○辯護士試驗ニ合格、大阪ニ於テ辯護士  
開業現在ニ至ル、四度大阪府會議員ニ當選シ、同副議長ニ舉ケ  
ラル、大政翼贊會大阪府協力會議員ヲ委嘱セラル、内閣委員被  
仰付○當選一回(21)

大 神 田 軍 治

東京府第一區選出  
會社員



明治十六年七月山梨縣北都留郡巖村ニ生ル、籍文學舎ニ漢學ヲ  
學フ○芝區會議員、東京市會議員、同參事會員、同議長、東京  
府會議員、同參事會員、同市部會議議長ニ選ハレ、帝都復興委員  
長、市學務委員長ニ舉ケラル○當選二回(18 21)



大口喜六

愛知縣第五區選出、翼贊政治會  
正五位勳二等



明治三年五月豊橋市ニ生ル、同二十三年東京帝國大學醫科大學  
藥學科卒業、「（開橋史談）」同橋市及其附近ノ著書アリ○愛知縣  
會議員、豊橋市會議員、同議長、豊橋市長ニ舉ケラル、次テ東  
京化學工業、矢作水力、日本格魯謨各株式會社取締役及其ノ他  
數會社ノ重役タリ○大藏政務次官ニ被任、稅制調査會、企業審  
議會、中央物價委員會、國家總動員審議會、醫藥制度調査會、  
臨時資金調整委員會、物價對策審議會、美術振興調査會、産業  
設備評價委員會、轉廢業者資産評價中央委員會各委員、産業設  
備營團評議員、日本醫療團設立委員被仰付、絹織物及毛織物單  
純化各委員會委員長、臨時物價對策委員會委員、中央食糧營團  
設立委員被命、大政翼贊會總務タリ、現ニ國民厚生金庫理事長  
タリ、支那、朝鮮及南洋方面ヲ視察ス○永年在職議員トシテ院  
議表彰セラル○當選十回（11 13 14 15 16 17 18 19 20 21）

大倉三郎

大阪府第五區選出、翼贊政治會  
會社重役



明治三十年十一月布施市ニ生ル、春澤漢學塾及泰西學館ニ學フ  
○布施町會議員、大阪府會議員、布施市會議員、同議長ニ選ハ  
ル、大阪特殊製鐵所、竹豐化學工業所各出資社員、日本油肥工  
業株式會社、日滿產業商事株式會社各專務取締役トナル、商工  
省委員被仰付○當選一回（21）

大島高精

大分縣第一區選出、翼贊政治會



明治十八年十月佐伯市ニ生ル、大正六年米國バンダビルト大學  
卒業、次テシカゴ大學及コロンビヤ大學大学院ニ學フ、「バチエ  
ラー・オブ・フイロソフイー」及「マスタター・オブ・アーツ」ノ學位  
及稱號ヲ得、「皇道思想ノ歷史的沿革（英文）」「戰前戰後の世界」  
「米國ト太平洋」「青年立國論」「軍縮の脅威」等ノ著書アリ○萬朝  
報社主筆、陸海軍囑託講師トナル、歐洲ニ留學及視察ヲ爲ス、  
北支派遣軍司令部、支那派遣軍總司令部、興亞院華中連絡部、  
關東軍司令部參謀部各囑託トナル、鐵道省委員被仰付○當選  
一回（21）

大島寅吉

北海道第三區選出、翼贊政治會  
正五位勳三等



明治八年二月新潟縣刈羽郡野田村ニ生ル、同二十九年東京法學  
院卒業○露領漁業ニ從事ス、函館硫安會社社長、大島合名會社  
社長トナル、函館市會議員、北海道會議員、同參事會員、函館  
商工會議所議員、商事調停委員、債務調停委員ニ舉ケラル○鐵  
道參與官ニ被任、都市計畫北海道地方委員會、度量衡制度調査  
會、國際觀光委員會、物資利用委員會各委員被仰付、皇軍慰問  
ノ爲滿洲及支那ニ派遣セラル、又南洋方面ヲ視察ス○當選四回  
（18 19 20 21）







岡田啓治郎

京都府第三區選出、  
醬油釀造業、  
翼贊政治會



明治二十三年二月京都府與謝郡市場村ニ生ル、大正四年關西大學專門部法律科卒業○京都府與謝郡養老村長、宮津町長ニ選ハル、與謝郡農會長、同郡畜産組合長、京都府水産會副會長、同府農會副會長、京都府會議員、同副議長ニ舉ケラル、現ニ橋北汽船株式會社取締役、與謝郡貨物自動車株式會社取締役會長、郡是製絲株式會社相談役タリ○當選一回(21)

岡本馬太郎

愛媛縣第一區選出、  
勳六等功七級、  
農業、  
翼贊政治會



明治十四年十月愛媛縣溫泉郡河野村ニ生ル、愛媛縣小學校教員養成所卒業○陸軍工兵曹長ニ被任、小學校教員トナル、河野村長ニ就任ス、愛媛縣會議員、同議長、縣農會長ニ舉ケラル、又愛媛縣乾繭組合聯合會長トナル、米穀統制委員會委員、食糧管理委員會委員被仰付○當選一回(21)

岡本傳之助

神奈川縣第二區選出、  
公吏、  
翼贊政治會



明治二十九年十一月横須賀市ニ生ル、縣立横須賀中學校ニ學フ、相模運送株式會社取締役、株式會社さいか屋取締役社長、神奈川縣纖維製品配給株式會社取締役トナル、横須賀商工會議所議員、同會頭、同顧問ニ選ハル、現ニ横須賀市長タリ、大政翼贊會神奈川縣協力會議員ヲ委嘱セラル○當選一回(21)

沖藏

福岡縣第三區選出、  
辯護士、  
翼贊政治會

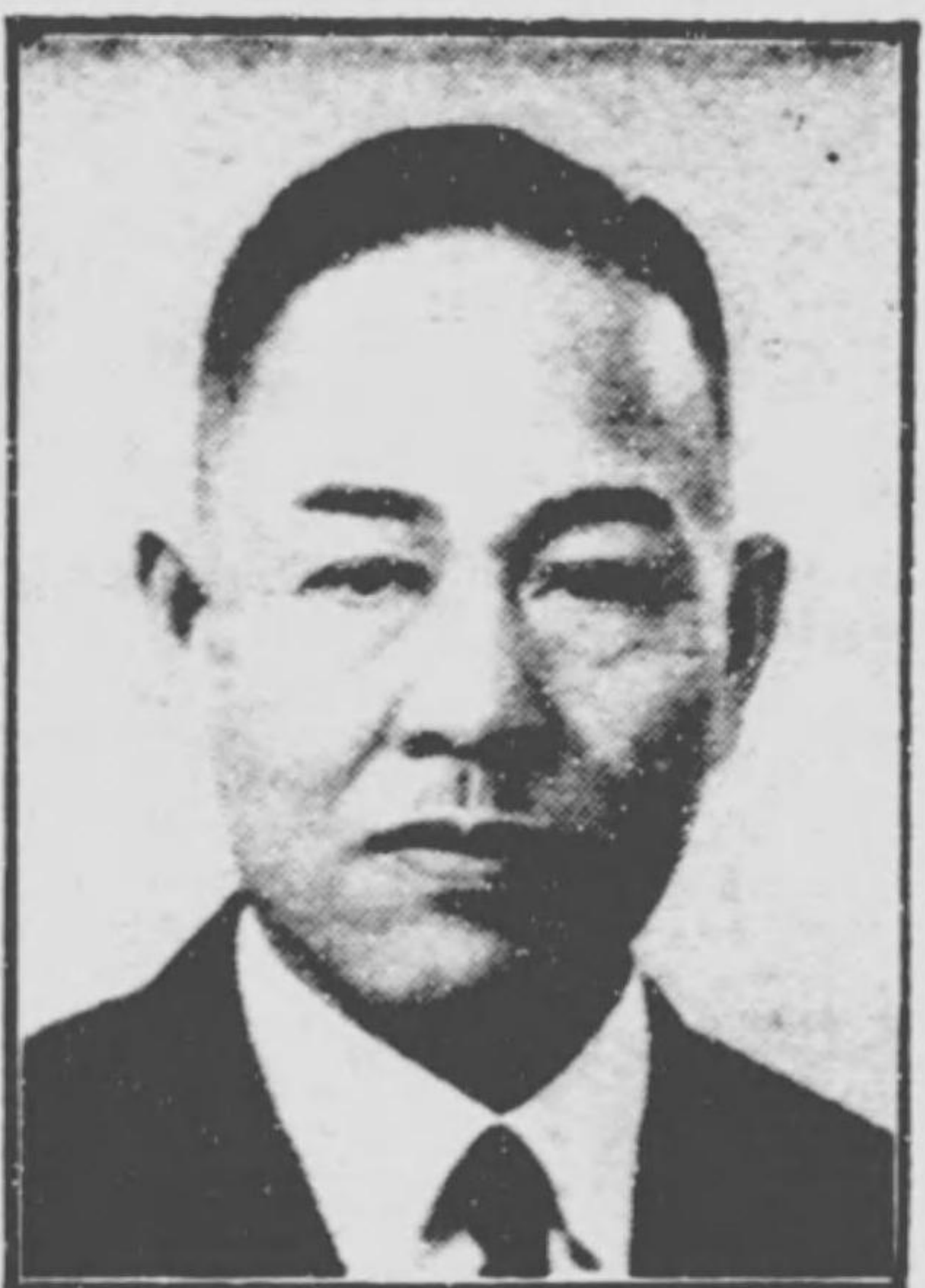


明治二十六年十一月福岡縣山門郡東山村ニ生ル、大正十一年東京帝國大學政治科及法律科卒業、獨逸ニ留學ス○東京ニ於テ辯護士ヲ開業ス、法政大學教授トナル、福岡縣購買販賣組合聯合會常任理事トナル、大政翼贊會福岡縣支部庶務部長、翼贊壯年團福岡縣副團長ヲ委嘱セラル、農林省委員被仰付○當選二回(19 21)



奥久登

廣島縣第一區選出、翼贊政治會  
正六位勳五等



明治十四年四月廣島縣安藝郡坂村ニ生ル、廣島縣立師範學校卒業○小學校訓導兼校長、坂水産補習學校長ヲ被命、郡及縣視學、高田郡長、地方事務官ニ任セラレ、廣島縣商工水産課長、農務課長ヲ命セラル、廣島市助役ニ選ハル、廣島縣信用購買販賣利用組合聯合會長、全國購買販賣組合聯合會理事、同大阪支所長ニ就任ス、農産物等價格形成専門委員會委員、産業組合中央金庫評議員、廣島地方社會保險審査會委員被命、農林計畫委員會臨時委員被仰付、大政翼贊會廣島縣支部常務委員ヲ委嘱セラル  
○當選一回(21)

奥野小四郎

北海道第五區選出、翼贊政治會  
農牧業



明治十三年四月洲本市ニ生ル、第三高等學校ニ學フ○北海道上川郡士別町ニ於テ農場ヲ經營ス、北日本無盡株式會社社長トナル帶廣町會議員、北海道會議員ニ選ハル、十勝郡農會長、北海道農會副會長、十勝畜産組合長、北海道畜産組合聯合會副會長、中央畜産會理事タリ○當選二回(15 21)

長内健榮

青森縣第二區選出、翼贊政治會  
農業



明治十九年八月青森縣南津輕郡大光寺村ニ生ル、同四十二年早稻田大學政治經濟科卒業○大光寺村會議員、同村長、青森縣會議員ニ選ハル○當選一回(21)

加藤弘造

靜岡縣第一區選出、翼贊政治會  
從七位勳六等、陸軍中尉、會社員



明治二十八年十月靜岡縣志太郡島田町ニ生ル、早稻田大學豫科卒業○陸軍輜重兵中尉ニ被任、加藤商事合資會社無限責任業務執行社員トナリ現在ニ至ル、又島田銀行副支配人トナル、靜岡縣會議員、同參事會員ニ選ハル、又三度島田町長ニ學ケラル、文部省委員被仰付○當選一回(21)



加藤七郎

靜岡縣第三區選出、翼贊政治會  
會社重役



明治二十二年九月靜岡縣濱名郡神久呂町ニ生ル  
○濱松市會議員、靜岡縣會議員、同副議長ニ舉ケラル、勞働調査委員、靜岡縣都市計畫地方委員、濱名郡濱松市茶業組合長、靜岡縣茶業組合會聯合常議員、靜岡縣商業組合中央會支部副支部長、全國茶業組合中央常議員、靜岡縣商業報國會副支部長トナル、日本紅茶株式會社監查役、東海精機重工株式會社社長、遠州礦物工業組合理事、東亞製茶株式會社監查役、農林省委員被仰付、大政翼贊會臨時中央協力會議員、同靜岡縣協力會議員ヲ委囑セラル○當選一回(21)

加藤宗平

福島縣第一區選出、翼贊政治會



明治三十年五月福島縣伊達郡梁川町ニ生ル、大正九年日本大學政治科卒業○橫濱市主事トナリ、後梁川町長、福島縣會議員、伊達郡町村長會長ニ舉ケラル、大政翼贊會福島縣支部理事、同支部參與ヲ委囑セラル、現ニ梁川町農會長、同町養蠶組合聯合會長トナリ○當選一回(21)

加藤鯛一

愛知縣第三區選出、翼贊政治會  
正五位勳三等



明治二十一年六月愛知縣丹羽郡岩倉町ニ生ル、「大宰相濱口雄幸」ニ躍進日本の政治動向ニ議會制度革新論ニ新時代に處する國策を論ず、其ノ他數種ノ著書アリ○雜誌「實業帝國」ヲ創刊シ其ノ社長兼主筆、東京政治通信社社長トナル、又社團法人大日本國防義會ヲ設立シ現ニ其ノ評議員タリ○内務政務次官ニ被任、選舉制度調査會、議會制度審議會、稅制調査會、國民貯蓄獎勵委員會、中央防空委員會、瓦斯事業調整委員會、交通事業調整委員會、神社制度調査會、臨時地方財政補給委員會、政府貸付金處理委員會各委員、土木會議議員、内閣委員及大東亞省委員被仰付、大政翼贊會中央協力會議員ヲ委囑セラル、支那及滿洲ヲ視察ス○當選七回(15 16 17 18 19 20 21)

加藤知正

新潟縣第三區選出、翼贊政治會  
勳四等、農業



明治六年十一月新潟縣古志郡下鹽谷村ニ生ル、同三十三年東京高等蠶絲學校卒業、「蠶業大辭書」「蠶業經濟論」其ノ他數種ノ著書アリ○北越蠶業講習所教頭、大日本蠶絲會參事兼技師、同評議員、蠶絲組合中央常議員、帝國養蠶組合副會長、全國養蠶業聯合會副會長、帝國蠶絲株式會社監查役トナル、又南光社社長トシテ教育雜誌、圖書ノ刊行ニ從事ス、農林省蠶絲委員會委員ト囑託セラル、現ニ日本中央蠶絲會議員、大日本蠶絲會理事、東京高等蠶絲學校講師タリ、蠶品審査會委員、絲價安定委員會委員、宗教制度調査會委員、蠶絲委員會被仰付、支那ノ蠶業ヲ三度視察ス、生絲使節トシテ渡米ス、第二十九回列國議會同盟會議ニ參列シ歐米各國ヲ視察ス、又滿蘇蒙國境ヲ視察ス○當選六回(15 16 17 18 20 21)



加藤 俊夫

廣島縣第一區選出、翼贊政治會

五四



明治十八年八月愛媛縣新居郡新居濱町ニ生ル、日本大學專門部法律科卒業○廣島市會議員、同副議長、同議長、廣島縣會議員、同議長ニ舉ラル、恩賜財團軍事援護會廣島縣支部顧問、廣島縣防空委員會委員、廣島縣職業紹介委員會委員タリ、都市計畫廣島地方委員會委員被命、大政翼贊會廣島縣支部顧問、同廣島縣協力會議長、同中央協力會議員ヲ委嘱セラル○當選一回(21)

加藤 鏢五郎

愛知縣第一區選出、翼贊政治會  
正五位勳三等



明治十六年三月瀬戸市ニ生ル、同三十八年愛知醫學專門學校卒業○津島濟生病院長、財團法人喜安産院理事長、新愛知新聞社顧問タリ、名古屋市會議員、同參事會員、愛知縣會議員、同參事會員、同市部會議長ニ舉ケラル○商工參與官、商工政務次官ニ被任、瓦斯事業、不當廉賣審查、國產振興、關稅調查、重要鑛物、製鐵事業、國民貯蓄獎勵、液體燃料、米穀配給調整中央、價格形成中央、百貨店、製鐵事業評價審查各委員會委員、中小産業調査會委員、日本石炭、日本輸出農産物各株式會社設立委員及厚生省委員被仰付、大政翼贊會調查委員會委員ヲ委嘱セラル、支那、滿洲方面ヲ視察ス○當選七回(15 16 17 18 19 20 21)

柏原 幸一

大分縣第一區選出、翼贊政治會



明治廿八年三月大分縣北海部郡佐賀關町ニ生ル、大正十三年東京帝國大學經濟學部經濟科卒業○佐賀關町助役、同町長、大分縣會議員等ニ舉ケラル、帝國在郷軍人會佐賀關分會長、大分縣水産會副會長トナル、大政翼贊會大分縣支部常務委員、翼贊壯年團大分縣團長ヲ委嘱セラル、文部省委員被仰付○當選一回(21)

片山 一男

岡山縣第一區選出、翼贊政治會  
會社重役



明治二十五年三月岡山縣久米郡大井西村ニ生ル、大井西村會議員、岡山縣會議員、同參事會員ニ選ハル、現ニ鑛油輸入販賣株式會社取締役社長、鶴見油脂株式會社代表取締役、丸善石油株式會社、丸善商事株式會社、石油共販株式會社各取締役等數種ノ會社重役タリ○當選二回(19 21)



勝 正 憲

福岡縣第四區選出、翼贊政治會  
從三位勳二等



勝 田 永 吉

大阪府第五區選出、翼贊政治會  
從四位勳三等、辯護士



明治十二年五月福岡縣田川郡香春町ニ生ル、同三十八年東京帝國大學法科大學卒業、○稅務監督局事務官、稅務監督官、松江、長崎、鹿兒島、長野、仙臺、東京各稅務監督局長、函館稅關長、大藏書記官、同參事官、海外駐劄稅務官、大藏參與官、商工政務次官、遞信大臣ニ歷任ス、東京市助役トナル、國有財產調查會、中央諸官衙建築準備委員會、東京市助役トナル、國有財產調查會、百貨店委員會、瓦斯事業委員會、不當廉賣審查委員會、統制委員會、東北振興調查會、度量衡制度調查會、稅制調查會、貿易對策委員會、中小產業調查會、物價對策審議會、海軍審議會、稅務代理士銓衡委員會各委員及鐵道會議議員被仰付、國際電氣通信株式會社政府出資財產評價委員會會長被仰付、大政翼贊會調查委員會員ヲ委囑セラル、○當選六回(16 17 18 19 20 21)

明治二十一年十一月大阪府三島郡富田町ニ生ル、大正二年東京帝國大學獨逸法律科卒業、○大日本體育協會、大阪體育協會各理事、日本庭球協會會長、加島信託株式會社監查役、富山紡績株式會社、內外食品株式會社、臺灣鳳梨株式會社各取締トナル、又大阪辯護士會副會長ニ舉ケラル、○內務參與官、內務政務次官、被任、神戶社會調查會、社會制度審議會、交通事業調整委員會、國民貯蓄獎勵委員會、議會、地方制度調查會、中央委員會、國員、日本發送電株式會社設立委員、都市計畫中央委員會、司法員、大政翼贊會臨時委員及內務省委員被仰付、社會事業調查會委員、大政翼贊會參與ヲ委囑セラル、○當選六回(16 17 18 19 20 21)

勝 又 春 一

靜岡縣第二區選出、翼贊政治會  
勳四等、土木建築請負業



金 井 正 夫

鹿兒島縣第三區選出、翼贊政治會  
正五位勳三等、辯護士



明治二十五年二月鹿兒島縣大島郡龍鄉村ニ生ル、大正八年京都帝國大學法學部英法科卒業、一實例破產手續詳解、一實例和議手續詳解、及「選舉關係法」ノ著書アリ、○司法官試補、豫備判事ヲ經テ判事ニ任セラレ、大阪地方裁判所兼大阪區裁判所判事ニ補セラル、特ニ在職中破產部主任法官トシテ破產事務ヲ擔當、又關西大學講師トナリ、破產法、民法及商法講座ヲ擔任ス、後辯護士ヲ開業ス、○鐵道參與官ニ被任、鐵道省所管事務政府委員、國際觀光委員會及司法省委員被仰付、奄美大島振興計畫調查委員、被命、大政翼贊會調查委員會委員被仰付、奄美大島振興計畫調查委員、シ鐵道省ヨリ皇軍慰問ノ爲、中支那ヘ派遣セララル、又衆議院ヨリ南洋、フィリッピン、香港、南支等ノ視察ヲ命セララル、○當選四回(18 19 20 21)

早稻田工手學校卒業、○山梨縣林業技手ニ被任、後土木建築、電氣工事請負業並農業牧畜養雞業ニ從事ス、駿東郡家畜保險組合長、靜岡縣牛馬商組合長、同東部茶業組合長タリ、大政翼贊會駿東郡協力會議長、郡壯年團顧問ヲ委囑セラル、○當選三回(18 19 21)



金子定一

岩手縣第二區選出、翼贊政治會  
從四位勳三等(旭)、陸軍少將



明治十八年六月盛岡市ニ生ル、陸軍士官學校及陸軍大學校卒業、「赤化せん」とする外蒙「日本民族の大陸還元」「世界戰國ト滿洲國民」等ノ著書アリ○陸軍歩兵少尉ヨリ陸軍少將ニ累進、其ノ間第八師團司令部附、第八師團參謀、參謀本部員、支那駐屯軍參謀、第三師團參謀、第二十師團司令部附等ニ補セラル、滿洲國中央警察學校講師、王道書院講師、新京實務學院、同女子實務學院等ノ校長タリ、拓務省委員及大東亞省委員被仰付○當選一回(21)

金子彦太郎

靜岡縣第二區選出、翼贊政治會  
正八位、陸軍少尉、農業



明治十六年十二月靜岡縣富士郡今泉村ニ生ル、同三十八年札幌農學校林學科卒業○陸軍砲兵少尉ニ被任、今泉村會議員、同村長、靜岡縣會議員、同議長ニ選ハレ、現ニ吉原町長タリ、都市計畫靜岡地方委員會委員被命、大政翼贊會富士郡支部協力會議長ヲ委囑セラル○當選一回(21)

金光邦三

兵庫縣第一區選出、翼贊政治會  
辯護士



明治三十年二月富山縣下新川郡魚津町ニ生ル、大正七年立命館大學法律科卒業○辯護士試驗合格、辯護士ノ業務ニ從事ス、日本鑛發株式會社監查役、大和金屬工業株式會社取締役、石原產業海運株式會社顧問タリ、神戸市會議員、兵庫縣會議員ニ選ハレ、都市計畫兵庫地方委員會委員被命、大政翼贊會兵庫縣支部常務委員ヲ委囑セラル○當選一回(21)

金光庸夫

大分縣第一區選出、翼贊政治會  
從三位勳二等



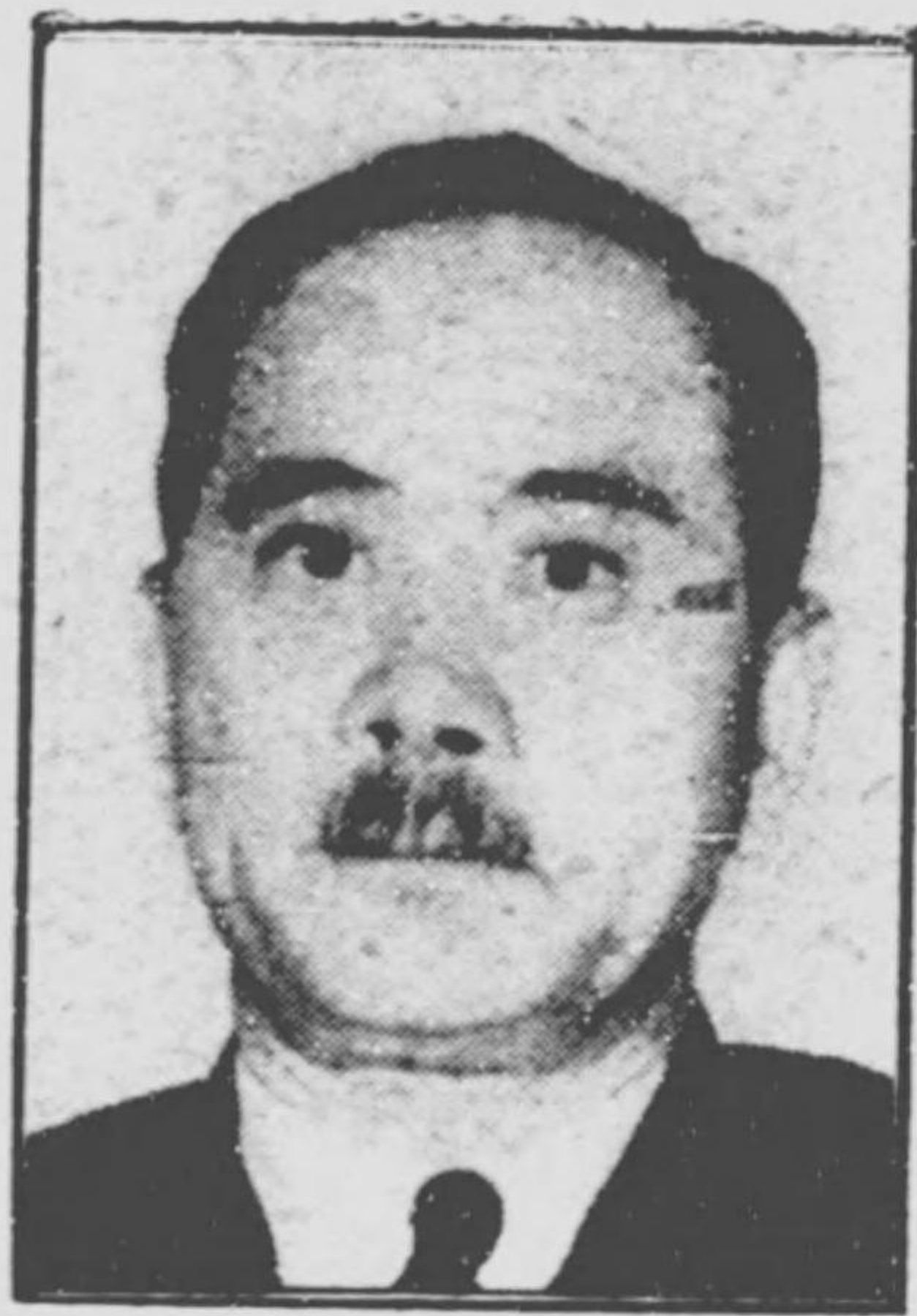
明治十年三月大分縣宇佐郡高家村ニ生ル○曩ニ東京商工會議所副會頭タリ、第十五回國際勞動總會代表トシテ壽府ニ派遣セラレ、國際資本團副議長ニ舉ケラル、財團法人鐵道同志會理事、同生命保險會社協理、紀元二千六百年奉祝會顧問、東亞煙草、滿洲東亞煙草、華北東亞煙草、日本造羊毛、大正生命保險、日本教育生命保險、新日本火災海上保險、合田金山株式會社社長、朝鮮鐵道、東京高速鐵道、東都乘合自動車、新與絹毛、愛國燃料、南武鐵道、各株式會社取締役、合同油脂株式會社監查役タリ○拓務大臣、厚生大臣ニ被任、紀元二千六百年祝典評議委員會、興亞委員會、簡易生命保險積立金運用委員會各委員、土木會議議員被仰付○曩ニ衆議院副議長タリ○當選八回(14 15 16 17 18 19 20 21)



神尾 茂

福島縣第二區選出、翼賛政治會

六〇



明治十六年七月福島縣石川郡東村ニ生ル、同三十九年早稻田大學政經學部、同四十二年東亞同文書院商務科卒業○大阪朝日新聞社南京通信員、同上海、北京特派員トナル、ワシントン軍縮會議ニ朝日新聞社ヨリ特派セラレ、歐米各國ヲ視察ス、從軍記者トシテ上海梅機關ニ配屬セラル、大使館囑託トシテ阿部大使ノ隨員トナル、現ニ大陸新報顧問、大阪東方文化聯盟ノ理事タリ、臨時資金調整委員被仰付、大政翼賛會中央協力會議員ヲ委嘱セラル○當選一回(21)

唐橋 重政

福島縣第二區選出、翼賛政治會  
農業



明治二十七年十二月福島縣耶麻郡朝倉村ニ生ル、福島縣立蠶業學校卒業○相川村外三ヶ村組合村長、耶麻郡町村長會長、福島縣會議員、同參事會員等ニ數回選ハル、其ノ間福島縣ヨリ支那、朝鮮、滿洲、各地ノ蠶業調査並視察ノ爲派遣セラレタリ、農林省委員被仰付、大政翼賛會福島縣協力會議員、同常務委員ヲ委嘱セラル○當選一回(21)

川上 胤三

大阪府第一區選出、翼賛政治會  
海運業



明治二十年三月大阪市ニ生ル○海運業ニ從事シ現在ニ至ル、大阪商工會議所議員並同所交通部長、大阪實業聯合會理事長等ニ數回選ハル、大阪稅關貨物取扱人聯盟會會長、戰時特別調停委員ヲ命セラル、遞信省委員被仰付○當選一回(21)

川上 法勵

新潟縣第三區選出、翼賛政治會  
新聞社長



明治十四年六月新潟縣西蒲原郡吉田町ニ生ル、早稻田大學政治經濟科卒業○支那ニ留學シ政治經濟ヲ研究ス、北越新報記者、同社新潟支局主任、同社主筆トナリ、現ニ新潟中央新聞社社長タリ、大政翼賛會新潟縣協力會議長、同中央協力會議員ヲ委嘱セラル○當選一回(21)



川口 壽

東京府第二區選出、翼贊政治會  
會社重役



明治三十一年十月富山縣東礪波郡城端町ニ生ル、大正十二年明治大學法學部卒業○大東文化協會常任幹事、明治大學評議員及商議員、日本共榮株式會社社長タリ、東京市會議員、同參事會員、東京府會議員ニ選ハル、富坂警防團副團長、司法保護委員、東京市方面委員被命、大政翼贊會東京市常務委員ヲ委囑セラル、有機合成事業委員會委員被仰付、外務省囑託トシテ亞細亞及大洋洲各國ヘ視察ノ爲出張ヲ命セラル、皇軍慰問ノ爲南支那ヘ派遣セラル○當選一回(21)

川崎 克

三重縣第一區選出、翼贊政治會  
從四位勳二等、著述業



明治十三年十二月三重縣阿山郡上野町ニ生ル、同三十四年日本大學卒業、後東京外國語學校ニ於テ佛語ヲ專攻ス、經濟界ノ黎明ニ伊賀及信樂ノ著書アリ○日本新聞記者、朝鮮元山民團長、元山時事新報主幹兼主筆トナル、又伊賀上野城ノ再建ヲ計畫シ、獨力舊藤堂城趾ニ桃山式三層樓ヲ建築シ、伊賀文化產業協會ヲ起シ財團法人トナシ學ケテ同團ニ寄附ス、現ニ大日本貿易振興會々々長、泰東書道院院務長タリ、○陸軍參事官、遞信參事官、司法政務次官ニ被任、法制審議會、衆議院議員選舉修正審議會、米穀統制調査會、神宮關係施設調査會、臨時資金調整委員會、美術振興調査會、預金部資金運用委員會各委員被仰付○永年在職議員トシテ院議表彰セラル○當選十回(12 13 14 15 16 17 18 19 20 21)

川崎末五郎

京都府第二區選出、翼贊政治會  
從四位勳三等、農業



明治二十五年二月京都市ニ生ル、鹿兒島高等農林學校、大正五年京都帝國大學法科大學政治學科卒業、フアシズムの國家觀念ノ翻譯アリ○文官高等試驗合格、愛知縣土木技手、警視廳警部、東京府屬、內務屬、福島縣相馬郡長、兵庫縣警視、臺灣總督府事務官兼參事官、同理事官、朝鮮總督府事務官兼警務講習所長、同道ニ歷任ス、現ニ日本竹卸株式會社監查役、乙訓銀行取締役、亞產業株式會社取締役、中央失業對策委員會、地方分與稅委員會各委員及內務省委員被仰付、大阪地方職業紹介委員會、警保委員會各委員被命、大政翼贊會調査委員會委員ヲ委囑セラル、歐米各國ヲ視察ス、支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲中支那ヘ派遣セラル○當選三回(19 20 21)

川崎 巳之太郎

茨城縣第二區選出、翼贊政治會  
著述業



明治六年十一月茨城縣久慈郡坂本村ニ生ル、同二十六年明治學院卒業、後米國ニ留學ス、實驗上之宗教「水戸光陰卿」等ノ著書アリ○日刊新聞「世界之日本」ノ編輯長トナル、月刊雜誌「天」地人ヲ發行ス、又米國桑港ニ於テ邦字新聞「日米」ヲ創刊ス、日本植民會社ヲ設立シ其ノ主事トナリ南米秘露ニ事業ヲ經營ス、大阪毎日、時事新報、報知新聞社北米特派員トナル、警保局及社會局囑託トシテ勤續十七年ニ及フ、元田肇氏ト「日本孝道會」ヲ起ス、米國華府ニ開催ノ第一回國際勞動總會ニ政府隨員トシテ派遣、支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲滿洲國、支那ヘ派遣セラル○當選三回(15 20 21)



川島正次郎

千葉縣第一區選出、翼贊政治會  
正五位勳三等、會社員



明治二十三年七月東京市ニ生ル、大正三年專修大學經濟科卒業  
○内務屬、東京市主事ニ被任、東京市商工課長ヲ命セラル、又  
東京日日新聞記者トナル○海軍參與官ニ被任、國家總動員審議  
會委員、帝國石油株式會社設立委員、物價對策審議會委員及商工  
省委員被仰付、第二十七回、第三十三回列國議會同盟會議ニ參列  
シ歐米各國ヲ歷遊ス、支那事變ニ際シ皇軍慰問團長トシテ北支  
那へ派遣セラル又南洋方面ヲ視察ス○當選六回(16 17 18 19 20 21)

川副隆

長崎縣第二區選出、翼贊政治會  
海運業



明治二十二年四月佐賀縣西松浦郡伊萬里町ニ生ル、大正四年東  
京帝國大學法科大學政治科卒業○三菱商會社ニ入り、漢口出  
張所長、船舶部長代理等歷任、又漢口日本居留民團行政委員ニ  
推サル、コト數回、現ニ神戸會陽汽船、大阪靜鐵業、佐世保親  
和銀行、佐世保魚市場、佐世保運輸、西肥菱油各株式會社取締  
役、金子組、日ノ出商會、西海製作所各監查役、川副商會、日  
東燃料、九北運輸、丸三肥料各會社社長及東京北松炭鑛顧問タリ  
遞信省委員被仰付、支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲南支及中支へ  
派遣セラル○當選二回(20 21)

川俣清音

秋田縣第二區選出、翼贊政治會  
著述業



明治三十二年四月北海道余市郡余市町ニ生ル、大正十二年早稻  
田大學專門部法科卒業、「農村綱領」、「鑛煙毒賠償論」ノ著書アリ  
○建設者同盟ヲ組織農民啓蒙運動ニ携ハリ、雜誌「建設者」、新聞  
「農民運動」ヲ發行ス、又有馬農村問題研究所研究員トナル、全  
國農民組合中央委員、同執行委員長タリ、東北振興電力株式會  
社設立委員、有機合成事業委員會委員及商工省委員被仰付、支  
那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲北支那へ派遣セラル○當選三回(19  
20 21)

河上丈太郎

兵庫縣第一區選出、翼贊政治會  
辯護士



明治二十二年一月東京市ニ生ル、大正四年東京帝國大學法學部  
政治科卒業○文官高等試驗合格、立教大學講師、明治學院高  
等學部講師、關西學院教授トナル、勞働災害扶助責任保險審  
査員、内閣調査局專門委員、議院制度調査會、資源審議會、臨  
時資金調整委員會、中央物價委員會、物價對策審議會、價格形  
成中央委員會、中央貸金委員會各委員及厚生省委員被仰付、宿  
泊料專門委員會、一般食料品價格形成專門委員會、地代家賃專  
門委員會各委員長被命、大政翼贊會總務ヲ委囑セラル○當選四  
回(16 19 20 21)



河上哲太

愛媛縣第二區選出、翼贊政治會  
正五位勳三等



明治十四年十月愛媛縣周桑郡國安村ニ生ル、東京高等商業學校  
卒業○國民新聞社經濟部長トナル○文部參與官ニ被任、宗教制  
度調査會、社會事業調査會、軍需評議會、教育審議會、總動員  
補償委員會各委員及鐵道會議議員被仰付、歐米ニ漫遊ス、又支  
那、滿洲ヲ視察ス○當選九回(13 14 15 16 17 18 19 20 21)

河盛安之介

大阪府第六區選出、翼贊政治會  
公吏



明治十九年十月茨城縣久慈郡太田町ニ生ル、同四十二年東京高  
等商業學校卒業○株式會社島野鐵工所監查役、全國醬油統制株  
式會社、南海土地株式會社各取締役、河又醬油株式會社取締役  
社長タリ、堺市會議員、同議長、同市商工會議所議員、同副會頭  
ニ數回選ハル、四度堺市長トナル、借地借家調停、稅制調査、  
國勢調査各委員被命、大政翼贊會堺市支部長、堺市翼贊壯年團  
名譽團長ヲ委嘱セラル○當選一回(21)

菅野和太郎

大阪府第四區選出、翼贊政治會  
正五位、經濟學博士



明治二十八年六月松山市ニ生ル、大正九年京都帝國大學經濟學  
部卒業、「日本商業史」「日本會社企業發生史ノ研究」「大阪經濟  
史研究」、「新商業道德」、「新大阪論」等數種ノ著書アリ○文部省  
在外研究員トシテ英、獨、伊へ留學ヲ命セラル、彦根高等商業  
學校教授、大阪商科大學講師、同教授、大阪市理事ニ被任、同市  
教育部長、企畫部長ヲ歷任ス、財團法人昭和學園常任理事、昭和  
高等商業學校教授タリ、臨時資金調整委員會委員及大藏省委員  
被仰付○當選一回(21)

漢那憲和

沖繩縣選出、翼贊政治會  
從四位勳二等功五級 海軍少將



明治十年九月那霸市ニ生ル、海軍兵學校及海軍大學校甲種學生  
教程卒業○海軍少將ニ被任、其ノ間軍艦音羽航海長トシテ日本  
海々戰ニ從軍、後海軍兵學校教官、同軍令部參謀兼海軍大學校  
教官、軍艦對馬、香取、扶桑、伊勢各艦長、橫須賀防備隊司令ニ被  
補、對島艦長トシテ南阿弗利加海面ニ出征、日英共同作戦ニ奉  
事ス、又香取艦長トシテ皇太子殿下海外御巡遊ノ際御召艦長ヲ奉  
仕ス○內務政務次官ニ被任、議會制度審議會、國民貯蓄獎勵委員  
會、稅制調査會、中央職業紹介委員會各委員被仰付、軍事視察  
ノ爲歐米各國ヲ視察、支那事變ニ際シ皇軍慰問議員團長トシテ  
北支ヘ派遣セララル○英國、ブリテイシユ、エムパイア三等勳章  
及ヴィクトリア三等勳章、佛國レジオン・ドノール四等勳章、伊  
國サン・モリス三等勳章ヲ贈ラル○當選五回(16 17 19 20 21)



木崎爲之

兵庫縣第五區選出、  
正七位、陸軍少尉、辯護士  
翼賛政治會



明治二十七年九月兵庫縣城崎郡奥佐津村ニ生ル、大正九年東京帝國大學法學部卒業○陸軍歩兵少尉ニ被任、女子學習院教授トナル、後大阪市ニ於テ辯護士ノ業務ニ従事ス、厚生省委員被仰付○當選一回(21)

木下郁

大分縣第二區選出、  
辯護士  
翼賛政治會



明治二十七年三月大分縣宇佐郡安心院村ニ生ル、大正十二年東京帝國大學法學部卒業○法律、政治研究ノ爲獨、英、米ニ留學ス、辯護士業ニ従事ス、東京齒科醫學專門學校教授、松平育英會理事、東亞研究所囑託タリ、商工省委員被仰付○當選一回(21)

木下義介

長崎縣第一區選出、  
正五位勳三等  
翼賛政治會



明治二十三年一月諫早市ニ生ル、大正四年東京帝國大學法科大學卒業○文官高等試験ニ合格、香川、兵庫各縣警視、廣島、愛知、兵庫各縣警察部長、青森、山形各縣內務部長、宮崎、香川各縣知事等ニ歷任ス、其ノ間歐米各國へ出張ヲ命セラル、諫早市長トナル、內閣委員及大東亞省委員被仰付○當選一回(21)

木下信

長野縣第三區選出、  
正四位勳三等(旭)  
翼賛政治會



明治十七年二月長野縣上伊那郡中箕輪町ニ生ル、同四十二年東京帝國大學法科大學政治科卒業○文官高等試験合格、長野縣屬、熊本縣鹿本、同益城、長野縣小縣各郡長、秋田縣警察、北海道拓殖、警視廳刑事、同警務各部長、鳥取、愛媛、長崎各縣知事、臺灣總督府內務局長兼土木局長、交通局總長、總務長官ニ歷任ス、其ノ間歐米各國並滿支ニ出張ス、佛印全權特派大使顧問タリ、衆議院ヨリ南洋方面視察ノ爲派遣セラル○當選二回(19 21)



木原七郎

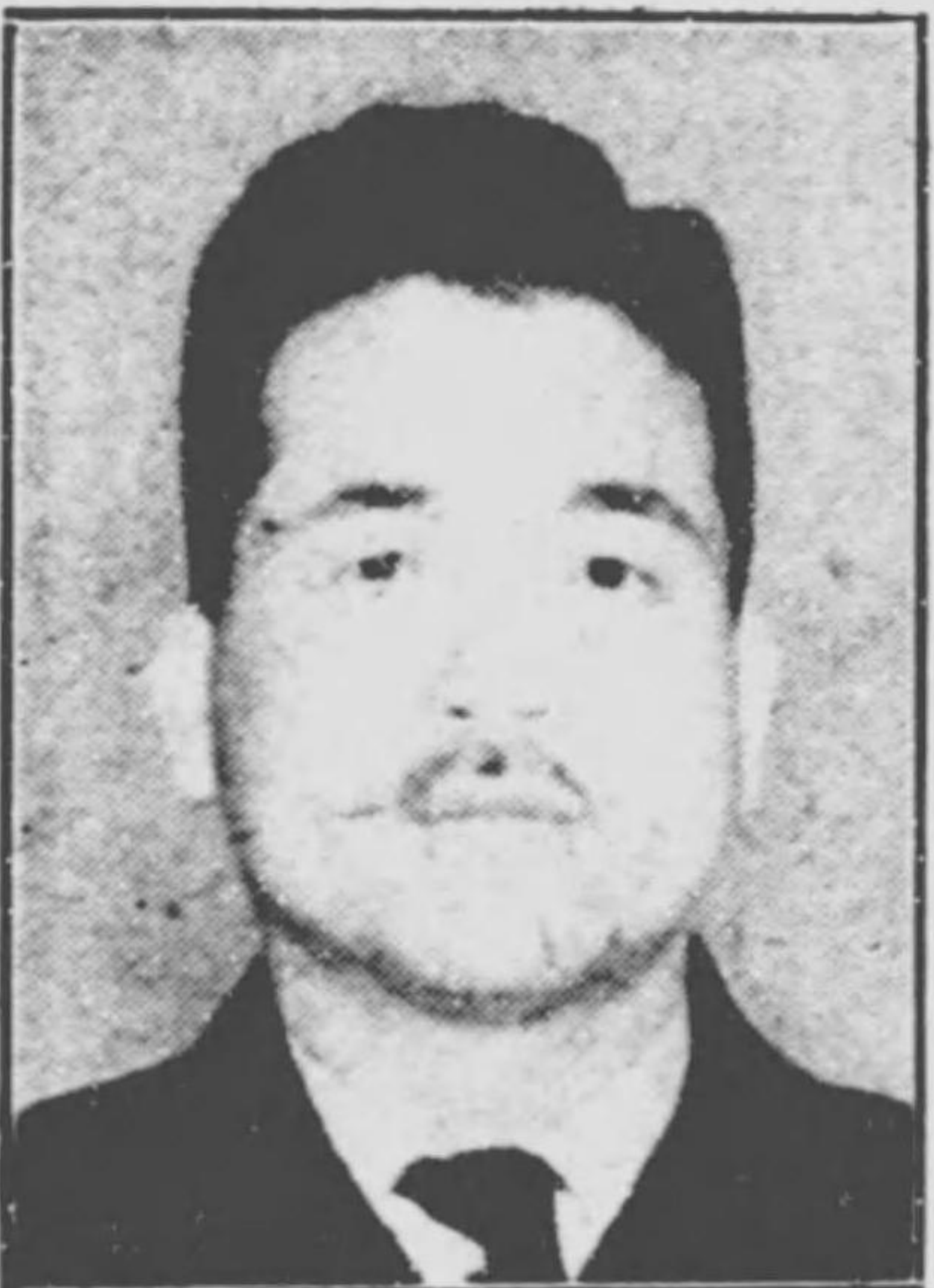
廣島縣第二區選出、翼贊政治會  
會社重役



明治十七年一月廣島縣安藝郡矢野町ニ生ル、同三十九年早稻田  
大學政治經濟科卒業○廣島縣會議員ニ選ハル、興亞船舶合資會  
社代表社員、藝備日日新聞社取締役社長、日本鋼鎖株式會社取  
締役タリ、遞信省委員被仰付、支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲北  
支那へ派遣セラル○當選三回(17 20 21)

木村武雄

山形縣第一區選出、翼贊政治會  
著述業



明治三十五年八月米澤市ニ生ル、大正十五年明治大學法學部卒  
業○米澤市會議員、山形縣會議員ニ選ハル、東亞聯盟會主幹並  
大日本興亞同盟常務理事タリ、内閣委員及大東亞省委員被仰付、  
大政翼贊會調査委員會委員ヲ委嘱セラル○當選三回(19 20 21)

木村寅太郎

群馬縣第一區選出、翼贊政治會  
農業



明治三十五年九月群馬縣新田郡笠懸村ニ生ル、大正十三年東京  
帝國大學農學部實科卒業○群馬縣農會技師ニ被任、縣會議員ニ  
選ハル、大政翼贊會群馬縣支部常務委員、同臨時中央協力會議  
員、同壯年團長ヲ委嘱セラル、文部省委員被仰付、文部省ヨリ  
日獨青少年交驩ドイツ派遣團隊長ヲ命セラル○當選一回(21)

木村正義

熊本縣第一區選出、翼贊政治會  
從四位勳三等



明治二十三年一月熊本縣鹿本郡川邊村ニ生ル、大正四年東京帝  
國大學法科大學卒業、「公民教育」、「職業指導」著アリ○文部  
書記官、文部大臣秘書官、文部省學生部長、同實業學務局長、内  
務省與官、大藏政務次官ニ被任、熊本縣青年義塾、科學動員協  
會ヲ創立ス、神祕制度調査會、地方制度調査會、稅制調査會、  
相續稅物納蓄獎勵委員會各委員、中央防空委員會、地方分與稅委  
員會、國民貯蓄獎勵委員會、臨時資金調整委員會、金委員各  
委員、中央衛生會、神祕關係施設調査會、司法制度調査會、價  
格形成中央委員會、議會制度審議會、教員檢定委員會各臨時委  
員、土木會議議員及大藏省委員被仰付、大政翼贊會調査委員會  
委員ヲ委嘱セラル、教育制度視察ノ爲歐米各國へ又第一回國際  
勞働會議出席ノ爲米國へ出張ス○當選四回(18 19 20 21)



紀藤常亮

山口縣第一區選出、翼贊政治會  
從六位、會社重役



喜多壯一郎

石川縣第二區選出、翼贊政治會  
正五位



明治二十七年二月石川縣羽咋郡北大海村ニ生ル、大正六年早稲田大學卒業、著書數種アリ○歐米各國ニ留學ス、母校ニ於テ講座ヲ擔當ス○商工參與官ニ被任、米穀取引事業審議委員會、製鐵事業委員會、百貨店委員會、國產振興委員會、中小産業調査會、瓦斯事業委員會、米穀配給調整中央委員會、不當廉賣審查委員會各委員、日本石炭株式會社設立委員及遞信省委員被仰付、大政翼贊會中央協力會議員ヲ委囑セラル、支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲上海ヘ派遣セララル○當選三回(19 20 21)

菊地養之輔

宮城縣第一區選出、翼贊政治會  
辯護士



明治二十二年九月宮城縣名取郡玉浦村ニ生ル、大正三年中央大學法科卒業○辯護士試驗ニ合格ス、小學校代用教員、準訓導、中央大學編輯部員、郡山專賣支局員タリ、後辯護士ヲ開業其ノ業務ニ従事ス、宮城縣會議員ニ舉ケラル、仙臺辯護士會副會長タリ○支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲滿洲國ヘ派遣セララル○當選二回(20 21)

岸信介

山口縣第二區選出、翼贊政治會  
從三位勳二等、商工大臣



明治二十九年十一月山口縣吉敷郡山口村ニ生ル、大正九年東京帝國大學法學部卒業○高等試驗行政科合格、農商務事務官兼參事官、特許局事務官、兼商工書記官、商工省工政課長、工業課長、文書課長、工務局長、産業合理局第一部長、第二部長、商工次官ニ歴任シ滿洲國實業部次長、産業部次長ニ就任ス、現ニ商工大臣タリ、教育審議會、企業審議會、科學審議會、電力審議會、貿易審議會、國家總動員審議會、國民精神總動員委員會、發明獎勵委員會、重要礦物委員會、地方制度調查會、瓦斯事業委員會、重要肥料委員會、輕金屬製造事業委員會、自動車製造事業委員會、製鐵事業委員會、船舶事業委員會、航空統制委員會、液體燃料委員會、國產振興委員會、科學振興調查會等各委員、日本石炭、日本肥料、日本輸出農産物各株式會社設立委員、産業設備營團、重要物資管理營團各設立委員長被仰付、大政翼贊會顧問ヲ委囑セララル、歐米各國ヘ數度派遣セララル○當選一回(21)



岸井壽郎

香川縣第二區選出、翼贊政治會  
鑛業



明治二十四年五月香川縣三豐郡常盤村ニ生ル、大正六年東京帝國大學法科大學英法科卒業、「聯盟を脱退すべし」ノ著書アリ○司法官試補トシテ東京地方裁判所ニ勤務シ、後東京日日新聞印刷部長、政治部長、營業局次長トナル、又南羽鑛業株式會社取締役社長タリ、大藏省委員被仰付、大政翼贊會中央協力會議員ヲ委嘱セラル、歐米各國ヲ視察ス○當選一回(21)

岸田正記

廣島縣第一區選出、翼贊政治會  
正五位勳三等、百貨店經營



明治二十八年十二月廣島縣賀茂郡西志和村ニ生ル、大正十三年京都帝國大學法學部卒業○文官高等試驗合格、曩ニ滿洲ニ於テ土地家屋經營ニ従事ス、岸田不動産商事社、大連及奉天幾久屋百貨店ヲ經營ス○海軍參與官ニ被任、大藏省委員被仰付、大政翼贊會調査委員會委員ヲ委嘱セラル、南洋視察ノ爲議員團長トシテ派遣セラル○當選六回(16 17 18 19 20 21)

北勝太郎

北海道第四區選出、翼贊政治會  
從七位、陸軍中尉、農業



明治二十二年九月石川縣能美郡御幸村ニ生ル○陸軍歩兵中尉ニ被任、再度砂川町會議員、三度北海道會議員ニ選ハル、現ニ奈井江信用販賣購買利用組合長、砂川町農會長、北海道信用購買販賣組合理事、空知郡農會長、北海道製酪組合聯合會理事タリ、農林省委員被仰付、大政翼贊會調査委員會委員ヲ委嘱セラル、皇軍慰問ノ爲北中支ニ派遣セラル○當選三回(19 20 21)

北吟吉

新潟縣第一區選出  
大學講師  
著述業

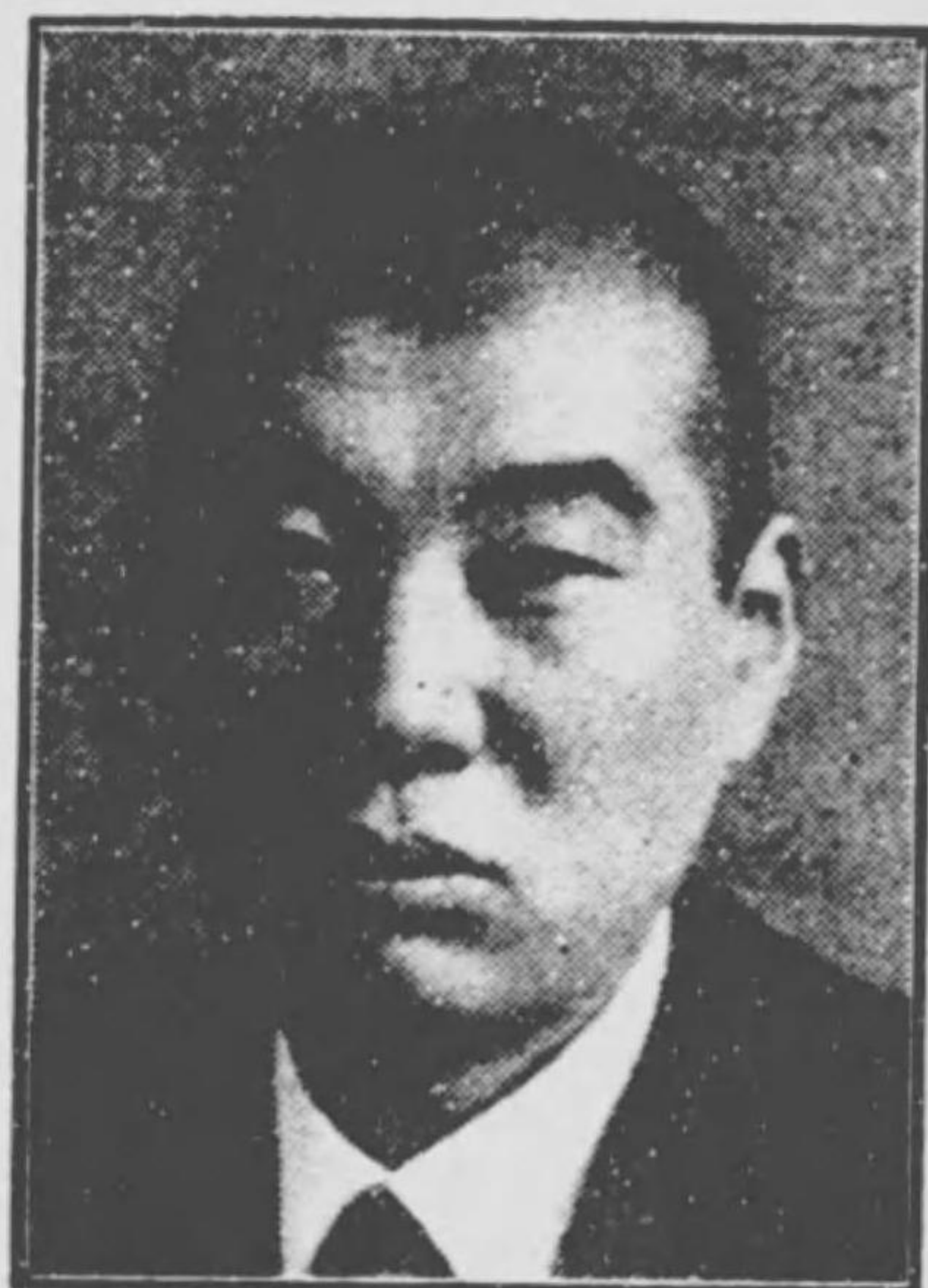


明治十八年七月新潟縣佐渡郡兩津町ニ生ル、同四十一年早稻田大學文學部哲學科卒業、後米國「ハーバート」大學、獨逸國柏林大學「ハイデルベルヒ」大學ニ學フ、「哲學より政治へ」光は東方より「哲學概論」ロヂヤリス氏西洋哲學史「ベッディンググ氏近世哲學史」獨譯「明治天皇御製」其ノ他數種ノ著書及翻譯アリ○早稻田大學講師、大東文化學院教授、大東文化協會比較研究部主査兼教授、日本新聞編輯監督兼論說記者トナル、多摩帝國美術學校ヲ創立シ現ニ名譽校長ニシテ又大正大學講師タリ、雜誌「祖國」ヲ創刊主宰ス、教科書調査會委員被仰付、國際聯盟會議參列帝國全權隨員トシテ「セネガール」ニ、又第卅五回列國議會同盟會議(オスロ)ニ參列後歐米各國ヲ視察ス、又中南支方面皇軍慰問ヲ兼テ視察スルコト再度ナリ○當選三回(19 20 21)



北村又左衛門

奈良縣選出、翼贊政治會  
林業



清

寬

岐阜縣第一區選出、翼贊政治會  
新聞社長



明治三十五年九月奈良縣吉野郡上市町ニ生ル、昭和三年法政大學卒業○奈良縣大和山林會議員並理事、全國林業組合長、大日本山林會理事及顧問、林業懇談會理事、國防衛生協會奈良縣支部長等ニ選ハレ、其ノ間公益事業ニ盡シタル故ヲ以テ紺綬褒章ヲ下賜セラル、現ニ北村林業株式會社取締役、日本木材統制株式會社取締役、奈良縣林材株式會社取締役社長タリ、木材統制委員會委員及農林省委員被仰付○當選一回(21)

清瀨一郎

兵庫縣第四區選出、翼贊政治會  
勳三等、法學博士、辯護士



明治十七年七月兵庫縣飾磨郡置鹽村ニ生ル、同四十一年京都帝國大學法科大學卒業、後英、獨、佛國ニ留學ス○司法官試補ヲ命セラル、現ニ辯護士ノ業務ニ從事ス、法制審議會臨時委員、土木會議議員、衆議院議員選舉修正審議會、議院制度調査會、國民貯蓄獎勵委員會、議會制度審議會、國家總動員審議會、司法制度調査會、辯護士審査委員會、法規整備委員會、興亞委員會、家事審判制度調査委員會、工業所有權制度調査委員會各委員被仰付、大政翼贊會總務ヲ委嘱セラル○曩ニ衆議院副議長タリ○當選八回(14 15 16 17 18 19 20 21)

九鬼紋七

三重縣第一區選出、翼贊政治會  
會社重役



明治二十八年十月四日市市ニ生ル、大正十年慶應義塾大學理財科卒業○四日市商工會議所議員及副會頭ニ舉ケラレ、所得調査委員ニ數回選ハル、商事調停委員、名古屋少年審判所保護司等ニ選任セラル、現ニ東洋紡績株式會社監査役、日本無線電信株式會社取締役、東海電線株式會社監査役、三重銀行取締役頭取タリ、商工省委員被仰付、大政翼贊會四日市支部理事ヲ委嘱セラリ、○當選一回(21)



久山知之

岡山縣第一區選出、翼贊政治會  
正五位勳三等、著述業



明治二十二年四月岡山縣久米郡大井西村ニ生ル○株式會社高信銀行支配人、美作電化工業株式會社專務取締役、株式會社久山工業所長、中國民報社員トナル、又岡山縣會議員、同參事會員、土地收用審査委員、岡山縣交通互助會々長ニ舉ケラル○司法政務次官ニ被任、資源審議會、選舉制度調査會、法規整備委員會、議會制度審議會、司法制度調査會各委員及司法省委員被仰付、大政翼贊會調査委員會委員ヲ委嘱セラル、皇軍慰問ノ爲滿洲及支那ニ派遣セラル○當選六回(16 17 18 19 20 21)

楠美省吾

青森縣第二區選出、翼贊政治會  
農業



明治三十八年九月青森縣北津輕郡七和村ニ生ル、昭和六年東北帝國大學法文學部法律科卒業、同十年滿洲國大同學院卒業○滿洲國鐵嶺縣屬官、東豐縣參事官、奉天省理事官、實業廳辦事、開拓科長、開拓總局理事官ニ歷任ス、滿洲拓殖委員會滿洲帝國委員隨員トナル、拓務省委員及大東亞省委員被仰付○當選一回(21)

窪井義道

山口縣第二區選出、翼贊政治會  
正五位勳三等、辯護士、會社重役



明治二十五年一月山口縣熊毛郡三丘村ニ生ル、大正七年東京帝國大學法科大學卒業、後歐米ニ留學ス○大倉商會社員トナル、國際工船漁業、黃海漁業、不二映畫各株式會社ヲ設立シ其ノ取締役社長、株式會社山王會館監查役タリ○海軍參與官ニ被任、液體燃料委員會、國家總動員審議會各委員及內務省委員被仰付、又松岡外務大臣歐洲訪問隨員被仰付、大政翼贊會中央協力會議員ヲ委嘱セラル○支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲滿洲及支那へ又上海へ派遣セラル、第二十九回列國議會同盟會議ニ參列歐米各國ヲ視察ス○當選五回(14 18 19 20 21)

藏原敏捷

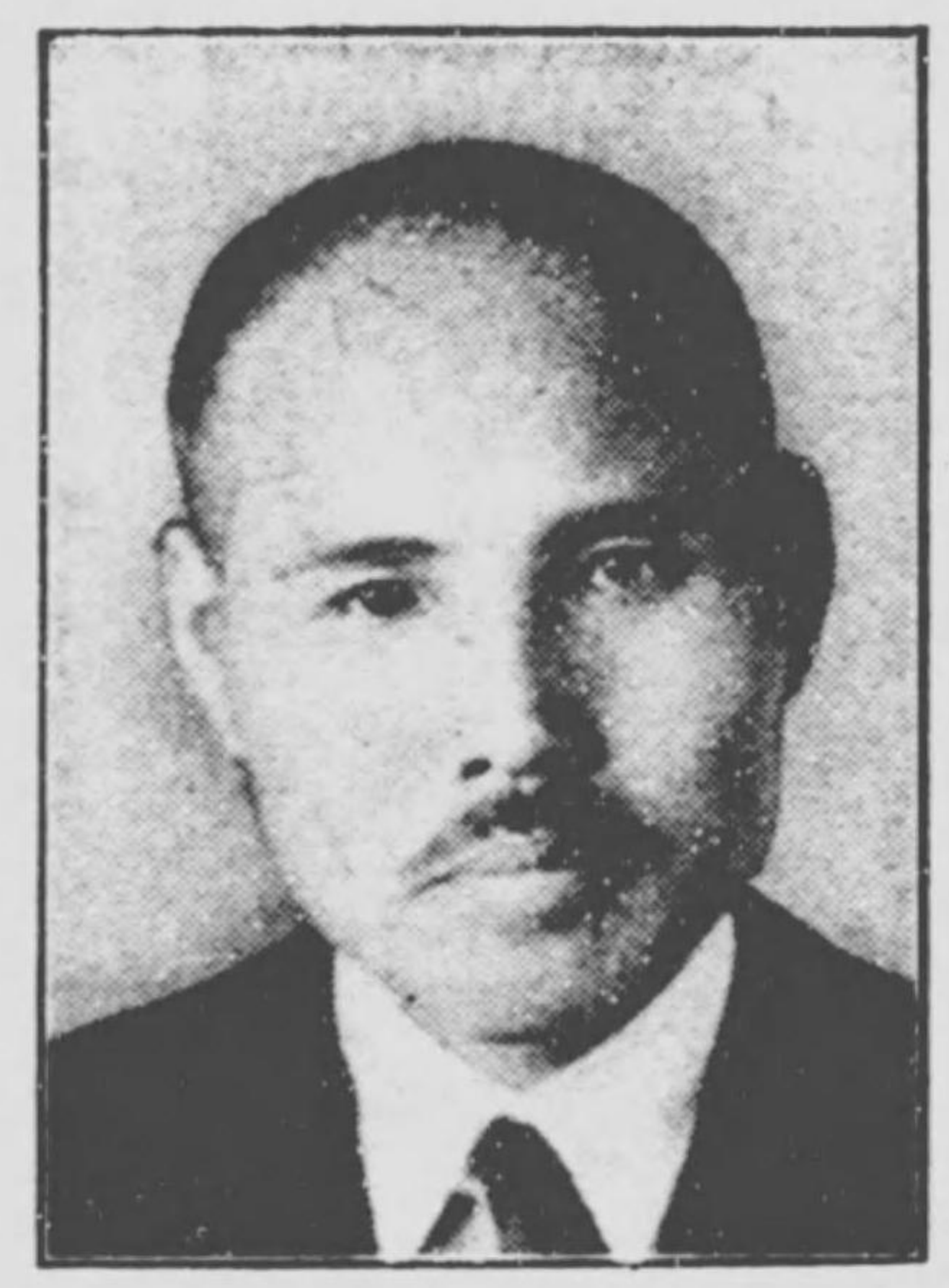
熊本縣第二區選出、翼贊政治會  
正五位勳三等



明治二十一年八月熊本縣下益城郡小川町ニ生ル、大正二年東京帝國大學法科大學政治科卒業○文官高等試驗ニ合格シ大阪府警部、同警視、東京府理事官、千葉縣、秋田縣、神奈川縣、大阪府各警察部長、和歌山縣知事ニ歷任ス、中央社會事業委員會、中央職業紹介委員會各委員及鐵道省委員被仰付、社會事業調査會委員、大政翼贊會參與ヲ委嘱セラル、歐米各國ヲ視察ス○當選三回(19 20 21)



黑澤 西藏 北海道第五區選出、翼贊政治會 農業



明治十八年三月茨城縣久慈郡世谷村ニ生ル、京北中學校卒業○北海道會議員、北海道製酪販賣聯合會々々長、北海道地方物價委員會委員長、北海道司法保護事業聯盟評議員、北海道物價統制協力會議副會長、北海道農會特別議員、北海道廳經濟顧問等ニ選ハル、現ニ北海道信用購買販賣利用組合聯合會長、全國購賣販賣聯合會理事、產業組合中央會北海道支會長、北海道興農公社社長タリ、米穀統制委員會、食糧管理委員會各委員及農林省委員被仰付、大政翼贊會道支部常務委員委嘱セララル○當選一回(21)

黒田 巖 兵庫縣第三區選出、翼贊政治會



明治三十九年九月兵庫縣印南郡阿彌陀村ニ生ル、昭和七年京都帝國大學法學部卒業○兵庫縣巡查、滿洲國哈爾濱警察廳巡官、濱江省規劃科長、北支方面軍囑託、濟南治安維持會顧問、山東省會警察局顧問、同省公署顧問輔佐官等ニ歷任ス、内閣委員及大東亞省委員被仰付、大政翼贊會調查部第二副部長ヲ委嘱セララル○當選一回(21)

毛山 森太郎 愛媛縣第三區選出、翼贊政治會 農業



明治二十九年三月愛媛縣北宇和郡立間村ニ生ル、縣立宇和島中學校ニ學フ○立間村助役及同村長、縣會議員、北宇和郡畜産組合長、南豫乾繭販賣利用組合長ニ選ハル、大政翼贊會愛媛縣協力會議員、北宇和郡翼贊壯年團顧問ヲ委嘱セララル、現ニ四國電氣工業株式會社取締役タリ○當選一回(21)

小泉 純也 鹿兒島縣第一區選出、翼贊政治會 著述業



明治三十七年一月鹿兒島縣ニ生ル、昭和五年日本大學政治科卒業○立憲民政黨事務局書記、遞信省囑託、東方政經通信社理事トナル、外務省委員被仰付、支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲北南支那へ派遣セララル○當選二回(20 21)







小谷節夫

岡山縣第二區選出、翼贊政治會  
新聞社長



明治十八年一月岡山縣阿哲郡美穀村ニ生ル、同四十一年上海東亞同文書院卒業、「實力の人原さん」「何人も知らねばならぬ支那の知識」「中華民國と帝國日本」「大學意解」等ノ著書アリ○古河鑛業會社員トナリ滿洲ニ駐在ス、後青島ニテ貿易商天佑公司ヲ營ム、吳佩孚ノ政治顧問タリ、岡山縣私立金川中學校長トナル、青島新報社長タリ、又漢字新聞「大青島報」ヲ發刊ス、内閣委員被仰付○當選五回(16 18 19 20 21)

小平權一

長野縣第三區選出、翼贊政治會  
從三位勳三等、農學博士



明治十七年一月長野縣諏訪郡米澤村ニ生ル、大正三年東京帝國大學法科大學政治學科卒業、「農業金融論」「產業組合論」「產業組合法」等ノ著書アリ○農商務事務官、農商務技師兼書記官兼文部省督學官、農林技師兼農林書記官、農林省蠶絲局長、農務局長、經濟更生部長、農林次官等ニ歴任ス、後滿洲國糧穀株式會社理事、興農合作社中央理事、滿洲國參議ニ就任ス、内閣情報部委員、教育審議會、醫藥制度調査會、海外拓殖調査會各委員、農林計畫委員會、中央職業紹介委員會、海外糧營團設立委員被命、内閣委員及大東亞省委員被仰付、中央食糧營團設立委員被命、大政翼贊會總務局長ヲ委嘱セラシ、歐米各國へ出張ヲ命セラシ○當選一回(21)

小林絹治

兵庫縣第三區選出、翼贊政治會  
正五位勳三等



明治二十一年二月兵庫縣加東郡河合村ニ生ル、大正五年米國カリホルニア大學政治科、同八年同大學院法科卒業、米國法學博士ノ學位ヲ受ク○中央新聞主筆、同編輯長トナル、後南滿洲鐵道株式會社ニ入社シ秘書役、參事、紐育支店長、庶務課長トナル、瑞西國「ジュネーヴ」ニ於テ開催ノ國際聯盟總會臨時會議ニ於ケル帝國代表者隨員被仰付○農林省與官ニ被任、米穀統制委員會、米穀自治管理委員會、國際觀光委員會各委員、土木會議議員及農林省委員被仰付、農村經濟更生中央委員會委員、日本競馬會設立委員被命、大政翼贊會調査委員會委員ヲ委嘱セラシ○當選四回(18 19 20 21)

小林鐵太郎

山形縣第二區選出、翼贊政治會  
從五位、著述業



明治十九年十一月山形縣西田川郡大寶寺村ニ生ル、同四十五年東京帝國大學法科大學政治學科及法律學科卒業、「近時ノ社會問題」「普選讀本」「農村問題」等ノ著書アリ○文官高等試驗合格、鐵道院書記、鐵道院副參事、鐵道省事務官、關東長官秘書官、臺灣總督秘書官ニ歴任ス、陸海軍省囑託、滿洲國協和會駐日代表委員トナル、又立教、中央、專修、各大學講師タリ、臨時東北地方振興計畫調査會委員及内閣委員被仰付、歐米各國へ出張ス○當選一回(21)



小松茂藤治

福島縣第一區選出、翼贊政治會  
公吏



明治二十一年十二月福島縣安達郡本宮町ニ生ル、同四十三年早稲田大學專門部法律科卒業○本宮町會議員、同農會長、福島縣會議員、同參事會員、同副議長、同議長ニ舉ケラル、安達郡町村長會長、安達郡經濟更生委員長、福島縣商工聯合會理事長等ニ選ハル、現ニ本宮町長タリ、大政翼贊會縣協力會議議長、同中央協力會議員ヲ委嘱セラル○當選一回(21)

小柳牧衛

新潟縣第二區選出、翼贊政治會  
正四位勳三等



明治十七年七月新潟縣北蒲原郡川東村ニ生ル、同四十二年東京帝國大學法科大學政治學科卒業○文官高等試驗合格、北海道廳屬、同事務官補、同理事官、青島守備軍民政部事務官、臨時震災救護事務局書記官、青森、山口、神奈川縣各内務部長、青森、福島、長崎、兵庫各縣知事ニ歴任ス○文部政務次官ニ被任、新潟市長、新潟縣教育會會長トナル、現ニ石油聯合株式會社取締役、新潟臨港開發株式會社取締役タリ、教育審議會、國語審議會、宗教制度調査會、國民貯蓄獎勵委員會、教科用圖書調査會各委員及文部省委員被仰付、大政翼贊會中央協力會議員ヲ委嘱セラル○支那政府ヨリ三等嘉禾章ヲ贈ラル○當選三回(19 20 21)

小山邦太郎

長野縣第二區選出、翼贊政治會  
正五位勳三等



明治二十二年十一月長野縣北佐久郡小諸町ニ生ル○長野縣會議員、同參事會員ニ舉ケラル、又長野縣蠶品種審查會委員ヲ囑託セラル、北佐久郡生絲同業組合長、蠶絲同業組合中央會議員、小諸町長タリ○海軍參與官ニ被任、蠶絲委員會委員、拓務省委員及大東亞省委員被仰付、支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲議員團長トシテ北支ヘ派遣セラル○當選六回(16 17 18 19 20 21)

小山松壽

愛知縣第一區選出、翼贊政治會  
正五位勳一等



明治九年一月長野縣北佐久郡小諸町ニ生ル、早稻田大學法科卒業○大阪朝日新聞記者タリ、又名古屋新聞ヲ創刊シ其ノ社長トナル、名古屋市會議員ニ選ハル○農林政務次官ニ被任、軍需評議會評議員、鐵道會議臨時委員、都市計畫中央委員會、米穀委員會、關稅調查委員會、小作調査會、人口食糧問題調査委員會、關稅審議會、米穀調査會、臨時資金調整委員會各委員被仰付、南洋視察議員團長トシテ同方面ヲ又滿蘇國境方面ヲ視察ス、又中華民國國民政府還都改組慶祝國民使節衆議院代表トシテ南京ニ派遣セラル○衆議院副議長、議長タリ、○永年在職議員トシテ院議表彰セラル○當選十回(12 13 14 15 16 17 18 19 20 21)



小山谷 藏

和歌山縣第二區選出、  
正五位勳三等



明治九年九月和歌山縣西牟婁郡三栖村ニ生ル、同三十一年東京  
專門學校卒業、後米國コロロンビア大學卒業、  
「マスタール・オブ・ア  
1ツ」トクトル・オブ・フイロソフイーノ學位ヲ受ケ、  
灣總督府翻譯官タリ、  
次官ニ被任、人口食糧問題調査會、失業防止委員會、外務政務  
調査會、阿片委員會、神戶問題調査會、國防委員會、保健衛生  
文化事業調査會、關稅調查委員會、國立公園委員會、對支  
中央衛生會、海外拓殖調査會、各臨時委員、勞働保險調查會、  
政治經濟事情視察研究ノ爲歐米各國ヲ巡遊ス、  
視察ノ爲滿洲及支那ニ派遣セララル、  
21) 當選八回(11 12 16 17 18 19 20  
及

小山 亮

長野縣第二區選出、  
翼贊政治會



明治二十八年二月東京市ニ生ル、大正九年愛媛縣立弓削商船學  
校航海科卒業、  
校航海科卒業○甲種一等運轉士試驗並甲種船長試驗ニ合格ス、  
山下汽船株式會社武州丸ニ乘組ミ伊太利海軍御用船トシテ歐洲  
大戰ニ參加ス、國際汽船株式會社ニ入社、歐洲航路、大西洋航  
路、北米、南米、地中海、北支、濠洲、印度、北洋各航路ニ就  
航シ世界ヲ周航ス、小諸町會議員トナル、民衆新聞ヲ主宰ス、中  
央船員給料委員會委員被仰付、滿蘇國境方面ヲ視察ス○當選三  
回(19 20 21)

木暮武太夫

群馬縣第二區選出、  
正五位勳三等、會社重役



明治二十六年二月群馬縣群馬郡伊香保町ニ生ル、大正六年慶應  
義塾大學理財科卒業○株式會社三井銀行員タリ、伊香保町會議  
員、伊香保鑛泉場組合取締所組合長ニ學ケラル、伊香保溫泉自  
動車、伊香保ケール鐵道各株式會社取締役、社團法人日本溫  
泉協會本部理事タリ○商工政務次官ニ被任、帝國燃料興業株式  
會社設立委員、重要肥料業委員會、關稅調查委員會、度量衡制度  
調査會、不當廉賣審查委員會、米穀配給調整中央委員會、臨時  
資金調整委員會、貿易審議會、百貨店委員會、製鐵事業委員會、  
國產振興委員會、瓦斯事業委員會、重要鑛物委員會、中央物價委  
員會、價格形成中央委員會、國家總動員審議會各委員及商工省  
委員被仰付、車輛價格形成專門委員會委員被仰付、大政翼贊會中  
央協力會議員ヲ委嘱セララル、中華民國及滿洲國ヲ視察ス、又皇  
軍慰問ノ爲議員團長トシテ中支ヘ派遣セララル○當選七回(15 16  
17 18 19 20 21)

河野 一郎

神奈川縣第三區選出、  
從五位勳三等、會社員



明治三十一年六月神奈川縣足柄下郡豐川村ニ生ル、大正十二年  
早稻田大學政治經濟科卒業○東京朝日新聞社員トナル、中郡畜  
産組合長、中央畜産會理事、同會頭ニ學ケラル○農林大臣秘書  
官ニ被任、東光商事株式會社監查役タリ、農林計畫委員會、中  
央賃金委員會、木材統制委員會、重要肥料委員會各委員、日本肥  
料、株式會社設立委員及農林省委員被仰付、中央食糧營團設立  
委員被命○當選四回(18 19 20 21)



河野 密

東京府第一區選出、翼贊政治會  
辯護士



明治三十年十二月千葉縣夷隅郡中川村ニ生ル、大正十一年東京帝國大學法學部獨法科卒業、「日本の勞働問題」「孫文の生涯と國民革命」「新體制其の後に來るもの」「政治と文學」「國防政治學」等ノ著書數種アリ○東京朝日新聞、大阪朝日新聞記者、京都同志社大學講師トナル、日本勞働組合會議副議長ニ舉ケラル、第二十回國際勞働會議日本勞働代表ニ推薦セラル、稅制調査會、中央賃金委員會各委員、保險院保險制度調査會臨時委員及厚生省委員被仰付、大政翼贊會調査委員會委員ヲ委嘱セラル○當選三回(19 20 21)

紅 露 昭

德島縣第一區選出、翼贊政治會  
勳三等、辯護士



明治二十年十月德島縣那賀郡桑野村ニ生ル、法政大學及日本大學法律科高等專攻科卒業○辯護士試驗ニ合格ス、曩ニ稅務屬ニ任セラレ、永代橋、神田橋、四谷各稅務署ニ勤務ス、後辯護士、辨理士ノ業務ニ從事ス、日本辯護士協會理事、日本大學評議員、法政大學評議員、日滿法曹協會理事タリ、サンケエ株式會社取締役社長ニ就任ス、國民體力管理制度調査會、交通事業調整委員會各委員、帝都高速度交通營團設立委員、同評議員及司法省委員被仰付○當選四回(18 19 20 21)

駒井 重 次

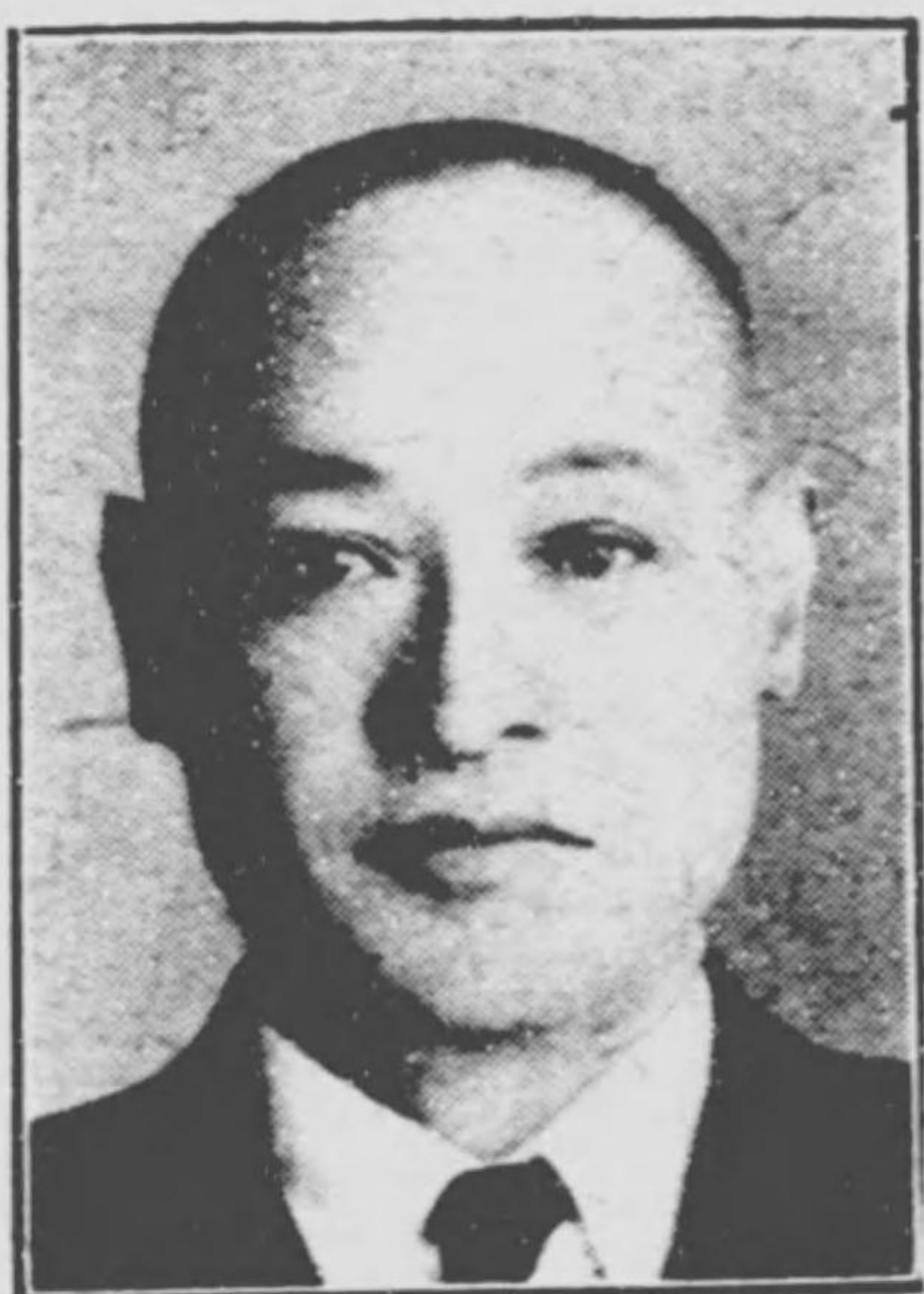
東京府第二區選出、翼贊政治會  
從五位勳三等、計理士



明治二十八年二月東京市ニ生ル、大正九年東京帝國大學經濟學部商業學科卒業○文官高等試驗合格、大藏屬、司稅官、銀行検査官ニ歷任シ、前橋、龜戶、神田橋各稅務署長ニ補セラル、前橋、龜戶、神田橋各稅務署管内相續稅審查委員、群馬縣收用審查會委員ヲ命セラル、現ニ計理士及日本大學講師タリ、政府貸付金處理委員會委員及大藏省委員被仰付○當選四回(18 19 20 21)

近藤 英 次 郎

山形縣第一區選出、翼贊政治會  
正四位勳二等功二級、海軍中將



明治二十年九月米澤市ニ生ル、海軍兵學校及海軍大學校卒業○海軍少尉ニ任官シ累進シテ海軍中將ニ至ル、其ノ間第一次世界戰爭及支那事變等ニ從軍ス、現ニ東亞海運株式會社顧問タリ、土木會議議員、內閣委員及大東亞省委員被仰付○當選一回(21)



佐久間道夫

神奈川縣第一區選出、翼贊政治會  
會社員



佐久間 渡

栃木縣第一區選出、翼贊政治會  
辯護士



明治二十六年七月横濱市ニ生ル、神奈川縣立横濱第一中學校卒業  
業○鶴見町聯合青年團長、横濱市會議員、同參事會員、横濱地  
方裁判所調停委員ニ數回選ハル、現ニ横濱市衛生組合聯合會  
理事、横濱市軍人後援會參與、鶴見警察署管内土地經濟報國會  
長、横濱土地協會理事等ヲ兼ヌ、内閣委員及大東亞省委員被仰  
付、大政翼贊會横濱市協力會議員ヲ委囑セラル○當選一回(21)

明治二十六年九月栃木縣那須郡小川町ニ生ル、大正四年明治大  
學專門部法科卒業○辯護士試驗ニ合格、辯護士ノ業務ニ從事  
ス、宇都宮市會議員、栃木縣會議員ニ數回選ハレ縣會議長ニ舉  
ケラル○當選一回(21)

佐々井一晁

兵庫縣第五區選出、翼贊政治會  
著述業



佐藤洋之助

茨城縣第三區選出、翼贊政治會  
會社重役、學校長



明治十六年二月兵庫縣氷上郡葛野村ニ生ル、神戸市バルモニア  
英學院高等部卒業、「新日本建設計畫大綱」「五十年後ノ太平洋」  
「維新魂」ノ著書アリ○遞信書記補、氷上郡小學校教員ヲ命セラ  
ル、内務省社會局及中央教化團體聯合會囑託トナル、大日本黨  
ヲ結成シ之ヲ主宰ス、内閣委員被仰付、滿、蒙ヲ視察ス○當選  
一回(21)

明治二十七年七月茨城縣猿島郡古河町ニ生ル、慶應義塾ニ學ブ、  
「日本精神ト弓道」南洋を語る」ノ著書アリ○古河町會議員、茨  
城縣會議員、同副議長ニ學ケラル、營業稅、營業收益稅並所得  
調査委員、農山漁村臨時救濟資金審査委員、茨城縣選舉肅正委  
員會委員、大政翼贊會茨城支部顧問、同調査委員、猿島郡酒類營  
業組合長、茨城支部長トナル、曩ニ古河青年會會長、茨城急行自動  
車株式會社ヲ創立シ其ノ取締役社長、土井藩主ノ創設ニ係ル盈  
科學校ノ經營ニ當リ其ノ校長たり、大日本武德會總裁宮殿下ヨ  
リ弓道教士ノ稱號ヲ授與セララル、拓務省委員及大東亞省委員被  
仰付○滿洲事變勃發直後滿洲方面ヲ視察シ又衆議院視察團員ト  
シテ南洋、比律賓及皇軍慰問團理事トシテ北支及南支方面へ派  
遣セララル○當選四回(18, 19, 20, 21)



佐藤 芳男

新潟縣第二區選出、  
翼贊政治會  
公吏



明治二十九年九月新潟縣中蒲原郡龜田町ニ生ル、大正九年早稻田大學政治經濟科卒業○屢、龜田町長、新潟縣會議員、同縣町村會長ニ舉ケラレ、現ニ龜田町長タリ、厚生省委員被仰付○當選一回(21)

齋藤 憲三

秋田縣第二區選出、  
翼贊政治會  
會社員



明治三十一年二月秋田縣由利郡平澤町ニ生ル、大正十一年早稻田大學商學部卒業○東京電氣化學工業株式會社、大日本興發株式會社各社長、秋田實業株式會社代表取締役タリ、厚生省委員被仰付○當選一回(21)

齋藤 隆夫

兵庫縣第五區選出、  
翼贊政治會  
辯護士



明治三年八月兵庫縣出石郡室埴村ニ生ル、早稻田大學卒業後米國エール大學院卒業、「帝國憲法論」「憲法及政治論集」「革新及革新運動論」等ノ著書アリ○內務政務次官、法制局長官ニ被任、法制審議會、勞働保險調查會各臨時委員、衆議院議員選舉法調査會、人口食糧問題調查會、都市計畫中央委員會、失業對策委員會、米穀統制調查會、衆議院議員選舉改革審議會、瓦斯事業委員會、神社制度調查會、議院制度調查會、藥業振興委員會各委員、土木會議議員被仰付○第十八回列國議會同盟會議、萬國議院商事會議ニ出席ス○當選十回(11 12 13 15 16 17 18 19 20 21)

齋藤 正身

宮崎縣選出、  
翼贊政治會  
貿易商



明治三十年十二月宮崎縣宮崎郡住吉村ニ生ル、大正十一年上海東亞同文書院卒業○天津隆和公司ニ入社ス、天津正榮洋行ヲ設立ス、滿洲國國務總理祕書トナリ、辭任シテ滿洲日日新聞社、大連日日新聞社顧問トナル、財團法人宮崎縣齋藤獎學會ヲ設立シ其ノ會長タリ○當選一回(21)



坂口平兵衛

鳥取縣選出、  
會社重役、  
翼贊政治會



明治三十九年二月米子市ニ生ル、昭和四年明治大學政治經濟學部卒業○坂口合名會社、株式會社米子製鋼所、日本製絲株式會社、山陰水産株式會社各社長、中國配電株式會社相談役、米子銀行取締役タリ、鳥取縣山林會議員、米子市農會長、米子商工會々頭、鳥取縣司法保護委員會參與ニ選ハル、農林省委員被仰付、大政翼贊會縣支部常務委員、縣翼贊壯年團長ヲ委囑セララル○當選一回(21)

坂下仙一郎

靜岡縣第三區選出、  
會社重役、  
翼贊政治會



明治九年十一月靜岡縣濱名郡雄踏町ニ生ル○多年小學校訓導ヲ奉職ス、雄踏町會議員、同町長、靜岡縣會議員ニ選ハル、現ニ濱松自動車丸保養魚、篠原合同自動車各株式會社社長、濱松自動車株式會社監査役、鈴政長毛織物株式會社相談役タリ、濱松自動車組合長、靜岡縣自動車協會理事、濱名郡水産會評議員、同會副會長、日本乘合自動車協會理事、同郡畜産組合長、同郡養鶏組合長、同郡農會長、同郡畜産組合長、靜岡縣水産會評議員、同縣茶業組合評議員、同聯合會評議員、所得調査委員トナル、支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲中支那ヘ派遣セララル○當選三回(19 20 21)

坂本一角

東京府第七區選出、  
勳四等、  
大學教授、  
翼贊政治會



明治三十年十月東京府西多摩郡檜原村ニ生ル、明治大學法科ニ學ヒ日本齒科醫學專門學校卒業○東京府立第二商業學校教諭、日本大學講師兼學生監、東京高等拓殖學校長及拓殖大學教授トナル、大日本武德會柔道七段、同劍道五段ヲ允許セララル、東京市會議員、同參事會員、同學務委員、都市計畫地方委員會委員、東京市養育院委員長、同電氣事業委員、更生審議會委員等ニ舉ケラル、第三十四回(トルコ)列國議會同盟會議及萬國議院商會會議ニ出席ス、衆議院及國際日本協會ヨリ南北米、歐洲、南洋支那視察ノ爲派遣セララル○當選四回(16 17 18 21)

坂本宗太郎

埼玉縣第二區選出、  
織物業、  
翼贊政治會



明治十七年十二月埼玉縣秩父郡橫瀨村ニ生ル、同四十一年東京高等工業學校卒業○織物工場ヲ自營ス、橫瀨村會議員ニ選ハル、秩父織物工業組合理事、商工業組合中央會理事、埼玉織物聯合會會長、埼玉實業協會會長、大日本報德會理事、大日本織物聯合會全國銘仙聯盟委員長、秩父織物株式會社社長、同地地織物聯合會社長、坂善地元賣有限會社、秩父織物株式會社、同地地織物聯合會各社長、坂善青年學校校長トナル、絹織物整理株式會社、同地地織物聯合會專門委員、絹織物單純化委員會、一般農林水産物價格專門委員會各委員及工商省委員被仰付、大政翼贊會縣支部顧問トシテ支、蒙疆、滿蘇蒙國境方面ヘ派遣セララル○當選二回(20 21)



阪本勝

兵庫縣第二區選出、翼贊政治會  
著述業



明治三十二年十月尼崎市ニ生ル、大正十二年東京帝國大學經濟學部卒業、「新世界觀の構想」ノ著書及「林語堂、生活の發見」ノ譯書アリ○大阪毎日新聞學藝部勤務、兵庫縣會議員ニ選ハル、現ニ日本產業報國會中央本部文化部長、關西學院文學部講師タリ、兵庫縣囑託トシテ歐米各國へ産業視察ノ爲派遣セララル○當選一回(21)

酒井利雄

福井縣選出、翼贊政治會  
土木請負業



明治二十四年七月福井縣坂井郡鳴鹿村ニ生ル○鳴鹿村長、福井縣會議員、同議長ニ選ハル○紺綬褒章ヲ下賜セララル○當選一回(21)

作田高太郎

廣島縣第三區選出、翼贊政治會  
正五位勳三等、辯護士



明治二十年五月廣島縣沼隈郡藤江村ニ生ル、大正四年中央大學卒業○辯護士試驗合格、辯護士ノ業務ニ従事ス、常磐探炭株式會社、日英釀造株式會社各取締役、大日本釀造株式會社監査役、千代田毛織株式會社取締役トナル○文部參與官、文部政務次官ニ被任、國語審議會、體育運動審議會、臨時ローマ字調査會、度量衡制度調査會、教育刷新評議會、宗教制度調査會、制度審議會、教育審議會、科學振興調査會、國民貯蓄獎勵委員會、武道振興委員會及各委員及大藏省委員被仰付、實業教育振興委員會委員被命、大政翼贊會調査委員被仰付、實業教育振興委員會委員被命、出張ス○當選六回(16 17 18 19 20 21)

櫻井兵五郎

石川縣第二區選出、翼贊政治會  
正五位勳三等(旭)



明治十三年八月石川縣鳳至郡柳田村ニ生ル、同四十二年早稻田大學政治經濟科卒業○石川縣會議員ニ選ハル、○商工參與官、拓務政務次官ニ被任、瓦斯事業委員會、關稅調查委員會、不當廉賣審查委員會、米穀對策調査會、關稅調查委員會、海外拓殖委員會、海外拓殖株式會社、北支那開發株式會社、鐵道支那振興株式會社、南洋拓殖株式會社各設立委員被仰付、雪害對策委員會、臺灣總督府熱帶產業調査會、南洋群島開發調査會、對策委員會、臺灣總督視察ノ爲議員團長トシテ派遣セララル、尙泰國皇帝ヨリ白象第二等勳章ヲ贈與セララル○陸軍事務囑託トナリ特ニ親任官ノ待遇ヲ賜ハル○當選九回(12 補12 13 16 17 18 19 20 21)



櫻内幸雄

島根縣第一區選出、翼贊政治會  
從三位勳一等 會社重役



明治三十三年八月島根縣能義郡廣瀬町ニ生ル○日本電燈株式會社、  
桂川電力株式會社、揖斐川電氣株式會社、相模電力株式會社、  
桂川電氣興業株式會社、琴川電氣株式會社、利根水力株式會社、  
東北紡績株式會社、相模紡績株式會社、北海道炭礦汽船株式會社、  
社、北海道製鐵株式會社、朝鮮新聞社等ノ重役タリ○商工大  
臣、農林大臣、大藏大臣ニ歴任ス、國債貸借審議會、衆議院議  
員選舉改革審議會、興亞委員會、物價對策審議會、大東亞建設  
審議會各委員被仰付、軍用保護馬鍛鍊中央會設立委員、北支  
那開發會中支那振興株式會社政府出資財產評價各委員被命、  
大政翼贊會調査委員會委員ヲ囑セラル、第二十回列國議會同  
盟會議ニ參列ス○當選八回(14 15 16 17 18 19 20 21)

笹川良一

大阪府第五區選出、翼贊政治會



明治三十二年五月大阪府三島郡豐川村ニ生ル、國粹大衆黨ヲ結  
成シ其ノ總裁トナル、又國粹義勇飛行隊ヲ創設シ之カ隊長トナ  
リ、大阪府中河内郡ニ日本防空飛行場ヲ設ケ之ヲ陸軍ニ獻納  
ス、日、獨、伊軍事同盟促進ノ目的ヲ以テ獨伊訪問飛行ヲナス、  
商工省委員被仰付○當選一回(21)

薩摩雄次

福井縣選出、翼贊政治會  
著述業



明治三十年十二月福井縣大飯郡本鄉村ニ生ル、大正十二年拓殖  
大學卒業、後京都帝國大學經濟學部ニ學ヒ尙北京大學ニ留學  
ス、「蒙古橫斷記」「亞細亞民族運動史」「政治の人格化」「支那  
の生態」「ビルマ興亡詩」「歐洲の首都伯林より」等數種ノ著書  
アリ○鐵道省、中支那派遣軍及臺灣總督府囑託トナル、東京高  
等拓殖專門學校教授、大東文化協會幹事教化部主任、國民新聞  
經濟部長兼編輯局長タリ、歐米各國ヲ視察ス○當選一回(21)

澤田利吉

北海道第一區選出、翼贊政治會  
正五位 會社重役



明治十二年八月富山縣射水郡新湊町ニ生ル○黒松内村會議員、  
札幌市會議員、北海道會議員、同參事會員ニ選ハル、營業稅審  
査委員、地價調査委員、小作調停委員トナル、日本空權問屋商業  
組合理事長、南尻別電氣株式會社、北海道日日新聞社、日本空權  
統制株式會社各社長タリ○商工參與官ニ被任、都市計畫、米  
穀配給調整中央、臨時資金調整、製鐵事業、鑛業法改正調査、不  
當廉賣物、統制、瓦斯事業、工作機械製造事業、國產振興、不  
議會、中小産業調査會各委員、帝國鑛業開發株式會社設立委員  
及鐵道會議員被仰付、曩ニ北海道廳ノ囑託ヲ受ケ濠洲及支那  
ノ産業ヲ視察ス、支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲北支那へ派遣セ  
ラル○當選五回(15 17 19 20 21)



四王天延孝

東京第五區選出、翼贊政治會  
正四位勳二等功五級、陸軍中將



明治十二年九月埼玉縣比企郡唐子村ニ生ル、陸軍士官學校及陸軍大學校卒業、雜誌「正劍」及「猶太研究」ヲ發行シ、「猶太民族ノ研究」ニ國際共產黨ノ話「猶太思想及運動」等ノ著書アリ○陸軍工兵少尉ヨリ累進陸軍中將ニ至ル、其ノ間佛國出征軍ニ從軍ス、陸軍砲工學校教官、同校下志津分校長、浦塩派遣軍司令部附、陸軍航空學校教官、同校及第三師團司令部附ニ補セラル、帝國飛行協會大日本飛行協會各理事、大日本興亞同盟協議會議員、帝國航空機製造事業委員會委員被仰付、國際同盟軍備縮小會議委員、航空機製造事業委員會委員被仰付、國際航空會議帝國代表命、大政翼贊會東京支部協力會議員ヲ委嘱セラル、猶太人問題ニ關スル國際會議ニ出席シ且歐羅巴、北米合衆國ノ政情及航空情況ヲ視察ス○當選一回(21)

信太儀右衛門

秋田縣第一區選出、翼贊政治會  
勳四等、會社重役



明治十五年十一月秋田縣山本郡金岡村ニ生ル、札幌農學校及早稻田大學政治經濟科ニ學ブ○金岡村長、秋田縣社會議員ニ擧ケラル、體育協會顧問、日本山岳會員、秋田魁新聞社監査役、山本郡聯合青年團長トナル、能代酒造株式會社社長トシテ、東北振興電力株式會社設立委員、東北振興調查會、體育運動審議會、中央失業對策委員會、武道振興委員會、臨時東北地方振興計畫調查會各委員及内閣委員被仰付、滿洲、西比利亞、支那、南洋、馬來半島及蘭領東印度ヲ視察ス、支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲中支那ヘ派遣セララル○當選五回(15 17 19 20 21)

篠原義政

群馬縣第二區選出、翼贊政治會  
正七位勳三等、辯護士



明治二十五年一月群馬縣碓氷郡八幡村ニ生ル、大正六年東京帝國大學法科大學法律科卒業、「日本はどうなる!」「滿洲縱横記」ノ著書アリ○文官高等試驗合格、長野縣屬、東京府屬、内務屬、内閣軍需局事務官、國勢院書記官ニ歷任ス、辯護士ノ業務ニ從事ス、選舉制度調査會委員、絲價安定委員會委員、映畫委員會委員、蠶絲委員會委員及内務省委員被仰付、大政翼贊會參與、同中央協力會議員ヲ委嘱セララル○當選四回(18 19 20 21)

篠原陸朗

千葉縣第一區選出、翼贊政治會  
從四位勳三等



明治十六年三月千葉縣山武郡東金町ニ生ル、同四十二年東京帝國大學法科大學法律科卒業○文官高等試驗合格、司法官試補ヲ被命、後大藏屬、稅務監督局事務官、大藏省主計官、同書記官、長崎稅關長、熊本稅務監督局長ニ歷任ス、航空機製造事業委員會委員、政府貸付金處理委員會委員、内閣委員及大東亞省委員被仰付、大政翼贊會調査委員會委員ヲ委嘱セララル、第三十四回列國議會同盟會議及第二十三回萬國議院商會議ニ參列歐米各國ヲ視察ス、南米視察ノ爲派遣セララル○當選四回(17 19 20 21)







白川久雄

兵庫縣第二區選出、  
正七位、辯護士、  
翼贊政治會



白鳥敏夫

千葉縣第三區選出、  
從三位勳二等、  
翼贊政治會



明治二十年六月千葉縣長生郡茂原町ニ生ル、大正三年東京帝國大學經濟科卒業○領事官補、外交官補、外務事務官、公使館二等書記官、外務書記官、大使館一等書記官、外務省情報部長、特命全權公使、同大使ニ歷任ス、其ノ間香港、華府、北京、伯林、瑞典、伊太利ニ在勤シ又華府會議隨員ヲ被命、外務省外交顧問、大東亞建設審議會委員被仰付、大政翼贊會總務ヲ委囑セラル○當選一回(21)

眞藤慎太郎

北海道第三區選出、  
勳六等、會社重役、  
翼贊政治會



明治十六年七月福岡市ニ生ル○外務省囑託トナリ、露都ニ於ケル日ソ漁業條約改訂會議ニ出席ス、日魯漁業株式會社取締役副社長、東洋製罐、函館水産販賣、函館製網船具、樺太共同漁業、日本營養素製造、臺灣殖産工業各株式會社取締役並監査役、北千島水産、函館定温倉庫、北千島鱈漁業、北海道護謨、北日本漁業各株式會社取締役社長ノ職ニアリ、又露領水産組合評議員、輸出協協會理事長タリ、農林省委員被仰付、大政翼贊會調査委員會委員ヲ委囑セラル○當選一回(21)

菅又薫

栃木縣第一區選出、  
醫師、  
翼贊政治會



明治六年六月栃木縣鹽谷郡北高根津村ニ生ル、東京醫學專門學校濟生學舎ニ學フ○醫術開業試驗ニ合格シ、醫師ヲ開業ス、鹽谷郡會議員、栃木縣會議員、同參事會員、栃木縣醫師會議員ニ選ハル、又北高根澤村長タリ○當選一回(21)



杉山元治郎

大阪府第五區選出、  
齒科醫師、  
勳三等



助川啓四郎

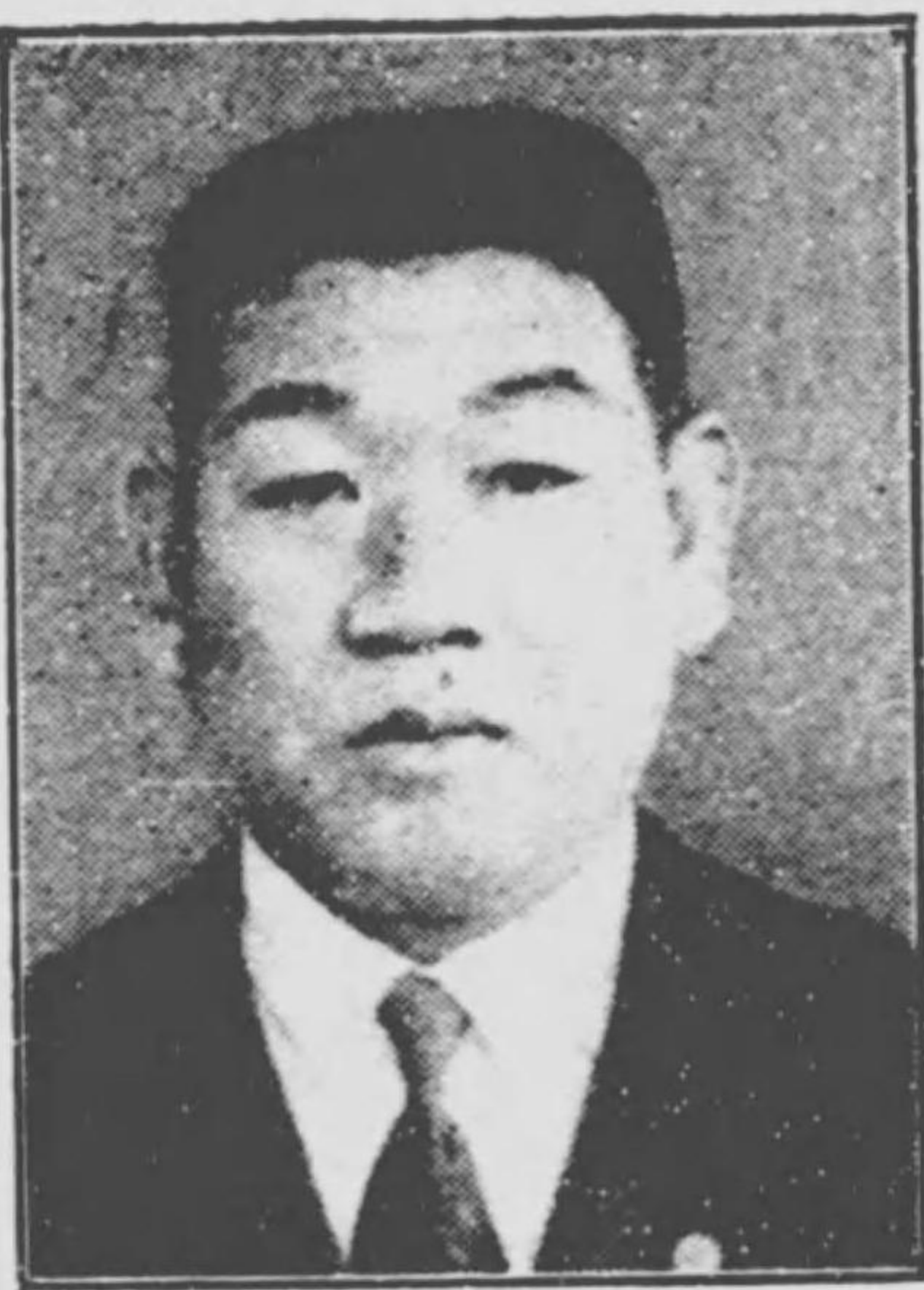
福島縣第二區選出、  
正五位勳三等、  
農業、  
翼贊政治會



明治十八年十一月大阪府泉南郡佐野町ニ生ル、府立農學校及東北學院神學部別科卒業、「農村經營の理想」「農村經營の實際」「小作爭議の實際」「農民組合の理論と實際」「農村教化の研究」其ノ他數種ノ著書アリ○齒科醫師試驗ニ合格、齒科醫師ヲ開業ス、同志社大學文學部社會科講師トナル、日本農民組合ヲ創立シ同志社大學中央委員長タリ、日本農民福音學校ヲ創立シ校長タリ、恩賜財團濟生會大阪府委員、大阪農地委員、東京白十字會、濱松聖隷保養園、大阪生野聖淨會館、大阪市四貫島セツツルメント、大阪市ライトハウス、神戸愛隣團理事及評議員タリ、農業災害保險及共濟制度調査會委員ヲ委嘱セララル、臨時滿洲開拓民審議會委員、保險院專門委員及農林省委員被仰付、支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲中支那ヘ派遣セララル○當選四回(18 19 20 21)

鈴木重次

長崎縣第二區選出、  
農業、  
公吏、  
翼贊政治會



明治二十年五月長崎縣北松浦郡山口村ニ生ル、長崎縣立平戸中學猶興館卒業○小學校訓導兼校長拜命、江迎村長ニ選ハレ、爾來當選七回現在ニ至ル、又長崎縣會議員、同議長ニ舉ケラル、大政翼贊會長崎縣支部顧問、同協力會議員、同中央協力會議員ヲ委嘱セララル○當選一回(21)

鈴木正吾

愛知縣第五區選出、  
勳三等、  
著述業、  
翼贊政治會



明治二十三年六月愛知縣寶飯郡御津町ニ生ル、大正二年明治大學政治科卒業○雜誌「大觀」編輯長トナル、國民貯蓄獎勵委員會委員被仰付、大政翼贊會中央協力會議員ヲ委嘱セララル、歐米各國ヲ視察ス、支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲滿洲、北支及中支ヘ再度派遣セララル○當選四回(18 19 20 21)



鈴木忠吉

靜岡縣第二區選出、  
從七位、陸軍中尉、  
翼贊政治會、  
會社重役



角 猪之助

和歌山縣第二區選出、  
著述業、  
翼贊政治會



明治二十八年十二月靜岡縣賀茂郡下田町ニ生ル、慶應義塾大學  
部理財科ニ學フ○陸軍歩兵中尉ニ被任、下田船渠、東海自動車  
各株式會社取締役、伊豆合同電氣株式會社監査役、伊豆通運株  
式會社社長トナル、下田町會議員、同町長ニ舉ケラル、賀茂郡  
青年團長、帝國在郷軍人會賀茂郡聯合分會長、同名古屋師管聯  
合支部副長、全國貨物自動車運送事業組合理事、同靜岡縣組合  
理事長タリ、大政翼贊會靜岡縣支部常務委員ヲ委嘱セラル○當  
選一回(21)

曾木重貴

宮崎縣選出、  
正八位、陸軍少尉、  
公吏、  
翼贊政治會



明治十九年二月都城市ニ生ル、同四十五年早稻田大學商科卒業  
○陸軍歩兵少尉ニ被任、都城町助役、同町長トナル、又屢、都  
城市會議員、同議長ニ選ハル、三度都城市長ニ舉ケラレ、現ニ  
其ノ職ニアリ、兼ニ都城電氣株式會社支配人タリ、宮崎縣防空  
委員會委員被命○當選二回(20 21)

添田敬一郎

福井縣選出、  
從四位勳二等、  
翼贊政治會



明治四年八月福井縣遠敷郡雲濱村ニ生ル、同三十一年東京帝國  
大學法科大學卒業○文官高等試驗合格、兵庫縣參事官、大分縣  
警察部長、熊本、山梨、滋賀各縣內務部長、埼玉、山梨、山形  
各縣知事、內務省地方局長、文部政務次官ニ歴任ス、勞働保險  
調查會、社會政策審議會、失業對策委員會、臨時ローマ字調查  
會、體育運動審議會、國語審議會、宗敎制度調查會、實業教育  
振興委員會、教學刷新評議會、議院制度調查會、貴族院制度調  
査會、教育審議會、議會制度審議會、住宅對策委員會、住宅會事  
業調查會、醫藥制度調查會、各委員、日本米穀株式會社、住宅營  
各設立委員被仰付、大政翼贊會調查委員會委員、住宅營團  
業ニ財團法人協調會常務理事、現ニ住宅營團理事長タリ○當選  
七回(14 16 17 18 19 20 21)



宗前清

鹿兒島縣第三區選出、翼贊政治會  
從五位勳五等



明治三十年七月鹿兒島縣大島郡知名村ニ生ル、昭和十三年明治  
大學專門部法科卒業○高等試驗行政科並司法科合格、小學校訓  
導、高等女學校教諭、警視廳巡查、同警視、同消防司令、地方  
警視、地方事務官ニ歷任シ、其ノ間芝高輪警察署長、福岡縣警  
務課長、和歌山縣振興課長兼人事課長、知事官房主事ヲ命セラ  
ル、内務省委員被仰付○當選一回(21)

田子一民

岩手縣第一區選出、翼贊政治會  
正五位勳二等



明治十四年十一月岩手縣岩手郡淺岸村ニ生ル、同四十一年東京  
帝國大學法科大學政治科卒業○山口縣警部、都濃郡長、山口縣  
事務官、警察部長、内務書記官、内務省社會局長心得、同社會局  
長、社會局長、三重縣知事、鐵道政務次官ニ歷任ス、鐵道會  
議議員、保險衛生調査會、失業對策委員會、勞働保險調査會、  
宗教制度調査會、社會保險調査會、東北振興調査會、傷痍軍  
人保護對策審議會、中央失業對策委員會、臨時東北地方振興計畫  
會、紀元二千六百年祝典評議會各委員、内閣東北局委員被仰付、  
元二千六百年祝典奉贊會副會長タリ○南支那、香港、歐米各國  
ヲ歴遊ス、又議員團長トシテ滿・蒙國境ヲ視察ス○叢衆議  
院副議長、同議長タリ○當選六回(16 17 18 19 20 21)

田嶋榮次郎

愛知縣第五區選出、翼贊政治會  
正四位勳二等(旭)功三級、陸軍中將



明治十六年五月愛知縣渥美郡高畑町ニ生ル、陸軍士官學校及陸  
軍大學校卒業○陸軍歩兵少尉ヨリ陸軍中將ニ累進ス、其ノ間歩  
兵第十聯隊中隊長、陸軍歩兵學校教官、臺灣歩兵第二聯隊大隊  
長、歩兵第四十一聯隊長、歩兵第三十三旅團長、下關要塞司令  
官等ニ歷任ス、神社制度調査會委員被仰付○當選一回(21)

田下政治

新潟縣第三區選出、翼贊政治會  
正八位、陸軍少尉、農業



明治十九年六月新潟縣南蒲原郡加茂町ニ生ル、北海道廳立札幌  
中學校卒業○陸軍歩兵少尉ニ被任、株式會社加茂銀行取締役ト  
ナル、加茂町會議員、同議長、同農會長、新潟縣會議員、同議  
長ニ選ハレ、加茂町長ニ舉ケラル、有限責任加茂信用組合長  
タリ、大政翼贊會南蒲原郡協力會議長ヲ委嘱セラル○當選一回  
(21)



田中伊三次

京都府第一區選出、翼贊政治會  
辯護士



明治三十九年一月兵庫縣神崎郡香呂村ニ生ル、昭和九年立命館  
大學法學部卒業○辯護士業務ニ従事ス、京都市會議員、同府會  
議員ニ選ハル○當選一回(21)

田中勝之助

島根縣第二區選出、翼贊政治會  
從七位勳五等功五級、陸軍中尉、酒造業



明治三十四年三月島根縣那賀郡今市村ニ生ル、大正十二年鹿兒  
島高等農林學校卒業○陸軍歩兵中尉ニ被任、今市村會議員、島  
根縣會議員ニ選ハル、帝國在郷軍人會那賀郡聯合分會長タリ、  
拓務省委員及大東亞省委員被仰付、大政翼贊會中央協力會議員、  
縣翼贊壯年團副團長ヲ委囑セラル○當選一回(21)

田中源

東京府第六區選出、翼贊政治會  
農業



明治九年十月東京市ニ生ル○屢、葛西村會議員、南葛飾郡會議  
員、東京市會議員、東京府會議員ニ選ハレ、郡會議長、府會議  
長ニ舉ケラル、又葛西村長トナル○當選三回(19 20 21)

田中好

京都府第二區選出、翼贊政治會  
正五位勳四等、會社員



明治十九年十二月京都府船井郡園部町ニ生ル、同四十三年立命  
館大學專門部法律科卒業○京都府屬、兵庫縣屬、内務屬、内務  
省土木事務官兼鐵道省事務官、臨時震災救護事務局事務官ニ歷  
任ス、東京高速鐵道株式會社支配人トナリ現ニ同社顧問タリ、  
又日本大學講師トナル、土木會議議員、交通事業調整委員會、  
帝都交通統制委員會各委員、帝都高速度交通營團設立委員及商  
工省委員被仰付、皇軍慰問ノ爲南支方面へ派遣セラル○當選三  
回(19 20 21)



田中武雄

兵庫縣第四區選出、翼贊政治會  
正五位勳三等、陸軍中尉、酒造業



明治二十一年六月東京市ニ生ル、青山學院高等科修業、後歐米  
ニ留學ス○陸軍歩兵中尉ニ被任、岩見銀行頭取、姫路銀行、廣  
銀行各取締役、東京政情通信社長トナル○鐵道大臣祕書官、廣  
外務參與官、拓務政務次官ニ被任、對支文化事業調査會、國  
觀光委員會、關稅調查會、米穀對策調査會、電力評價審查委員  
會、映畫委員會各委員、臺灣殖產株式會社設立委員、鐵道會議  
員、及外務省委員被仰付、大政翼贊會調査委員會委員、同中央  
協力會議員ヲ委囑セラル、第十九回列國議會同盟會議及同評議  
員會、及汎太平洋商業會議ニ評議員トシテ出席ス、南米視察議  
員團長トシテ派遣セラル○當選七回(14 15 17 18 19 20 21)

田中藤作

大阪府第二區選出、翼贊政治會  
辯護士



明治三十一年二月大阪府中河内郡八尾町ニ生ル、大正十年關西  
大學專門部法律學科卒業○辯護士ノ業務ニ従事ス、大阪市會議  
員、同府會議員、同副議長ニ選ハル、現ニ大阪市高津警防團長、  
高津町會聯合會會長、三和信用組合理事長タリ、皇軍慰問ノ爲北  
支那へ派遣セラル○當選一回(21)

田中貢

廣島縣第二區選出、翼贊政治會  
勳三等、商學博士



明治二十四年十月吳市ニ生ル、大正六年東京帝國大學法學部政  
治科卒業、「日本工業政策」「繭生絲ノ將來」「商業政策」「商工政  
策及財政」「鐵鋼及機械工業」「獨逸物價政策」「工業政策」等ノ著  
書アリ○文官高等試驗合格、經濟政策、社會政策研究ノ爲歐  
米各國ニ留學ス、明治大學教授、東京帝國大學經濟學部講師ト  
ナリ、又參謀本部、陸軍省囑託、大日本產業報國會議事、鐵道  
省經濟諮議員トナル、商工審議會委員、生絲販賣統制委員、內  
閣調査局參與、內務省委員被仰付、陸軍省ヨリ獨伊兩國ノ國防  
費調査研究ノ爲歐米へ出張ヲ命セラル○當選四回(17 18 19 21)

田中亮一

佐賀縣第一區選出、翼贊政治會  
勳三等、農業



明治二十三年八月佐賀縣神埼郡千歲村ニ生ル、大正四年早稻田  
大學政治經濟科卒業○千歲村長、同村農會長、同村耕地整理組  
合長、同村產業組合監事、神埼郡農會長、同養蠶業組合聯合會  
長、肥前麵業株式會社社長、肥筑軌道株式會社取締役トナル、神  
埼郡會議員、佐賀縣會議員、同參事會員ニ舉ケラル、佐賀地方  
森林會議員タリ、保險院保險制度調査會、地方分與稅委員會各  
委員被仰付、南支方面皇軍慰問ノ爲議員團長トシテ派遣セラル  
○當選五回(16 18 19 20 21)



田中和一郎

京都府第一區選出、翼贊政治會  
會社重役



明治二十一年十二月京都市ニ生ル、大正七年東京帝國大學法學部政治學科卒業、後京都帝國大學大學院ニ於テ都市社會政策ヲ專攻ス○大阪毎日新聞社ニ入社ス、現ニ株式會社京都ホテル取締役、内外出版印刷株式會社監査役タリ、屢、京都市會議員、同府會議員ニ選ハレ、市會議長ニ舉ケラル、京都府教育委員長タリ、電力評價審査委員會委員被仰付、大阪稅務監査局管内所得審査員等被命○當選一回(21)

田邊七六

山梨縣選出、翼贊政治會  
正五位勳三等、會社重役



明治十二年三月山梨縣東山梨郡七里村ニ生ル○東北電力株式會社常務取締役、中央電力株式會社專務取締役、日本輕金屬株式會社取締役副社長タリ、○農林政務次官ニ被任、輸出生絲統制調查會、東北振興調查委員會、關稅調查委員會、米穀統制委員會、不當廉賣審查委員會、馬政調查會、地方制度調查會、臨時資金調整委員會、輕金屬製造事業委員會各委員被仰付、農村經濟更生中央委員會委員ヲ被命、大政翼贊會總務ヲ委囑セラル○當選七回(15 16 17 18 19 20 21)

田邊德五郎

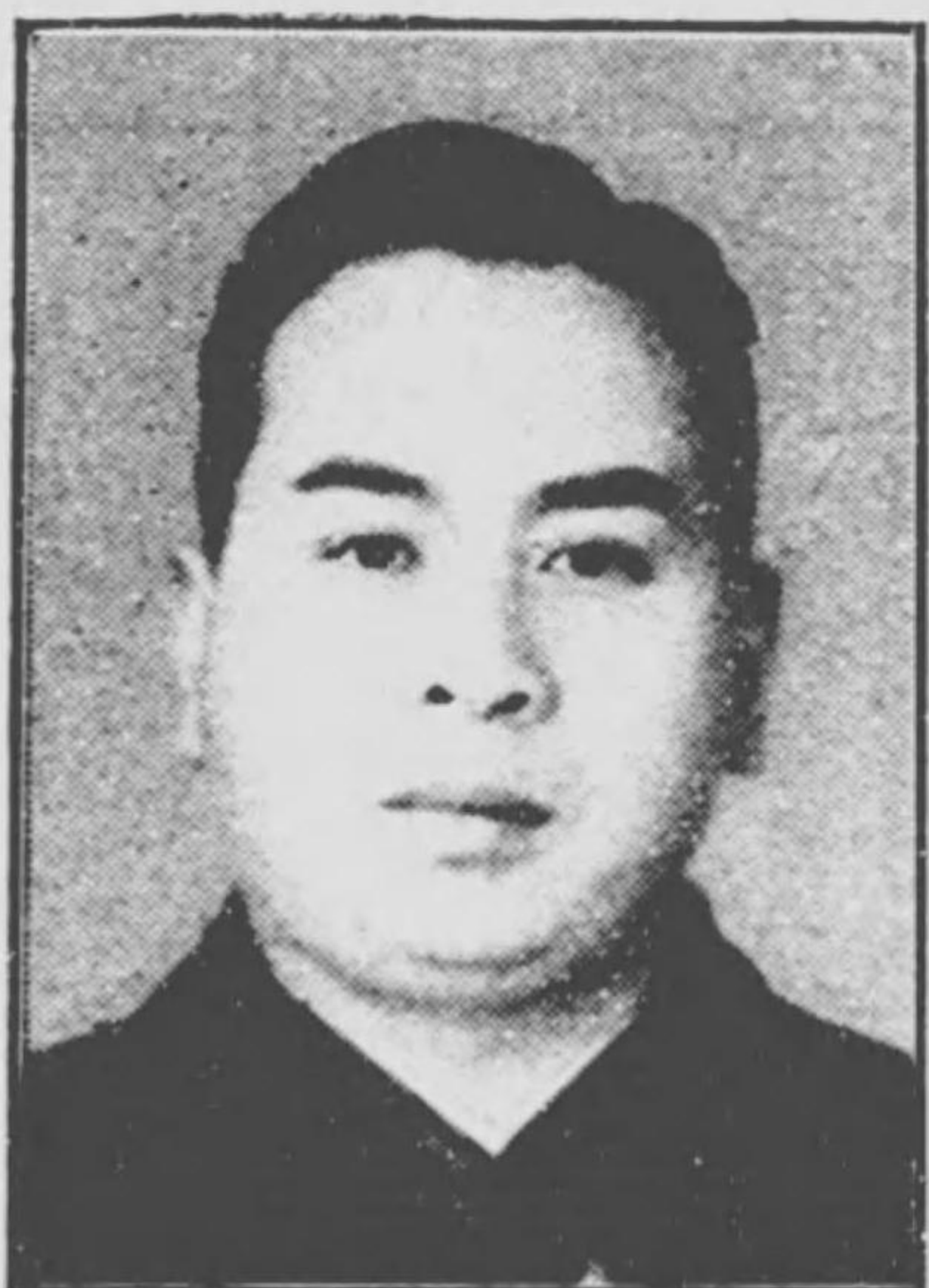
神奈川縣第一區選出、翼贊政治會  
會社重役



明治十八年二月橫濱市ニ生ル、同四十二年長崎高等商業學校卒業○橫濱植木、神中鐵道各株式會社監査役、神奈川縣農工銀行、江ノ島電氣鐵道、湘南瓦斯、光精機製作所、新生食料品各株式會社取締役、都南貯蓄銀行取締役頭取、東海醬油株式會社取締役社長タリ、橫濱市會議員ニ選ハレ、同議長ニ舉ケラル、東京稅務監督局所得審查委員、橫濱市復興信用組合長、同市教育會長タリ、大政翼贊會中央協力會議員ヲ委囑セラル○當選一回(21)

田部朋之

島根縣第一區選出、翼贊政治會  
新聞社長



明治三十九年三月島根縣飯石郡吉田村ニ生ル、昭和八年京都帝國大學經濟學部卒業○曩ニ松陽新報社長、島根新聞社取締役社長タリ、島根縣森林道場講師ヲ委囑セラル、大日本武德會飯石郡支部顧問、飯石郡農會長、島根縣青年團長、郡畜産組合長、縣畜産組合聯合會議員、郡教育會長、同木炭組合長、同產業組合部會長、同山林會長、同農林會長、同養蠶業組合長、同聯合婦人會長等ニ選ハル、農林省委員被仰付、大政翼贊會島根縣協力會議長ヲ委囑セラル○當選一回(21)



田 万 清 臣

大阪府第一區選出、翼賛政治會  
辯護士



明治二十五年七月香川縣綾歌郡栗熊村ニ生ル、大正八年京都帝國大學法學部獨逸法律科卒業○辯護士ヲ開業其ノ業務ニ從事ス、大阪市會議員、同參事會員ニ選ハル、又大阪市學務委員トナル、産業報國會大阪府聯合會理事、大阪府失業對策委員、同退職金審査委員、戰時特別調停委員、借地借家債務調停委員ニ選任セラル、議會制度審議會、中央社會保險審查會各委員被仰付、大日本興亞同盟理事、大政翼賛會大阪府支部常務委員ヲ委囑セラル、北支方面ヲ慰問視察ス、衆議院ヨリ滿蘇蒙國境視察ノ爲派遣セラル○當選三回(19 20 21)

田 村 秀 吉

德島縣第一區選出、翼賛政治會  
辯護士



明治二十八年四月德島縣那賀郡新野村ニ生ル、大正十二年東京帝國大學法學部政治科卒業、同大學院ニ學フ○文官高等試驗行政科並司法科合格、「國際難局に直面して」「聯盟脱退後に於ける我國國際政策」「電力國家管理の現状と其の將來」等ノ著書アリ、曩ニ青森縣、帝都復興院ニ奉職ス、後辯護士ヲ開業其ノ業務ニ從事ス、大東亞研究所ヲ主宰ス、映畫委員會委員及大藏省委員被仰付、支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲中支那へ派遣セラル○當選三回(19 20 21)

田 村 稔

三重縣第二區選出、翼賛政治會  
辯護士



明治二十七年十月宇治山田市ニ生ル 大正十年東京帝國大學法學部獨法科卒業○松阪市ニ於テ辯護士ヲ開業其ノ業務ニ從事ス、三度三重縣會議員ニ選ハレ、同議長ニ舉ケラル○商工省委員被仰付、大政翼賛會三重縣協力會議長、同中央會議議員ヲ委囑セラル○當選一回(21)

多 田 滿 長

千葉縣第一區選出、翼賛政治會  
正五位勳三等



明治十九年四月千葉縣君津郡昭和町神納ニ生ル、同四十四年早稻田大學政治經濟科卒業○大日本通信社ヲ創設ス○遞信參與官、外務政務次官ニ被任、簡易生命保險積立金運用委員會、國民貯蓄獎勵委員會、電氣通信委員會、對支文化事業調查會、關稅調查委員會、阿片委員會各委員、海外拓殖調查會臨時委員及遞信省委員被仰付、海事審議會、航空事業調查委員會各委員被命、大政翼賛會參與、同中央協力會議員ヲ委囑セラル、支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲北滿へ派遣セラル○當選五回(17 18 19 20 21)



高岡大輔

新潟縣第二區選出、翼贊政治會  
著述業



高木義人

宮城縣第二區選出、翼贊政治會  
正四位勳一等(旭)功二級、陸軍中將



明治十九年四月長野縣南安曇郡高家村ニ生ル、陸軍士官學校及  
陸軍大學校卒業○陸軍歩兵少尉ヨリ累進陸軍中將ニ至ル、其ノ  
間西伯利亞事件、滿洲事變、支那事變ニ從軍シ、第十四、第六  
師團參謀、臺灣歩兵第一聯隊大隊長、福井聯隊區司令官、歩兵  
第三十九旅團長、第三師團司令部附、浦鹽派遣軍參謀、參謀本  
部員仙臺師團長ニ歷任ス○大藏省委員被仰付、帝國在郷軍人  
會仙臺支部顧問、大政翼贊會宮城支部顧問、同宮城縣協力會議  
長、同中央協力會議員、同協力會議長事務取扱ヲ委嘱セララル○  
當選一回(21)

高城憲夫

鹿兒島縣第一區選出、翼贊政治會  
正六位、農業



明治三十三年一月鹿兒島縣川邊郡枕崎町ニ生ル、昭和九年廣島  
文理科大學史學科卒業○小學校訓導、鹿兒島縣立中學校教諭、  
香川縣女子師範學校教諭、同附屬小學校主事、同縣立坂出高等  
女學校教諭、鹿兒島縣女子師範學校教諭、同附屬小學校主事、  
同校長事務取扱、北海道旭川師範學校校長ニ歷任ス、大政翼贊會  
鹿兒島縣支部參與ヲ委嘱セララル○當選一回(21)

高田耘平

栃木縣第一區選出、翼贊政治會  
從四位勳二等、農業



明治六年十二月栃木縣那須郡荒川村ニ生ル○郡會議員、縣會議  
員、同參事會員ニ舉ケラル○農林參與官、農林政務次官ニ被  
任、小作制度調査會、米穀委員會、米穀調査會、人口食糧問題  
調査會、蠶絲委員會、馬政調査會、米穀統制調査會、米穀對策  
中央委員會、米穀自治管理委員會、競馬法審查會、米穀配給調整中  
央委員會、軍用保護馬鍛鍊中央會各委員、日本競馬會、日本米穀株  
式會社、軍用保護馬鍛鍊中央會各設立委員、木材統制委員會、  
農地審議會各臨時委員、內閣調査局專門委員及帝國農會特別議  
員被仰付、現ニ馬政局參與、農林省食糧管理顧問タリ、滿  
洲支那ヲ視察ス○永年在職議員トシテ院議表彰セララル○當選  
十回(12 13 14 15 16 17 18 19 20 21)







高橋守平

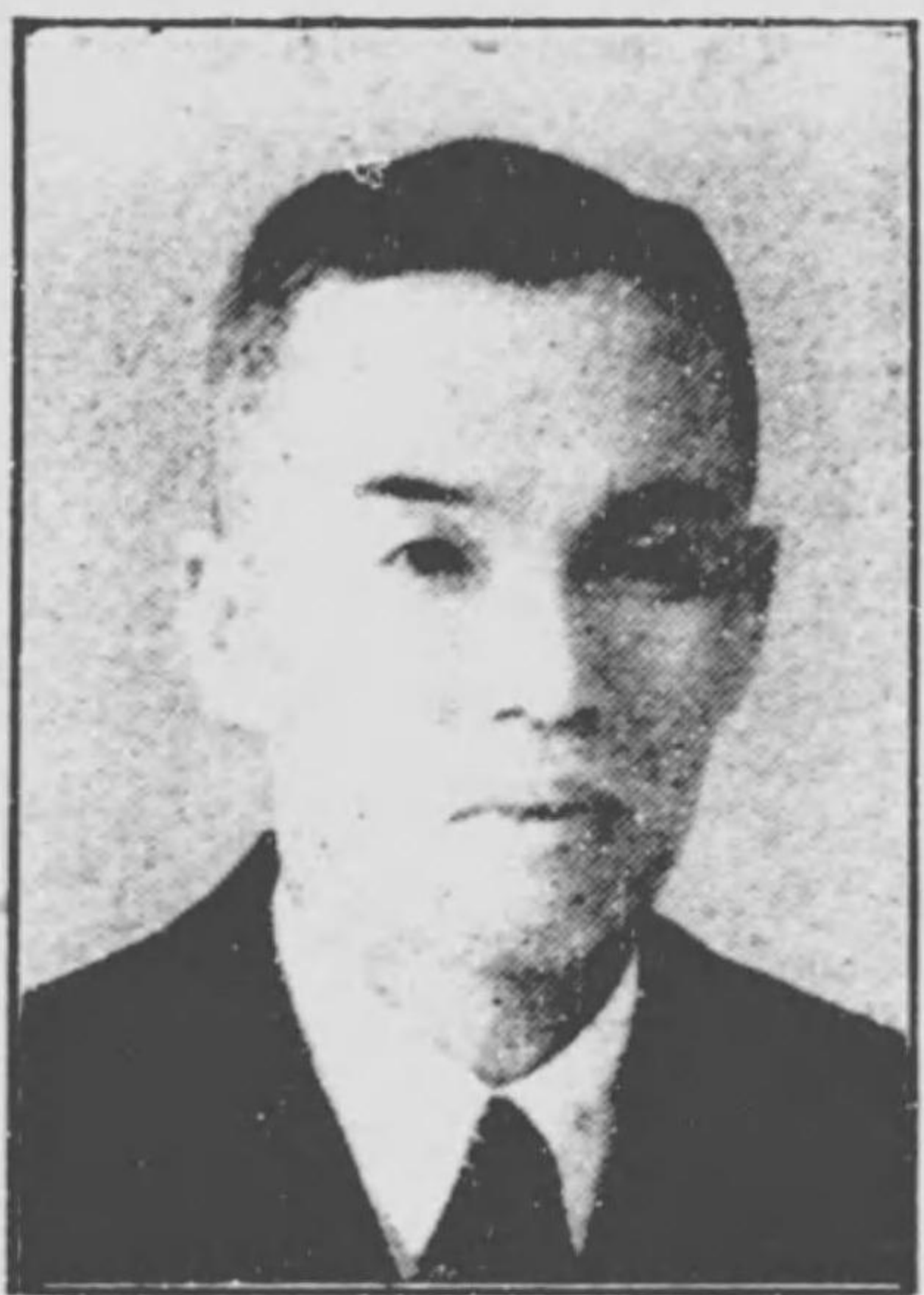
埼玉縣第二區選出、翼贊政治會  
從四位勳三等、農業



明治二十七年十月埼玉縣兒玉郡丹莊村ニ生ル○小學校訓導、村  
農會長、郡農會長、縣農會議員、丹莊村長、城西學園中學校  
理事、株式會社平凡社、東洋纖維株式會社社長、新民印書館  
株式會社副社長トナル○商工參與官、農林政務次官ニ被任、  
重要肥料業委員會、米穀統制委員會、米穀自治管理委員會、  
價安定委員會、關稅調查委員會、臺灣重要產業調整委員會、  
作農創設維持委員會、臺灣重要產業調整委員會、國民貯蓄獎勵  
委員會、馬政調查會、地方競馬整理審查會、農林計畫委員會各  
委員及農林省委員被仰付、大政翼贊會中央協力會議員ヲ囑セ  
ラル○中華民國、滿洲國及關東州へ出張ヲ命セラル、第二十七  
回列國議會同盟會議ニ參列シ歐米各國ヲ視察ス○當選六回(16  
17 18 19 20 21)

高島龜太郎

愛媛縣第三區選出、翼贊政治會  
公吏



明治十六年二月宇和島市ニ生ル○製絲業ヲ營ム、屢、宇和島町  
會議員、同市會議員、愛媛縣會議員ニ選ハレ、市會副議長、同  
議長、縣會副議長ニ舉ケラル、宇和島商工會議所會頭、愛媛縣  
製絲業組合長トナル、現ニ宇和島市長タリ、皇軍慰問ノ爲滿洲  
國へ派遣セラル○當選二回(20 21)

高見之通

富山縣第一區選出、翼贊政治會  
勳四等(旭)、辯護士



明治十三年三月富山市ニ生ル、同四十一年東京帝國大學法科大  
學英法科卒業○富山縣東岩瀬町長、縣賣藥同業組合長トナル、  
宗教制度調査會委員、國有財産調査會委員、寺院境內地處分審  
査會委員、醫藥制度調査會委員被仰付、米國及支那ヲ視察ス○  
當選七回(13 14 15 17 18 20 21)

瀧澤七郎

東京府第四區選出、翼贊政治會  
勳四等、可鍛鑄鐵業



明治十一年一月上田市ニ生ル、同三十年上田蠶種專門學校卒  
業、「養蠶之業」「蠶具大鑑」「歐米工業概觀」「倫敦」「産業一體論」  
「一粒」外數種ノ著書アリ、蠶業ニ從事シ蠶業雜誌ヲ經營ス、  
又長野縣蠶種検査員、上田蠶業講習所長、上田新聞社取締役、  
東京鐵工機械同業組合評議員トナル、本所區會議員、東京市會  
議員、同參事會員ニ選ハル、東京鑄物工業組合、日本鑄物工業  
組合聯合會各理事長、日本鐵鋼製品工業組合聯合會理事タリ、  
都市計畫地方委員、中央失業對策委員會委員被仰付、鑄物金屬  
價格形成專門委員會專門委員、轉廢業者資産評價一般機械專門  
委員會委員被命、東京市ヨリ囑託セラレ二回歐米各國衆議院ヨ  
リ派遣セラレテ滿蒙國境ヲ視察ス、又皇軍慰問ノ爲滿洲へ派  
遣セラル○當選二回(20 21)



竹内俊吉

青森縣第二區選出、翼贊政治會  
會社員



明治三十三年二月青森縣西津輕郡出精村ニ生ル○青森市東奥日報社ニ入社、編輯局總務、同社取締役トナル、從軍記者トシテ北支戰線、南京攻略戰、武漢攻略戰ニ從軍ス、青森縣會議員ニ選ハル、大政翼贊會青森縣協力會議員、同中央協力會議員ヲ委嘱セラル、又滿蒙支ヲ視察ス○當選一回(21)

武知勇記

愛媛縣第一區選出、翼贊政治會  
正五位勳三等



明治二十七年七月愛媛縣伊豫郡南伊豫村ニ生ル、大正三年明治大學法科卒業、「醫藥救國論」「義務教育延長論」「醫藥分業讀本」其ノ他ノ著書アリ○松山市會議員、愛媛縣會議員、同參事會員ニ選ハル、海軍新聞取締役、愛媛新報社副社長兼編輯局長トナル○文部參與官、遞信事務次官ニ被任、國語審議會、宗教制度調査會、體育運動審議會、中央社會事業委員會、電氣通信委員會、船隻管理委員會、造船事業委員會、電力審議會、中央電力調整委員會、航空機製造事業委員會、國民貯蓄獎勵委員會、醫藥制度調査會各委員及遞信省委員被仰付、海軍審議會、航空事業調査委員會各委員被命、大政翼贊會中央協力會議員ヲ委嘱セラル、衆議院ヨリ滿洲國ニ又支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲中支那ヘ派遣セラル○當選五回(17 18 19 20 21)

谷原公

德島縣第一區選出、翼贊政治會  
勳四等、辯護士



明治十七年九月德島縣海部郡川上村ニ生ル、大正三年明治大學法科卒業○嘗テ小學校長タリ、又川上村長、海部郡會議員、同議長、德島縣會議員ニ學ケラル、德島辯護士會長ニ選ハル、高松保護觀察所保護司、土木會議議員、地方分與稅委員會委員被仰付、大政翼贊會德島縣支部顧問、同常務委員ヲ委嘱セラル○當選四回(15 17 18 21)

賴母木眞六

東京府第三區選出、翼贊政治會



明治三十二年一月東京市ニ生ル、慶應義塾大學文學部本科ニ學フ、米國加州大學ニ於テ社會學聽講○米國加州日米新聞記者、大阪朝日新聞桑港特置員、東京朝日新聞記者ヲ經テ、日本放送協會國際課長、國際部長トナル、內閣委員被仰付、歐米並中支那ニ數回出張ス○當選一回(21)



津雲國利

東京府第七區選出、翼贊政治會  
正五位



明治二十六年十月東京府西多摩郡青梅町ニ生ル、安田保善社銀行員養成所卒業○安田銀行員、古川銀行員、下野銀行相談役、下野新報社顧問、下野日日新聞社顧問トナル○拓務政務次官ニ被任、臨時滿洲開拓民審議會、關稅調查委員會、國家總動員審議會、海外拓殖調查會各委員及内閣委員被仰付、大政翼贊會調査委員會委員、同中央協力會議員ヲ委囑セラル、皇軍慰問團長トシテ北支那へ派遣セラル○當選六回(16 17 18 19 20 21)

津崎尚武

鹿兒島縣第一區選出、翼贊政治會  
正五位勳三等、會社重役



明治十五年五月鹿兒島縣肝屬郡小根占村ニ生ル、同四十二年東京帝國大學法科大學卒業、「想と相」となるか滿洲國ノ著書アリ○文官高等試驗合格、長野縣警視、更級郡長、長野縣理事官、同縣視學官ニ歷任ス、後紐育土地建物株式會社社長、東亞産業株式會社其ノ他諸會社ノ取締役トナル、海外協會中央會副會長、財團法人滿洲移住協會理事タリ○厚生政務次官ニ被任、人口食糧問題、國民體力管理制度各調査會委員、鐵道會議議員、國家總動員、體育運動各審議會委員、國立公園、中央社會事業、國民貯蓄獎勵、中央失業對策、中央貸金各委員會委員、海外拓殖調查會臨時委員被仰付、大政翼贊會中央協力會議員ヲ委囑セラル、北米合衆國及支那ヲ視察ス○當選七回(14 15 16 17 18 20 21)

岡師兼武

福岡縣第二區選出、翼贊政治會  
從五位勳四等、公吏



明治十年八月宮崎縣東臼杵郡北浦村ニ生ル○文官高等試驗合格、關東州民政署屬、農商務省山林屬、同林務官、山林事務官ニ歷任ス、其ノ間熊本大林區署經理課長、廣島大林區署庶務課長、高知、熊本、青森、東京各大林區署林務課長トナル、四度、八幡市長ニ選ハレ現ニ其ノ職ニアリ○當選一回(21)

土屋源市

岡山縣第二區選出、翼贊政治會  
農業



明治二十一年七月岡山縣阿哲郡千屋村ニ生ル、同四十年岡山縣立高松農學校獸醫科卒業○阿哲郡吏員、同農業技手ニ被任、岡山縣會議員、同議長ニ舉ケラル、阿哲郡產業組合長、岡山縣畜産組合聯合會副會長、新見町產業組合理事長、阿哲郡商業組合長ニ選ハル、農林省委員被仰付、人事調停委員、借地借家調停委員被命○當選一回(21)



土屋 寬

廣島縣第三區選出、翼贊政治會  
勳四等、農業



明治十三年十二月廣島縣御調郡栗原町ニ生ル○御調郡書記ニ被任、栗原村長、同町長、御調郡農會長、廣島縣農會評議員、帝國農會議員、廣島縣會議員ニ選ハレ、郡部會議長ニ舉ケラル、箕ノ尾道市長タリ、自作農創設維持委員會委員、農林省經濟更生部參與、農地審議會委員被仰付、雜品物價專門委員會、中國地方電力調整委員會、一般農林水產物價格形成專門委員會、廣島縣防空委員會、食料農林水產物價格形成專門委員會各委員被命、皇軍慰問使團長トシテ南支方面へ派遣セララル○當選四回(17 19 20 21)

堤 康次郎

滋賀縣選出、翼贊政治會  
正五位勳三等



明治二十二年三月滋賀縣愛知郡八木莊村ニ生ル、大正二年早稻田大學政治經濟科卒業、「日露財政比較論」ヲ著書アリ○東京商工會議所議員ニ選ハル○拓務政務次官ニ被任、米穀調查會委員、米穀統制調查會、度量衡制度調查會、樺太拓殖調查會、雪害對策調查會、臨時電力調查會、關稅調查委員會、國民精神總動員委員會、住宅對策委員會、臨時滿洲開拓民審議會、交通事業調整委員會各委員、拓務省委員及大東亞省委員被仰付、帝都高速度交通營團理事タリ○當選七回(15 16 17 18 19 20 21)

恒松 於菟二

島根縣第二區選出、翼贊政治會  
從六位、農業



明治二十三年二月島根縣安濃郡大田町ニ生ル、大正二年明治大學政治經濟科卒業○島根縣會議員、同議長ニ舉ケラレ、再度大田町名譽助役トナル、現ニ島根縣農會長、帝國農會議員、島根縣畜產組合聯合會長、中央畜產會理事、島根縣養雞組合聯合會會長タリ、農林計畫委員會、重要肥料業委員會各臨時委員、日本蠶絲統制株式會社設立委員、蠶種審查會、農林保險審查會各委員及農林省委員被仰付○當選一回(21)

鶴 惣 市

福岡縣第三區選出、翼贊政治會  
米穀商



明治二十七年二月大牟田市ニ生ル○合資會社鶴惣商店ヲ設立シ其ノ代表社員トナル、大牟田市會議員、同參事會員、福岡縣會議員、同參事會員ニ選ハル、又福岡縣土地收用審查委員會、臨時社會事業調查會、臨時財政調查會、港灣調查會、都市計畫福岡地方委員會各委員被命、商工省委員被仰付、大政翼贊會調查委員會委員ヲ委囑セララル○當選三回(19 20 21)



鶴見祐輔

岩手縣第二區選出、翼贊政治會  
從四位勳三等



手代木隆吉

北海道第四區選出、翼贊政治會  
正五位勳三等、辯護士



明治十八年一月群馬縣多野郡新町ニ生ル、同四十三年東京帝國大學法科大學政治科卒業、邦文著書四十三卷、英文著書七卷アリ○文官高等試験合格、拓殖局屬、鐵道院書記、同副參事、同參事、鐵道書記官兼鐵道監察官ニ歴任ス、○内務政務次官ニ被任、國際觀光委員會、國語審議會、日本語教科書用圖書調査會、映畫委員會、地方分與稅委員會、中央防空委員會、政府貸付金處理委員會、國民貯蓄獎勵委員會、交通事業調整委員會、瓦斯事業委員會、神社制度調査會各委員及外務省委員被仰付、國際鐵道會議、國際海員會議等ニ帝國政府代表トシテ出席ス、排日移民法實施ニ際シ渡米、同法ノ非ヲ痛論、又同國ニ講演旅行ヲ屢シテ出席爾來引續キ五回同會議ニ出席ス、大政翼贊會調査委員シテ出席爾來引續キ五回同會議ニ出席ス、大政翼贊會調査委員會委員ヲ委嘱セララル○當選四回(16 19 20 21)

明治十七年一月北海道有珠郡伊達町ニ生ル、中央大學法律科卒業○小學校長トナル、判檢事登庸試驗ニ合格、司法官試補ヲ命セラレ、後辭シテ辯護士トナリ其ノ業務ニ從事ス○拓務參與官ニ被任、臺灣拓殖株式會社設立委員、阿片委員會、神社制度調査會、臨時滿洲開拓民審議會、關稅調查委員會各委員被仰付○當選六回(15 17 18 19 20 21)

寺田市正

鹿兒島縣第二區選出、翼贊政治會  
正五位勳三等、公吏



東郷實

鹿兒島縣第二區選出、翼贊政治會  
從四位勳三等(旭)、農學博士



明治九年四月鹿兒島縣薩摩郡東水引村ニ生ル、明治大學法科卒業○時事新報記者、自由通信社副社長トナル○拓務政務次官ニ被任、現ニ川内市長タリ、航空機製造事業委員會、臺灣重要產業調整委員會、關稅調查委員會、海外拓殖委員會、臨時滿洲開拓民審議會各委員被仰付、皇軍慰問ノ爲滿洲國及中支那へ派遣セララル○當選七回(15 16 17 18 19 20 21)

明治十四年十一月鹿兒島縣贈嶺郡財部町ニ生ル、同三十八年札幌農學校本科卒業、後獨逸柏林大學ニ學ブ、日本植民論其ノ他十數ノ植民及農政ニ關スル著書アリ○臺灣彰化南投斗六ノ三郡廳技師兼任、臺灣總督府技師、同官房調査課長、同國勢調査部調査課長、同中央研究所技師ニ歴任、臺灣總督府史料編纂委員會委員、同兼中央研究所技師ニ歴任、臺灣總督府文部政務次官ニ被任、同中央研究所技師、同官房調査課長、同會米穀統制委員會委員、同臺灣重要產業調整委員會、國際信託監督官、教育審議會體育運動審議會重要產業調整委員會、文政審議會、那積立金運用委員會、海外拓殖調查委員會、臺灣拓殖生命保險發支那振興會、日本米穀株式會社設立委員被仰付、北支那省糧管理中支那顧問タリ、大政翼贊會調查委員會委員被仰付、農林省食糧管理局顧問タリ、派遣セララル○當選七回(15 16 17 18 19 20 21)



東條 貞

北海道第五區選出、  
正五位 翼贊政治會



遠山 暉 男

埼玉縣第一區選出、  
鑄物業 翼贊政治會



明治二十六年九月埼玉縣秩父郡白鳥村ニ生ル、大正四年埼玉縣師範學校卒業○小學校訓導、同校長、埼玉縣北足立郡横會根村長トナル、現ニ日本鐵鋼工業株式會社取締役タリ、埼玉縣會議員、同副議長、同議長、川口市會議員、同議長ニ學ケラル、大政翼贊會埼玉縣支部常務委員ヲ委囑セララル○當選一回(21)

富田 愛 次 郎

愛知縣第三區選出、  
正四位勳二等 翼贊政治會



豊田 收

鳥取縣選出、  
從四位勳三等 翼贊政治會



明治十五年十一月鳥取縣東伯郡由良町ニ生ル、同四十二年東京帝國大學法科大學獨逸法律學科卒業、後英國「オックスフォード」大學ニ學ブ○文官高等試驗合格、鐵道院書記、同副參事、同參事、同書記官、鐵道監察官ニ歷任ス、又青山學院講師、中央大學講師トナリ、現ニ鳥取縣育英中學校長タリ、兼ニ鐵道事業研究ノ爲メ歐米各國及亞米利加ニ留學ス○大藏參事官ニ被任、國有財産調査會、中央諸官衙建築準備委員會、關稅調查委員會、北海道具殖計畫調查會、稅制調查會、國家總動員審議會各委員、士木會議員、鐵道會議員及內閣委員被仰付、特別金融制度調査會委員被命、大政翼贊會調查委員會委員ヲ委囑セララル、衆議院ヨリ視察ノ爲メ滿洲國へ、又支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲メ中支那へ派遣セララル○當選六回(16 17 18 19 20 21)

第一編 議員履歷(ト)



豊田 豊吉

茨城縣第一區選出、翼賛政治會  
正五位勳三等



明治二十三年二月茨城縣北相馬郡東文間村ニ生ル、大正六年早稲田大學商科卒業、對支懸案ノ真相ノ著書アリ○ラサ島嶼鑛株式會社員、中華企業株式會社理事トナル○大藏參與官ニ被任、曩ニ東京市助役タリ、國家總動員審議會、稅制調査會、金融評議會、國有財產調査會、中央諸官衙建築準備委員會、國民貯蓄獎勵委員會、臨時資金調整委員會、關稅調查委員會、國民貯蓄獎勵委員會各委員及大藏省委員被仰付、大政翼賛會東京支部參與ヲ委囑セラル、第三十回列國議會同盟會議ニ參列シ歐米各國ヲ視察ス、又皇軍慰問ノ爲滿洲國ニ派遣セララル○當選四回(18 19 20 21)

中 助 松

神奈川縣第一區選出、翼賛政治會



明治三十六年十月富山縣下新川郡浦山村ニ生ル、昭和三年明治大學政治經濟科卒業○農林省囑託トナル、神奈川縣會議員、同參事會員、同副議長ニ學ケラル、皇軍慰問ノ爲滿洲へ派遣セララル○當選一回(21)

中 井 一 夫

兵庫縣第一區選出、翼賛政治會  
正五位勳三等、辯護士



明治二十二年十一月大阪市ニ生ル、大正六年東京帝國法科大學英吉利法律學科卒業○京都、神戸地方裁判所判事ニ歷任ス、後辯護士トナル、兵庫縣會議員、同市部會副議長ニ選ハル○内務參與官ニ被任、石油業委員會、液體燃料委員會、議會制度審議會、中央防空委員會、稅制調査會、都市計畫中央委員會、神社制度調査會、司法制度調査委員會、臨時地方財政補給金委員會各委員、土木會議議員及內務省委員被仰付、大政翼賛會中央協力會議員ヲ委囑セラル、支那各地及南洋方面ヲ視察ス○當選五回(16 18 19 20 21)

中 井 亮 作

熊本縣第二區選出、翼賛政治會  
正七位、農業



明治十八年三月熊本縣天草郡手野村ニ生ル、同四十四年東京帝國大學工科大学造船學科卒業○鐵道管理局技手、遞信局技師ニ被任、現ニ北天草電氣株式會社監查役、熊本縣木材株式會社取締役タリ、手野村會議員、天草郡農會會長、熊本縣購買販賣組合聯合會會長、產業組合中央會熊本支會副會長、熊本縣信用組合聯合會會長、熊本縣森林組合聯合會理事ニ選ハル、農林省委員被仰付、所得稅調査委員、人事調停委員、借地借家調停委員、產業組合中央金庫評議員被命、大政翼賛會熊本縣支部顧問ヲ委囑セラル○當選一回(21)



中井川 浩

茨城縣第二區選出、翼贊政治會  
正五位勳三等、會社員



明治三十三年九月茨城縣那珂郡木崎村ニ生ル、日本大學及早稻田大學ニ學フ○土浦町會議員、茨城縣會議員ニ舉ケラル、拓務省、鐵道省各囑託トナル、又いばらぎ新聞株式會社取締役、財團法人茨城中學校理事トナル○文部大臣祕書官、商工大臣祕書官、陸軍參與官ニ被任、土木會議議員、價格形成中央委員會委員及文部省委員被仰付、大政翼贊會調查委員會委員ヲ囑セラ、皇軍慰問ノ爲滿洲國へ又滿蘇蒙國境視察ノ爲派遣セラ○中華民國國民政府ニ對スル答訪特派大使隨員被仰付○當選四回(18 19 20 21)

中川 寛治

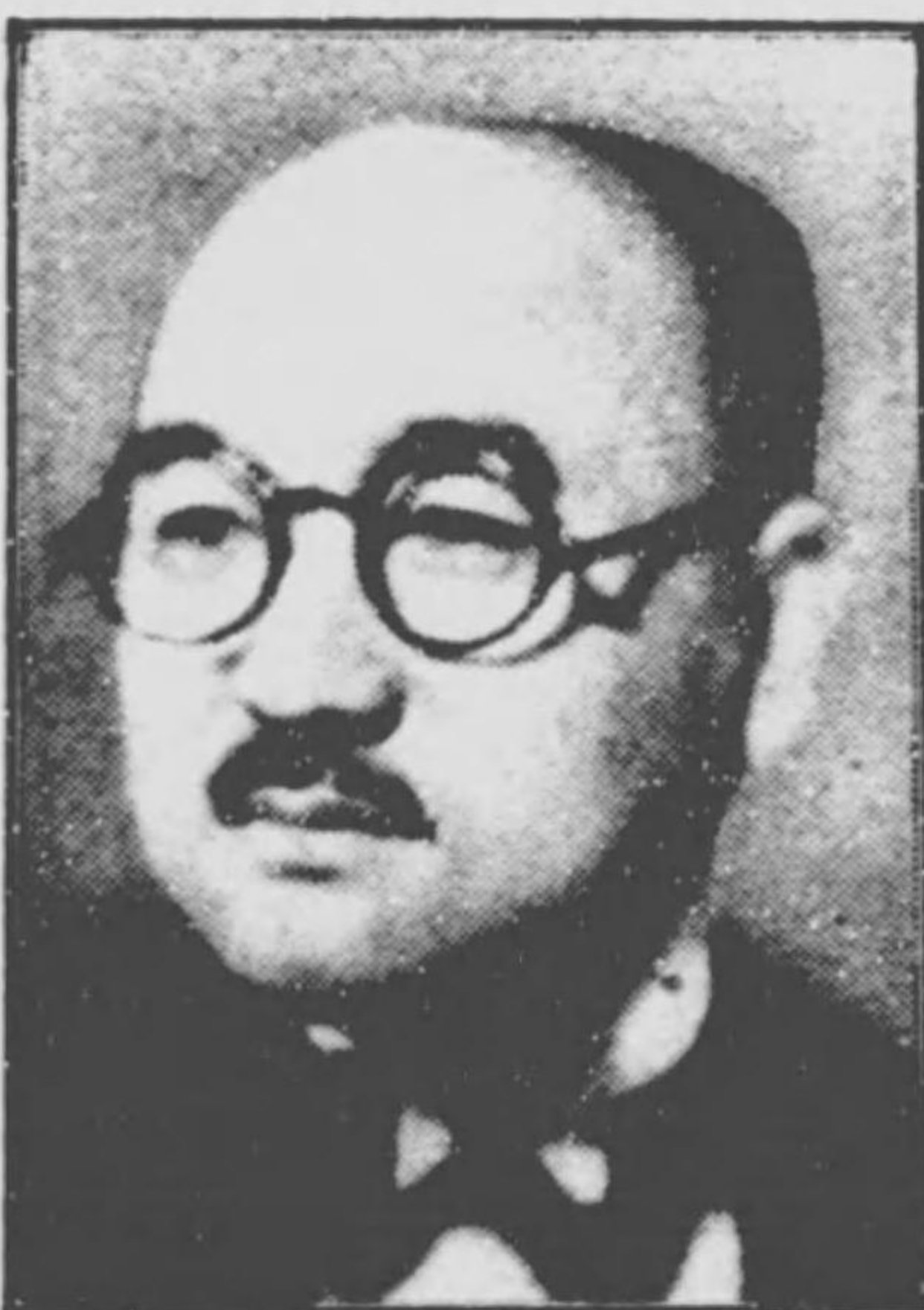
富山縣第一區選出、翼贊政治會  
農業



明治三十年三月富山縣下新井郡泊町ニ生ル、大正八年早稻田大學政治經濟科卒業○泊郵便局長ニ被任、新小川温泉、北陸通運各株式會社取締役トナル、富山縣會議員ニ選ハル、又泊警防團長、泊信用組合組合長タリ、大政翼贊會富山縣協力會議員ヲ委囑セラル○當選一回(21)

中川 重春

秋田縣第一區選出、翼贊政治會  
海運業



明治二十三年六月秋田縣南秋田郡船川港町ニ生ル、早稻田大學專門部政治經濟科ニ學フ○樺太廳囑託ヲ被命、後船川電氣株式會社ヲ創立常務取締役、中川合資會社代表社員社長、中川汽船、船川汽船、船川電氣各株式會社長、男鹿琴湖會長トナル、又有限責任船川信用購買販賣利用組合常務理事、船川町聯合青年團長トナル、南秋田郡會議員、秋田縣會議員ニ選ハレ、現ニ船川町會議員、同町長、同町信用購買販賣利用組合長、同町漁業組合長タリ、相續稅物納同信用購買販賣利用組合長、同町漁業組合長、支那、滿洲ヲ視察ス、第三十三回列國議會同盟會議ニ參列シ歐米各國ヲ視察ス○當選三回(19 20 21)

中越 義幸

高知縣第二區選出、翼贊政治會  
農業



明治二十七年九月高知縣高岡郡檮原村ニ生ル、大正四年高知縣立農林學校卒業○四度高知縣會議員ニ選ハレ、檮原村助役、同村長ニ舉ケラル、高知縣畜產組合聯合會副會長、同森林組合聯合會常務理事タリ○當選一回(21)



中島知久平

群馬縣第一區選出、翼贊政治會  
正三位勳二等、海軍機關大尉



明治十七年一月群馬縣新田郡尾島町ニ生ル、海軍大學校（飛行機專科）卒業○海軍機關大尉ニ任セラル○商工政務次官、鐵道大臣、内閣參議ニ被任、瓦斯事業委員會、農林審議會、不當廉賣審查委員會、國產振興委員會、關稅調查委員會、大東亞建設審議會各委員被仰付、大政翼贊會顧問ヲ委囑セラル、又紀元二千六百年奉祝會顧問ヲ囑託セラル○當選五回（17 18 19 20 21）

中島彌團次

東京府第二區選出、翼贊政治會  
從四位勳三等



明治十九年六月高知縣安藝郡野根村ニ生ル、同四十五年東京帝國大學法科大學卒業○文官高等試驗合格、青森縣屬、專賣局副參事、同參事、大藏大臣秘書官、内務大臣秘書官、内閣總理大臣秘書官、鐵道參事、大藏政務次官ニ被任、法政大學講師、中央大學講師、大洋捕鯨株式會社顧問、トナル、國有財産調查會、關稅調查委員會、東北振興調查會、國際觀光委員會、關稅調整委員會、國民貯蓄獎勵委員會、中央貨金委員會、物價對策審議會、國家總動員審議會、製鐵事業評價審查委員會各委員及大藏省委員被仰付、大政翼贊會參與ヲ委囑セラル、曩ニ「シベリヤ」ニ出張ヲ命セラル○當選六回（16 17 18 19 20 21）

中瀬拙夫

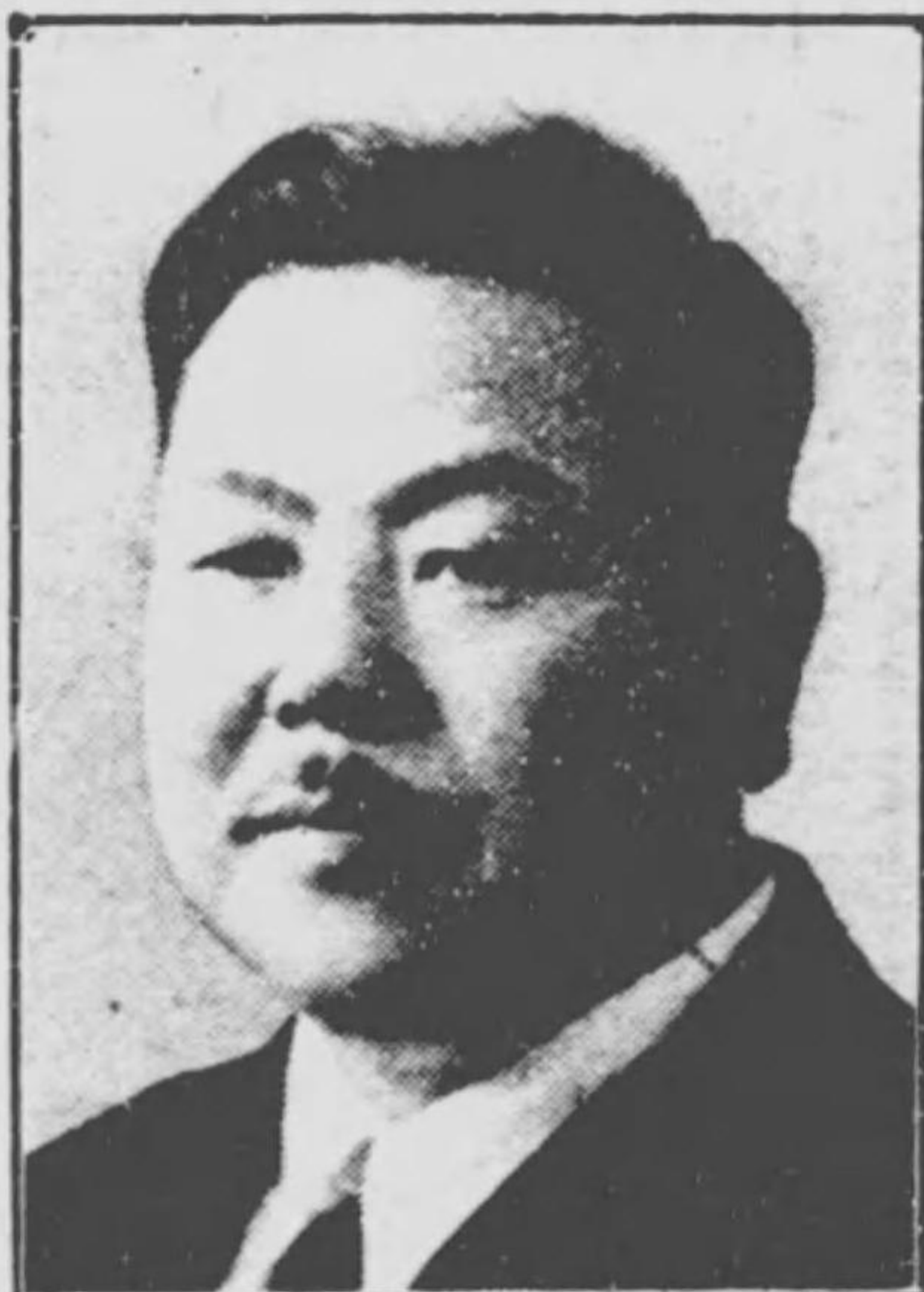
長崎縣第一區選出、翼贊政治會  
正四位勳三等



明治十七年六月島原市ニ生ル、大正三年東京帝國大學法科大學獨法科卒業○臺灣總督府屬、同專賣局長、同殖産局長、臺北州知事ニ歷任ス、其ノ間英、米、佛ニ出張ヲ命セラル、現ニアル「コール」輸送株式會社取締役、日本糖業聯合會常務理事、全國產業團體聯合會理事、食用糖蜜需給調整協議會會長、東亞經濟懇談會參與タリ、關稅調查委員會委員、拓務省委員及大東亞省委員被仰付○佛國政府ヨリ「コマンドル・ドラゴン・ド・ランナン」勳章ヲ贈ラル○當選一回（21）

中谷武世

和歌山縣第一區選出、翼贊政治會  
正八位、陸軍少尉、大學教授



明治三十一年七月和歌山縣海草郡西脇野村ニ生ル、大正十二年東京帝國大學法學部政治科卒業、同大學院ニ於テ政治學ヲ專攻ス○陸軍歩兵少尉ニ被任、陸軍經理學校講師、法政大學講師、同教授、興亞院囑託トナル、大亞細亞協會ヲ創立シ常任理事タリ、又大日本興亞同盟常務理事トナル、新國民政府樹立ニ當リ國民使節トシテ阿部大使ニ隨行シ爾後上海ニ駐在、對支思想工作ニ從事ス、内閣委員及大東亞省委員被仰付、大政翼贊會調查委員會委員ヲ委囑セラル○當選一回（21）







中村梅吉

東京府第六區選出、翼贊政治會  
從五位



明治三十四年三月東京市ニ生ル、大正十一年法政大學法律科卒業○辯護士試験ニ合格、東京府會議員、同參事會員、東京市會議員、同參事會員ニ屢、選ハル、財團法人中村學園ヲ創立シ現ニ其ノ理事長タリ○農林大臣祕書官、大藏大臣祕書官ニ歷任ス、都市計畫東京地方委員會委員及司法省委員被仰付、大政翼贊會中央協力會議員、同調査會委員ヲ委囑セラル、皇軍慰問ノ爲北支那ヘ派遣セラル○當選三回(19 20 21)

中村三之丞

京都府第一區選出、翼贊政治會  
正五位勳三等、著述業



明治二十七年九月京都市ニ生ル、大正七年早稻田大學政治經濟科卒業、後英獨ニ留學政治經濟學ヲ研究ス、英國ノ總選舉ニ我等ノ進むべき道ノ著書及近代都市政治論、日本戰時財政經濟ノ譯書アリ○藤本ビルブローカー銀行員、新舞鶴淺橋倉庫株式會社支配人トナル○商工大臣祕書官、大藏大臣祕書官、大藏參與官ニ被任、關稅調查委員會、稅制調查會、臨時資金調整委員會、國有財産調査會、國家總動員審議會、國民貯蓄獎勵委員會各委員及大藏省委員被仰付、金融評議會委員被命、大政翼贊會參與ヲ委囑セラル、第二十八回列國議會同盟會議ニ參列歐米各國ヲ視察ス、又中支、滿洲國ヲ視察ス○當選四回(18 19 20 21)

中村又七郎

新潟縣第四區選出、翼贊政治會  
正八位、陸軍主計少尉、農業兼漁業



明治十七年一月新潟縣西頸城郡糸魚川町ニ生ル、同四十年早稻田大學政治經濟學科卒業○陸軍主計少尉ニ被任、早稻田大學講師トナル、中央新聞社自由通信社記者、高田日報主筆、同社長トナル、糸魚川町會議員、同町長、新潟縣會議員、同參事會員ニ選ハル、帝國在郷軍人會糸魚川町分會長、同西頸城郡分會副會長、同郡教育會副會長、同郡水產會長、新潟縣漁業組合聯合會長タリ○當選一回(21)

中村庸一郎

千葉縣第三區選出、翼贊政治會  
會社重役



明治二十九年五月千葉縣安房郡瀧田村ニ生ル、大正九年專修大學專門部經理科卒業○現ニ櫻護謨、青島地所建物、羽田調帶、櫻金屬工業、大日本セロファンストロング製作所、國產工具、葵實業各株式會社取締役タリ、大政翼贊會東京市協力會議員、同理事ヲ委囑セラル○當選一回(21)



仲井間宗一

沖繩縣選出、  
正五位  
翼贊政治會



仲西三良

福島縣第二區選出、  
從七位  
公吏  
翼贊政治會



明治二十三年三月福島縣岩瀨郡鏡石村ニ生ル、大正九年東京帝國大學法學部卒業○檢事ニ被任、東京地方裁判所豫備檢事、札幌區裁判所檢事ニ被補、矢吹銀行副頭取、矢吹信用組合理事、西白河郡産業組合聯合會部會長、矢吹町農會長、西白河郡農會議員、福島縣農會議員トナリ、現ニ矢吹町長、西白河郡農會長タリ、臨時東北地方振興計畫調查會委員及內閣委員被仰付○當選三回(192021)

永井柳太郎

石川縣第一區選出、  
正三位  
勳一等  
翼贊政治會



永田良吉

鹿兒島縣第三區選出、  
從七位  
勳三等  
陸軍中尉、  
農業者  
翼贊政治會



第一編 議員履歷(ナ)

明治十四年四月金澤市ニ生ル、同三十八年早稻田大學政治科卒業、後同大學ヨリ英、獨ヘ留學ヲ命セラレ、オックスフォード、マンチエスター、カレッジ卒業、「植民原論」世界政策十講、「戯曲大隈重信」其ノ他數種ノ著書アリ○早稻田大學教授トシテ植民政策並社會政策講座擔當、雜誌「新日本」ノ主筆ヲ兼ス、北陸毎日新聞社長タリ○外務參事官、外務次官、拓務大臣、遞信大臣兼鐵道大臣、遞信大臣ニ歴任、特ニ前官ノ禮遇ヲ賜フ、人口食糧問題調査會、米穀調査會、對支文化事業調査會、救恤審査會、關稅調查會、米穀調查會、對支文化事業調査會、教學刷新評議會、興亞委員會、電力審議會、海外拓殖委員會、株式會社設立委員、長被仰付、大政翼贊會總務委員會、日本發送電株式會社設立委員、遊ヒ戰時並戰後ノ國情ヲ研究ス○中華民國國民政府ニ對スル答訪特派大使トシテ中華民國ヘ差遣セラレ○當選八回(1415161718192021)

明治十九年九月鹿兒島縣肝屬郡大始良村ニ生ル○陸軍砲兵中尉ニ被任、大始良村會議員、同助役、同村長、同村農會長、鹿兒島縣組長、鹿兒島縣參事會議員ニ選ハル、肝屬郡養蠶同業組合副組長、同組長、鹿兒島縣養蠶聯合會副會長、同會長ニ舉ケラル、鹿兒島地方委員會委員及遞信省委員被仰付、第三十一回列國議會同盟會議第二回萬國議院商會被仰付、歐米各列國議會同盟會議又南洋方面ヲ視察ス、支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲北支ヘ派遣セラレ○當選六回(161718192021)



永野護

廣島縣第二區選出、翼贊政治會  
會社重役



明治二十三年九月廣島縣安藝郡下蒲刈島村ニ生ル、大正四年東京帝國大學法學部獨法科卒業○文官高等試驗合格、子爵澁澤榮一氏ニ隨行渡米ス、歸朝後實業界ニ入り各種ノ事業ヲ經營ス、現ニ南武鐵道、伊豆興業、兩館船渠各株式會社監查役、山叶商會、東洋金屬工業、立川瓦斯、三盛鑛業各株式會社取締役、大宮瓦斯、朝鮮砂金鑛業各株式會社專務取締役、日窯硫黃鑛業、大野鑛業、連壽鑛業、廣島土地建物各株式會社取締役副社長又ハ社長タリ、臨時資金調整委員會委員及大藏省委員被仰付○當選一回(21)

永山忠則

廣島縣第三區選出、翼贊政治會  
正五位



明治三十年十月廣島縣比婆郡敷信村ニ生ル○三原女子師範學校附屬小學校訓導ヲ命セラル、廣島縣會議員ニ舉ケラル、八度敷信村長ニ推サレ、現ニ其ノ職ニ在リ、廣島縣敬愛女學校長、數信村農會長、同村產業組合理事、比婆郡在郷軍人分會顧問タリ○厚生參與官ニ被任、中央社會事業委員會、國民體力審議會、中央貸金委員會、國立公園委員會、醫藥制度調查會、阿片委員會、武道振興委員會各委員、中央衛生會臨時委員及內閣委員被仰付、大政翼贊會東亞局庶務部副部長ヲ委嘱セラル、紺綬褒章ヲ下賜セラル○當選三回(19 20 21)

長井源

三重縣第二區選出、翼贊政治會  
辯護士



明治二十七年八月三重縣飯南郡粥見町ニ生ル、大正十二年明治大學法學部法律學科卒業○高等試驗司法科合格、辯護士ヲ開業ス、松阪市會議員、三度三重縣會議員ニ選ハレ、縣會副議長ニ舉ケラル、都市計畫中央委員會臨時委員被仰付、皇軍慰問ノ爲南支那及中支那へ派遣セラル○當選三回(19 20 21)

長沼權一

新潟縣第一區選出、翼贊政治會  
正八位、陸軍少尉、農業



明治二十年九月新潟縣西蒲原郡道上村ニ生ル、同三十七年縣立新潟中學校卒業○歩兵少尉ニ被任、道上村收入役、同村長トナル、帝國在郷軍人會西蒲原部聯合分會長、新潟縣地方裁判所金錢債務調停委員、小作調停委員、人事調停委員、戰時特別調停委員、軍人援護會新潟縣支部理事タリ、大政翼贊會新潟縣支部常務委員、新潟縣翼贊壯年副團長ヲ委嘱セラル○當選一回(21)



長野 高一

東京府第二區選出、  
翼贊政治會  
會社重役



明治二十六年三月愛媛縣越智郡清水村ニ生ル○鶴翼金山、理研  
アルマイト工業各株式會社取締役タリ、下谷區會議員、東京市  
會議員、東京府會議員ニ選ハル、東京市オリンピック委員タリ  
○鐵道省委員被仰付、政治、經濟及社會事情調査ノ爲歐洲各國  
ヲ視察ス○當選三回(19 20 21)

楢橋 渡

福岡縣第三區選出、  
翼贊政治會  
會社重役



明治三十五年三月福岡縣三井郡國分村ニ生ル、佛國リヨン大學  
及パリソンボン大學法學博士科ニ學フ○嘗テ北九州鞍手郡炭坑  
ニテ勞働ニ從事ス、辯護士試驗合格、辯護士ヲ開業シ其ノ業務  
ニ從事ス、東京辯護士會及日本辯護士會ヨリ陪審法調査ノ爲歐  
米ニ派遣セラレ、東京市顧問トナリ佛貨公債訴訟事件應訴ノ爲  
巴里ニ派遣セラレ、佛國側ト協定成リ歸朝ス、東京市ヨリ最高  
功勞章並終身最高名譽職ノ待遇ヲ受ク、國際聯盟協會軍備縮小  
委員、內務省、大藏省、外務省、東京市ノ市債事件三省委員會  
委員、駐佛日本大使館顧問、滿鐵外債工作顧問トナル、現在北  
支ニ於テ政治、經濟工作ニ從事ス、大藏省委員被仰付○當選一  
回(21)

成島 勇

千葉縣第一區選出、  
翼贊政治會  
農業



明治二十四年五月千葉縣東葛飾郡富勢村ニ生ル、大正四年東北  
帝國大學農科大學農學科卒業○臺灣製糖株式會社員トナル、富  
勢村會議員、千葉縣會議員ニ選ハル、現ニ富勢村長ノ職ニ在  
リ、大日本消防協會千葉縣代議員、東葛飾郡農會議員、千葉縣  
販賣購買利用組合特別議員タリ○農林省委員被仰付、農地開發  
營團設立委員被命、支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲南支那へ派遣  
セラレ○當選二回(20 21)

南雲 正朔

北海道第五區選出、  
翼贊政治會  
辯護士

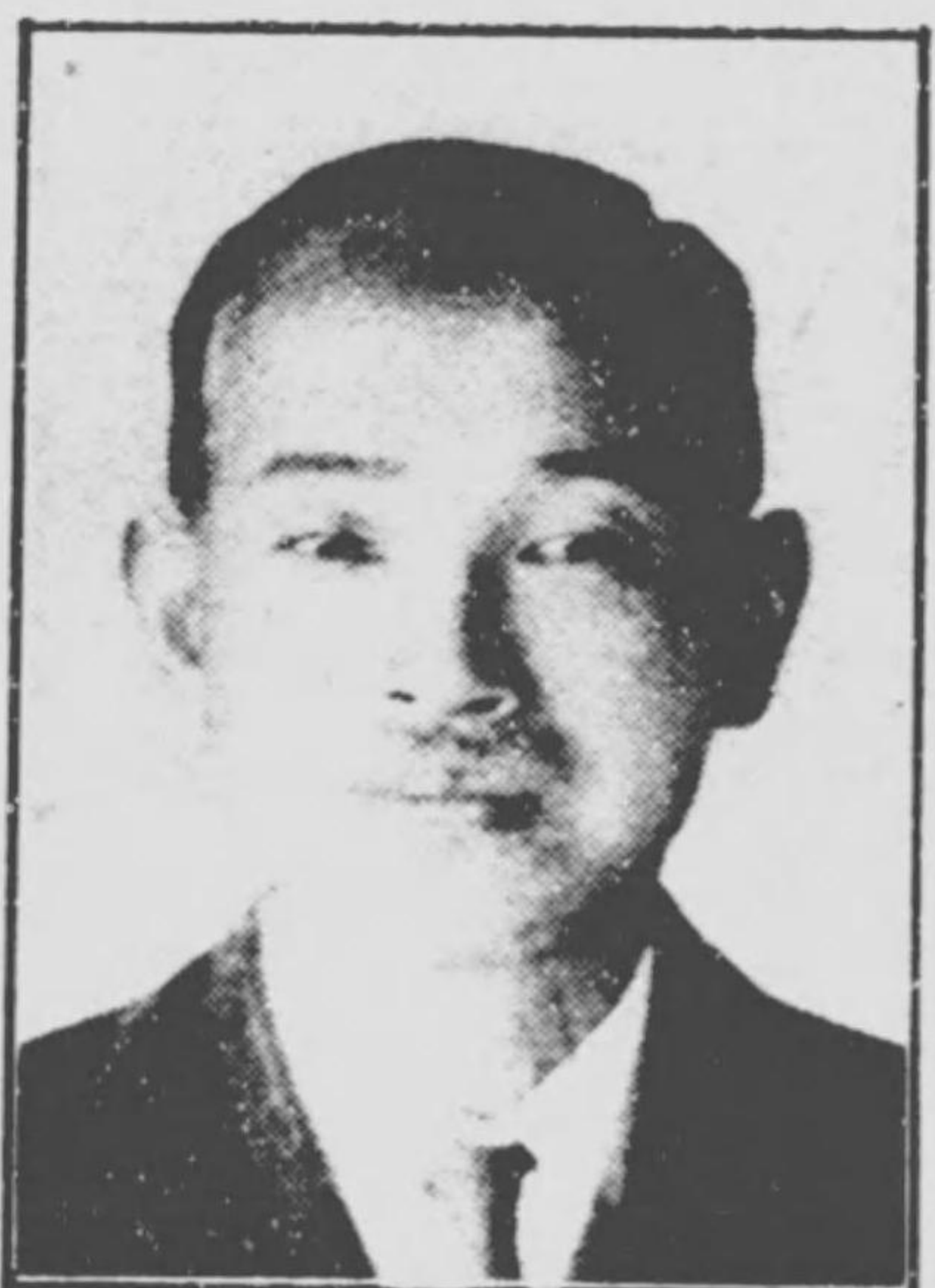


明治三十六年一月群馬縣勢多郡橫野村ニ生ル、昭和三年中央大  
學法學部卒業○高等試驗司法科並行政科試驗合格、辯護士ヲ開  
業シ、其ノ業務ニ從事ス○商工省委員被仰付、滿洲國、中華民  
國及東印度方面ヲ視察ス○當選三回(19 20 21)



南郷武夫

鹿兒島縣第一區選出、  
農業 翼贊政治會



明治十七年三月鹿兒島縣日置郡東市來町ニ生ル、鹿兒島縣立第一中學校卒業○鹿沖木材株式會社取締役トナル、鹿兒島縣會議員ニ選ハレ、東市來町長ニ擧ケラル、縣森林會議員、東市來町農會長、郡農會評議員、鹿兒島縣產業組合聯合會監事、全國森林組合聯合會監事タリ○當選一回(21)

南條徳男

北海道第四區選出、  
從五位、辯護士 翼贊政治會



明治二十八年七月室蘭市ニ生ル、大正九年東京帝國大學獨法科卒業○辯護士ヲ開業シ、其ノ業務ニ從事ス○鐵道大臣祕書官ニ任セラル、登別溫泉株式會社取締役、南光學園及東北藥學專門學校理事、華中鐵道株式會社、東京市電氣局各囑託、國策燐寸軸木工業株式會社長、北海道膽振畜産組合長トナル、鐵道省委員被仰付、大政翼贊會北海道支部參與ヲ委囑セラル○當選三回(19 20 21)

西尾末廣

大阪府第四區選出、  
翼贊政治會



明治二十四年三月香川縣香川郡女木嶋ニ生ル○機械工ヨリ労働運動ニ入り二十五年ニ及フ、國際労働會議ニ労働者側隨員又ハ代表トシテ二回渡歐ス、曩ニ日本労働總同盟副會長、同關西同盟會長タリ○當選五回(16 17 20 補20 21)

西方利馬

山形縣第一區選出、  
勳三等、會社重役 翼贊政治會



明治十六年三月山形縣東置賜郡中川村ニ生ル、大正八年中央大學法學科卒業○昭和工業合資會社有限責任社員、中山葡萄株式會社、山形新聞社各取締役社長タリ、又山形縣會議員ニ選ハル、同縣體育會長トナル、資源審議會、內閣東北局、地方分與稅委員會、關稅調查會各委員及內務省委員被仰付、大政翼贊會調查委員會委員、同中央協力會議員ヲ委囑セラル○當選六回(15 16 18 19 20 21)



西川 貞一

山口縣第一區選出、翼贊政治會  
著述業



西村 茂生

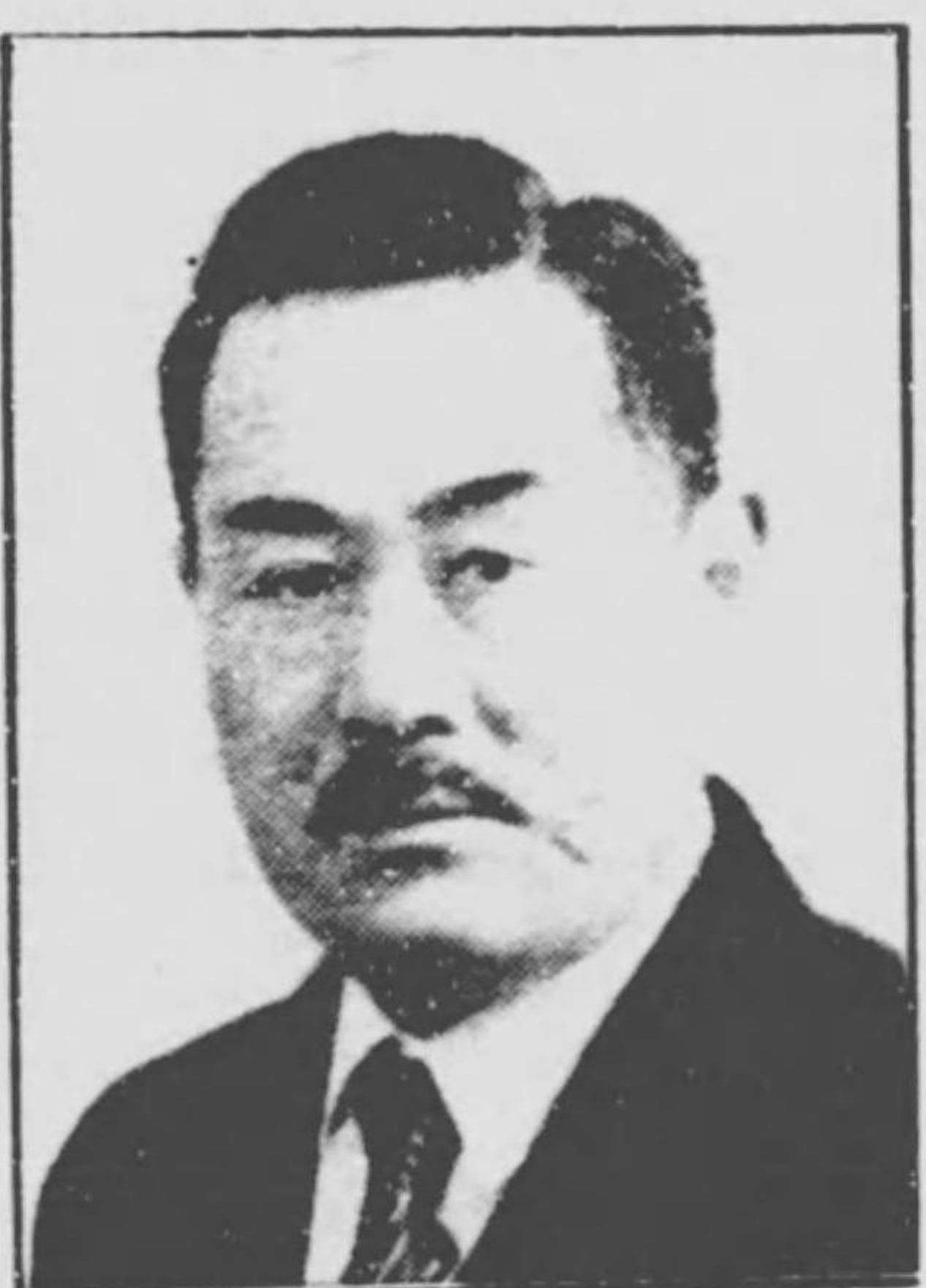
山口縣第二區選出、翼贊政治會  
正五位勳三等、公吏



明治十八年二月岩國市ニ生ル、同四十一年農商務省水産講習所  
養殖科卒業、後同研究科ニテ動物學ヲ專攻ス○水力電氣事業並  
各種水産事業ヲ經營ス、岩國町會議員、政理郡會議員、山口縣  
會議員、同副議長ニ選ハル、營業稅並所得稅調查委員、山口縣  
生産調査會、同産業經濟調查會、同副業調查會、同稅制調査會、  
同電氣事業調査會各委員ヲ囑託セラル、岩國信用組合理事、岩  
國商會會長、岩國消防組頭、山口縣消防義會評議會、大日本消  
防協會常議員及代議員、財團法人食養會理事トナル○海軍參  
官、陸軍政務次官ニ被任、度量衡制度調査會、國民貯蓄獎勵委  
員會各委員被仰付、現ニ岩國名譽市長タリ、大政翼贊會中央協  
力會議員ヲ委囑セラル、議員團理事トシテ南米へ派遣セラル○  
當選六回(16 17 18 19 20 21)

野口 喜一

神奈川縣第二區選出、翼贊政治會  
會社重役



明治二十八年四月川崎市ニ生ル、大正十一年明治大學法科卒業  
○川崎乘合自動車株式會社監査役、株式會社直喜鐵工所、株式  
會社大東鐵工所、川崎食品市場株式會社各取締役タリ、川崎市  
學務委員、同市會議員、同參事會員、神奈川縣會議員、同參事  
會員ニ選ハル、都市計畫地方委員會委員及內閣委員被仰付、大  
政翼贊會神奈川縣支部顧問ヲ委囑セラル、支那事變ニ際シ皇軍  
慰問ノ爲北滿へ、視察ノ爲南洋へ派遣セラル○當選二回(20 21)

野田 武夫

神奈川縣第二區選出、翼贊政治會  
從五位、會社重役



明治二十八年二月熊本縣飽託郡川口村ニ生ル、大正十二年早稻  
田大學獨逸法學部卒業○國民新聞社政治部、東京朝日新聞社政  
治部ニ入ル○商工大臣祕書官ニ任セラル、現ニ横濱貿易新報社  
長、燃料國策研究會專務理事、大協石油株式會社專務取締役、  
油化學工業株式會社取締役社長タリ、商工省委員被仰付、大政  
翼贊會神奈川縣支部參與、同横濱支部參與ヲ委囑セラル○當選  
二回(19 21)



野田正昇

愛知縣第三區選出、翼贊政治會  
正八位勳五等功七級、陸軍少尉、農業



明治九年十二月愛知縣丹羽郡大口村ニ生ル、同四十年早稻田  
大學專門部法律科卒業○陸軍歩兵少尉ニ被任、大口村長、愛知  
縣會議員、同議長ニ舉ケラル、丹羽郡養蠶組合長、同教育會長、同  
桑苗組合長、同町村長會長、同農會長、愛知縣養蠶業組合聯合  
會長、全國養蠶業組合聯合會評議員、愛知縣教育會副會長、縣  
耕地協會副會長トナル、大政翼贊會愛知縣協力會議長、同中央  
協力會議員、縣翼贊壯年團副團長ヲ委嘱セラル○當選一回(21)

野村嘉久馬

宮崎縣選出、翼贊政治會  
農業



明治二十三年五月宮崎縣西諸縣郡高原町ニ生ル、同四十五年東  
京農業大學高等科卒業○高原町長トナル、宮崎縣會議員、同議  
長ニ舉ケラル、大政翼贊會宮崎縣協力會議長、同中央協力會議  
員ヲ委嘱セラル、農林省委員被仰付○當選一回(21)

野本吉兵衛

愛媛縣第三區選出、翼贊政治會  
公吏



明治三十一年六月八幡濱市ニ生ル、大正十一年高千穂高等商業  
學校卒業○八幡濱町會議員、八幡濱市會議員、同市助役ニ舉ケ  
ラレ、現ニ同市長タリ、又愛媛縣方面委員、八幡濱警防團副團  
長トナル、大政翼贊會愛媛縣協力會議員、八幡濱市翼贊壯年團  
長ヲ委嘱セラル○當選一回(21)

信正義雄

滋賀縣選出、翼贊政治會  
辯護士



明治三十年八月奈良縣宇智郡宇智村ニ生ル、大正十一年關西大  
學卒業○大阪府巡查、同警部補ニ被任、辯護士ヲ開業シ其ノ業務  
ニ従事ス、大津市會議員、同副議長、同議長、滋賀縣會議員、同  
副議長ニ舉ケラル、都市計畫地方委員會委員、人事調停委員、  
滋賀縣防空委員會委員被命、大政翼贊會滋賀縣支部參與、同組  
織部長、滋賀縣翼贊壯年團長ヲ委嘱セラル○當選一回(21)



則元卯太郎

長崎縣第一區選出、翼贊政治會  
辯護士



明治二十四年十一月長崎市ニ生ル、大正六年東京帝國大學法科  
大學英法科卒業○辯護士ヲ開業シ今日ニ及フ、六度長崎市會議  
員、三度長崎縣會議員、市會副議長、縣會副議長、辯護士會長  
ニ選ハル、現ニ長崎日日新聞社副社長タリ、司法省委員被仰付  
○當選二回(20 21)

羽田武嗣郎

長野縣第二區選出、翼贊政治會  
從五位、著述業



明治三十六年四月長野縣小縣郡和田村ニ生ル、昭和四年東北帝  
國大學法文學部卒業○東京朝日新聞社政治部記者トナル○鐵道  
大臣祕書官ニ任セラル、鐵道省委員被仰付、大政翼贊會中央訓  
鍊所鍊成部長ヲ委嘱セラル、支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲北滿  
へ派遣セラル○當選二回(20 21)

馬場元治

長崎縣第一區選出、翼贊政治會  
辯護士



明治三十五年十二月長崎縣南高來郡南串山村ニ生ル、大正十四  
年東京帝國大學法學部卒業○高等試驗司法科合格、辯護士ヲ開  
業ス、長崎市會議員、同縣會議員ニ選ハル、選舉制度調査會委  
員及農林省委員被仰付、大政翼贊會調査委員會委員、同本部總  
務部副部長ヲ委嘱セラル○當選三回(19 20 21)

箸本太吉

石川縣第一區選出、翼贊政治會  
正五位勳三等、會社員



明治二十五年七月金澤市ニ生ル、日本大學政治科ニ學フ○中外  
商業新報社政治部記者、同支那、倫敦各特派員、萬朝報社常務  
取締役兼營業並編輯局長、同社專務取締役兼主筆トナル、又少  
年保護司、日本大學講師、同大學祕書、財團法人輔成會囑託、  
少年保護協會幹事トナル○外務參與官ニ被任、度量衡制度調査  
會、國民貯蓄獎勵委員會、對支文化事業調査會各委員及外務省  
委員被仰付○當選五回(16 18 19 20 21)



橋本欣五郎

福岡縣第四區選出、翼贊政治會  
正五位勳三等(旭)功四級、陸軍大佐



明治二十三年二月門司市ニ生ル、陸軍士官學校及陸軍大學校卒業  
○陸軍砲兵大佐ニ被任、其ノ間參謀本部員、トルコ在勤帝國  
大使館附武官、三島野戰重砲兵第二聯隊長タリ、又支那事變ニ  
際シ野戰重砲兵第十三聯隊長トシテ出征ス、後大日本青年黨、  
大日本赤誠會ヲ創立ス、馬政調査會委員被仰付○當選一回(21)

橋本祐幸

東京府第一區選出、翼贊政治會  
從六位



明治二十三年一月福岡市ニ生ル、大正七年東京帝國大學文科大  
學哲學科ニ於テ社會學ヲ專攻ス○高等試驗行政科合格、警視廳  
屬、同警部、同警視、同監察官ニ被任、本所、向島、四谷各警  
察署長ニ被補、東京市會議員、同參事會員、同學務委員ニ選ハ  
ル、曩ニ東京市助役タリ、内閣祝典委員、寺院境內地處分委員  
會委員被仰付、大政翼贊會東京府支部常務委員、同會參與ヲ委  
嘱セラル、日本萬國博覽會外國參同招請委員トシテ歐洲ニ出張  
ス○當選二回(19 21)

鳩山一郎

東京府第二區選出、翼贊政治會  
正三位勳一等(旭)



明治十六年一月東京市ニ生ル、同四十年東京帝國大學法科大學  
卒業○辯護士トナル、東京市會議員、同副議長、同議長ニ選  
ラル○内閣書記官長、再度文部大臣ニ被任、臨時大都會法科大學  
議會、行政制度審議會、對支文化事業調查會、人口食糧問題調  
査會、資源審議會、文政審議會、米穀委員會各委員及鐵道會議  
議員、大禮使次官被仰付、佛國政府ヨリ「グラン・クロア・エト  
アル・ノアル」勳章ヲ贈ラル、第三十三回列國議會同盟會議ニ  
○當選十回(12 13 14 15 16 17 18 19 20 21)

花村四郎

東京府第五區選出、翼贊政治會  
辯護士

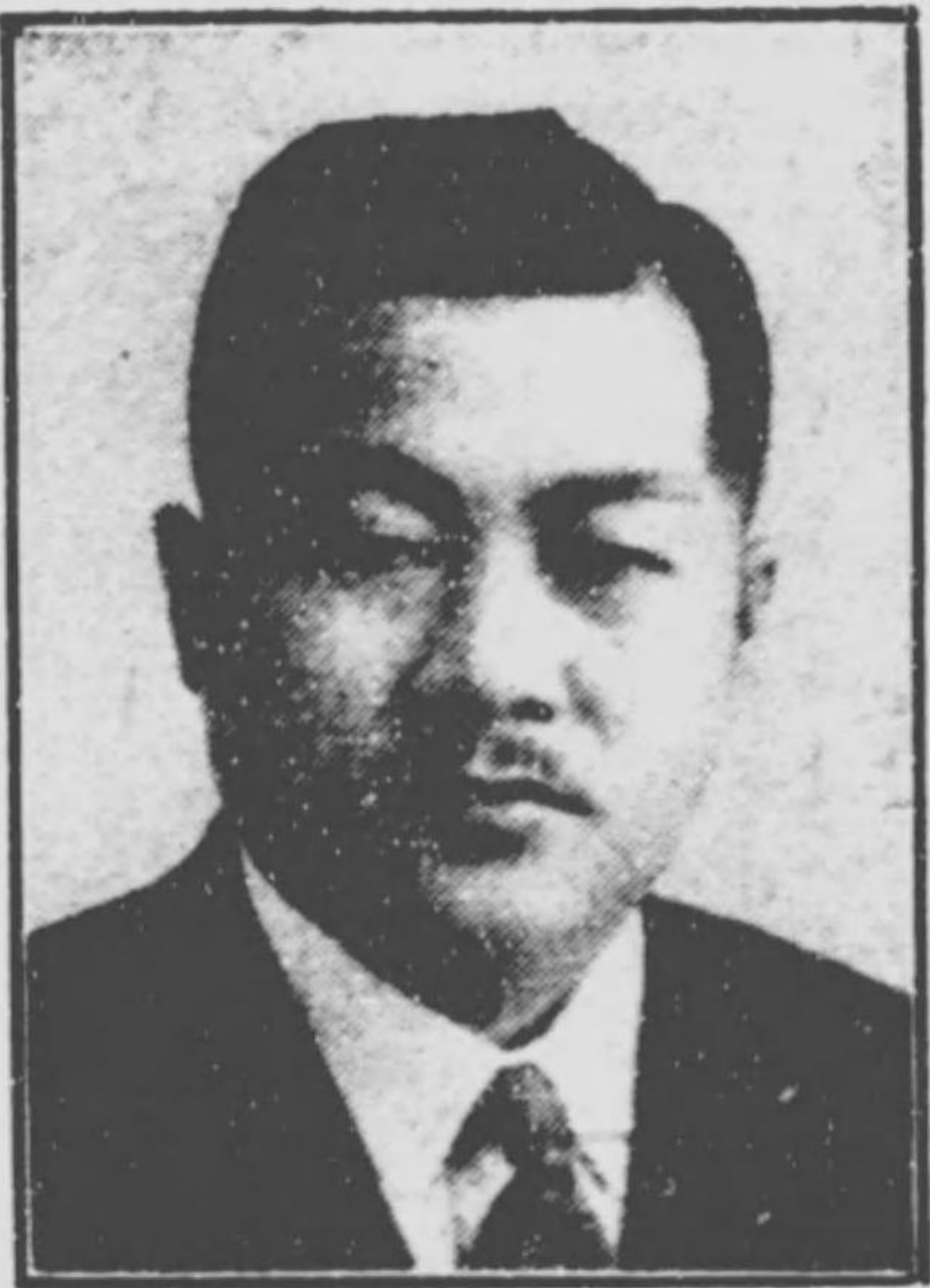


明治二十四年八月長野縣東筑摩郡上川手村ニ生ル、大正六年日  
本大學法科卒業、陪審法通譯ニ最近の歐米を巡りて「東京市政  
と其の刷新」伯林に於テ「最近の歐米を巡りて」等ノ著書アリ  
○辯護士試驗合格、辯護士トナル、東京市會議員、同參事會員、  
大朝報專務取締役兼主筆トナル、東京市會議員、同參事會員、  
萬朝報專務取締役兼主筆トナル、東京市會議員、同參事會員、  
東京府會議員ニ選ハル、佛國新聞從軍特派員トシテ支那各地ノ  
地方委員會委員被仰付、國民新聞從軍特派員トシテ支那各地ノ  
戰線ニ派遣セラル、東京市會議員、同參事會員、同參事會員、  
ニ司法省、東京辯護士會、日本辯護士協會ヨリ司法制度視察ノ爲  
調査研究ノ爲歐米ニ、又日本辯護士協會ヨリ司法制度視察ノ爲  
滿支ニ派遣セララル○當選一回(21)



濱田 尚友

鹿兒島縣第二區選出、翼贊政治會  
正六位



明治四十二年六月鹿兒島縣始良郡國分町ニ生ル、昭和七年早稲田大學政治經濟學部政治學科卒業○東京日日新聞社編輯局、社會部、政治部ニ勤務ス、其ノ間海外特派員トシテ滿洲國ニ、支那事變從軍記者トシテ北支方面ニ特派セラル、又興亞武道具製作會社並販賣會社取締役タリ○厚生大臣祕書官ニ被任、文部省委員被仰付○當選一回(21)

濱地 文平

三重縣第二區選出、翼贊政治會  
水産業



明治二十六年二月三重縣度會郡吉津村ニ生ル、歌集「つゆ草」ノ著アリ○吉津村長、大湊町長トナル、又屢、三重縣會議員ニ選ハル、又山田貨物自動車會社社長トナル、都市計畫中央委員會臨時委員及農林省委員被仰付、神都聖地計畫特別委員被命、支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲北支那へ派遣セラル○當選二回(20 21)

濱野 徹太郎

兵庫縣第一區選出、翼贊政治會  
正五位勳三等、辯護士



明治十八年七月和歌山縣西牟婁郡田並村ニ生ル、大正五年中央大學法科專門部卒業○十數年間小學校訓導タリ、後辯護士試験ニ合格、辯護士ヲ開業現ニ其ノ業務ニ従事ス、神戸辯護士會長ニ舉ケラル○司法參與官ニ被任、選舉制度調査會、船舶管理委員會、議會制度審議會、司法制度調査委員會、法規整備委員會各委員及司法省委員被仰付○當選五回(17 18 19 20 21)

林 信雄

福岡縣第四區選出、翼贊政治會  
辯護士



明治三十二年五月福岡縣朝倉郡朝倉村ニ生ル、大正九年明治大學法科卒業○辯護士試験ニ合格、辯護士ヲ開業シ其ノ業務ニ従事ス、屢、福岡縣會議員ニ選ハル、司法省委員被仰付○當選一回(21)



林 正 男

愛知縣第一區選出、翼贊政治會  
從四位勳三等、海軍少將、會社重役



明治十三年六月名古屋市ニ生ル、同三十七年海軍機關學校卒業  
○海軍機關少尉ニ任官シ累進海軍少將ニ至ル、其ノ間横須賀海  
軍航空隊教官、同機關長、霞ヶ浦海軍航空隊機關長兼教官、海  
軍航空本部造兵監督官、海軍艦政本部造兵監督官、海軍軍令部  
出仕ニ補セラル、大同製鋼、岡本工業、高野精密工業各株式會  
社、名古屋螺子製作所、中央發條製作所、柴田鐵工所各顧問ニ  
就任シ、現ニ株式會社太洋製作所社長タリ○當選一回(21)

林 佳 介

山口縣第一區選出、翼贊政治會  
從七位勳六等(旭)、陸軍中尉、會社重役



明治三十三年七月山口縣佐波郡和田村ニ生ル、大正十三年東京  
帝國大學法學部卒業○陸軍歩兵中尉ニ被任、支那事變ニ應召、  
杭州灣ニ敵前上陸ヲ行ヒ南京城攻略、バイアス灣上陸廣東攻  
戰ニ參加ス、山口縣榮種油製造工業組合事務局長、下關商工會  
所副會頭、下關商業報國會長、山口縣商工聯合會理事、下關  
下關警防團副團長、帝國在郷軍人會下關聯合會理事、下關  
日本油料統制株式會社參事、山口縣醬油統制、下關精密工業、  
山陽電氣軌道株式會社、鐵道省委員被仰付、大政翼贊會山口縣支部  
行監査役ニ就任ス、鐵道省委員被仰付、大政翼贊會山口縣支部  
常務委員、同理事ヲ委嘱セラル○當選一回(21)

原 惣 兵 衛

兵庫縣第四區選出、翼贊政治會  
正五位勳三等、辯護士



明治二十四年一月兵庫縣赤穂郡上郡町ニ生ル、大正七年日本大  
學卒業、後獨逸ベルリン大學及ミュンヘン大學ニ於テ國家學ヲ  
研究ス○辯護士試驗ニ合格シ、辯護士業ニ從事ス、在獨日本  
會常任理事ニ學ケラル、又日本大學幹事兼學生監トナル、東京  
毎日新聞社副社長タリ○鐵道省事務次官ニ被任、法制審議會  
委員、鐵道幹線調査會、交通委員會被仰付、大政翼贊會調査委員  
株式會社設立委員及司法省委員被仰付、大政翼贊會調査委員  
委員ヲ委嘱セラル、第二十九回列國議會同盟會議ニ參列シ、歐米  
各國ヲ視察ス、又南米視察ノ爲議員團長トシテ派遣セラル○當  
選六回(15 16 17 18 20 21)

原 夫 次 郎

島根縣第一區選出、翼贊政治會  
正五位勳三等(旭)、辯護士



明治八年六月島根縣簸川郡檜山村ニ生ル、和佛法律學校卒業○  
廣島地方裁判所判事ニ被補、後東京地方裁判所檢事ニ轉ス、官  
命ヲ帶ヒテ渡歐五ヶ年此ノ間佛國グルノーブル大學ニ學ヒ、次  
テ同國巴里大學法科大學院ヲ卒業、佛國法學博士ノ學位ヲ受ケ、  
「日本ノ新刑事政策」ト題スル佛文ノ論文ヲ公刊ス○東京地方  
裁判所、東京控訴院各檢事、司法省參事官、三度司法大臣祕書  
官、再度内閣總理大臣祕書官、法制局參事官、司法政務次官ニ  
歴任ス、其ノ間警察官、司獄官、司獄官練習所及大學數校各講師、  
日佛協會評議員、内務省警保委員タリ、資源審議會、法制審議  
會、宗教制度調査會、政府貸付金處理委員會各委員被仰付○支  
那司法官教授ノ功ニ依リ同國ヨリ勳四等嘉禾章ヲ受ク○當選八  
回(14 15 16 17 18 19 20 21)



原口純允

鹿兒島縣第二區選出、翼贊政治會  
會社重役



明治三十一年二月鹿兒島縣伊佐郡菱刈町ニ生ル、大正十年東京帝國大學經濟學部卒業○南滿洲鐵道株式會社入社、後南滿洲電氣株式會社奉天、長春支店長、滿洲電業株式會社人事課長、興中公司、北支那開發株式會社電業部次長、濟南電力股份有限公司、芝罘電業股份有限公司各重役、北京敬天語學會長トナル、北京大政翼贊會委員ヲ委囑セラル、大藏省委員被仰付○當選一回(21)

坂東幸太郎

北海道第二區選出、翼贊政治會  
正五位勳三等



明治十四年四月香川縣大川郡相生村ニ生ル、同四十四年早稻田大學政治經濟科卒業、「旭川回顧録」議會ノ内幕」ノ著書アリ○旭川區會議員、同學務委員、旭川商業會議所書記長、旭川市會議員、同副議長、同議長ニ舉ケラル、小作調停委員、北海道拓殖計畫調査會委員ヲ囑託セラル、旭川市青年聯盟團副理事長、旭都青年團長、旭川中央青年團名譽團長タリ、嘗テ雜誌「旭川評論」ヲ發刊ス○鐵道參與官ニ被任、土木會議議員、國際觀光委員會、鐵道幹線調査會各委員被仰付○當選七回(15 16 17 18 19 20 21)

日下田武

栃木縣第二區選出、翼贊政治會  
從七位勳四等、陸軍主計中尉、公吏



明治三十三年二月栃木縣芳賀郡益子町ニ生ル、大正十三年早稻田大學政治經濟部經濟科卒業○陸軍主計中尉ニ被任、支那事變ニ應召シ中支、北支ニ從軍ス、現ニ益子町長タリ○當選一回(21)

肥田琢司

廣島縣第二區選出、翼贊政治會  
著述業

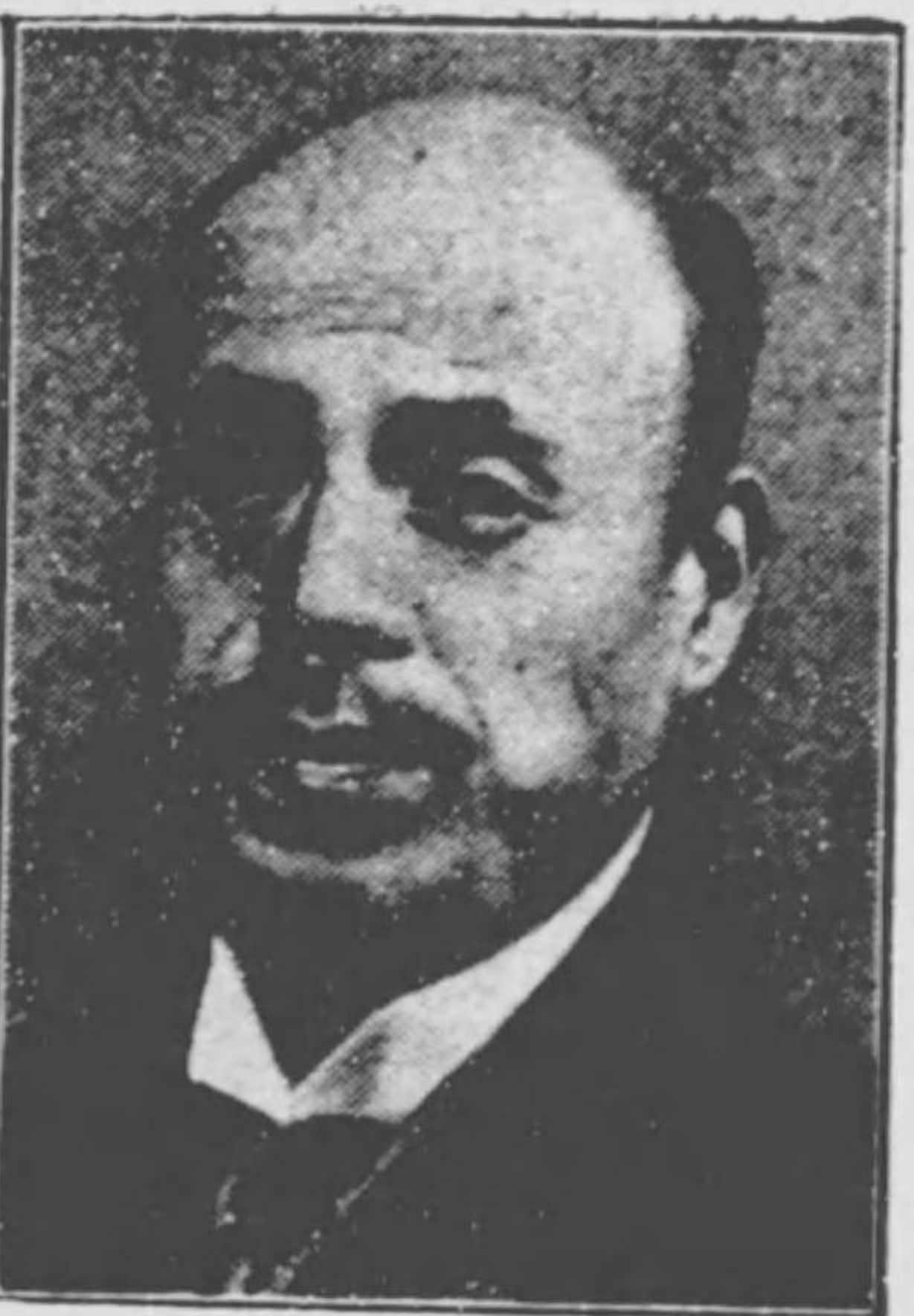


明治二十二年二月廣島縣安藝郡海田市町ニ生ル○千代田印刷株式會社社長、廣島毎夕新聞社長、自由評論社長、東京商業會議所議員、安藝蠶業購買組合長、私立吳英語學校顧問タリ、液體燃料委員會、都市計畫中央委員會各委員及遞信省委員被仰付、大政翼贊會調査委員會委員ヲ委囑セラル、支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲北支那へ派遣セラル○當選四回(16 19 20 21)



樋口善右衛門

愛知縣第二區選出、翼贊政治會  
賣藥業



明治九年三月愛知縣東春日井郡守山町ニ生ル○屢、守山町會議  
員、愛知縣會議員ニ選ハル、支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲北支  
那へ派遣セラル○當選二回(20 21)

一松定吉

大阪府第一區選出、翼贊政治會  
正五位勳三等



明治八年三月大分縣西國東郡高田町ニ生ル、同三十五年明治法  
律學校卒業○兼ニ大分縣波多尋常小學校、東京市育英尋常高  
等小學校訓導ヲ奉職ス、判檢事登用試驗ニ及第、司法官試補、高  
大分地方裁判所判事、長崎區裁判所判事、天草、飯塚、  
佐賀、横濱、大阪各地方兼區裁判所檢事、大阪市會議員ニ舉ケ  
審院檢事ニ被補、後辯護士ノ業務ニ從フ、大阪市會議員ニ舉ケ  
ラル○厚生政務次官ニ被任、都市計畫中央委員會、中央社會事  
業委員會、國民貯蓄獎勵委員會、國立公園委員會、中央賃金委  
員會、國民體力審議會、武道振興委員會、醫藥制度調査會、阿片  
委員會、住宅對策委員會、政府貸付金處理委員會各委員被仰付、  
第三十三回列國議會同盟會議ニ日本議員團長トシテ參列歐米各  
國ヲ視察ス、又厚生省ヨリ中華民國、滿洲國、關東州へ出張ヲ  
命セラル○當選六回(16 17 18 19 20 21)

平川松太郎

神奈川縣第三區選出、翼贊政治會  
正五位勳三等、辯護士



明治十年五月廣島縣雙三郡和田村ニ生ル、同三十四年中央大學  
卒業○辯護士試驗ニ合格シ、辯護士ノ業務ニ従事ス、小田原商  
業學校長タリ○遞信大臣祕書官、遞信參與官、遞信政務次官ニ  
被任、政府貸付金處理、中央失業對策、電氣通信、電氣、船  
舶管理、航空機製造事業、國民貯蓄獎勵、造船事業各委員會委  
員、臨時電力調査會、電力審議會各委員、日本發送電、大日本  
航空、東亞海運各株式會社設立委員、電力評價審查委員會及簡  
易生命保險積立金運用委員會各委員被仰付、大政翼贊會中央協  
力會議員ヲ委嘱セラル、樺太及亞港方面ヲ視察又南洋視察議員  
團長トシテ同方面ヲ視察ス○當選七回(15 16 17 18 19 20 21)

平野力三

山梨縣選出、翼贊政治會  
出版業



明治三十一年十一月岐阜縣郡上郡山田村ニ生ル、拓殖大學支那  
語科及早稻田大學專門部政治經濟科卒業、「現下日本の農業政  
策」ノ著書アリ○日本農民組合關東同盟宣傳部長トナル、日本  
農民黨幹事長、皇道會常任幹事、農地制度改革同盟主事、支那  
農村對策研究所長、產業組合時報社、協同聯合通信社各理事長  
タリ○當選三回(19 20 21)



廣野規矩太郎

滋賀縣選出、翼贊政治會  
會社重役



明治十八年一月彦根市ニ生ル、同四十五年京都帝國大學法學部  
卒業○横濱正金銀行入社、後第三百三十三銀行、滋賀貯蓄銀行、  
近江信託株式會社各取締役、滋賀銀行取締役頭取トナル、彦根、  
大津商工會議所顧問、全國地方銀行協會常任理事、地方銀行統  
制會設立委員タリ、大政翼贊會滋賀縣支部顧問ヲ委嘱セララル○  
當選一回(21)

深澤吉平

北海道第四區選出、翼贊政治會  
農業



明治十八年八月山梨縣中巨摩郡西南湖村ニ生ル○音江村長、北  
村長、北海道會議員、同參事會員ニ選ハル、北海道拓殖計畫改  
訂委員、小作調停委員、債權債務調停委員トナル、音江信用  
買販賣組合ヲ設立シ、其ノ組長、音江村農會會長、北海道製  
酪販賣組合聯合會理事、北海道信用購買販賣組合會理事、  
株式會社北海道興農公社取締役タリ、總動員補償委員會委員被  
仰付、北海道廳ノ囑託ニヨリ、抹國農業研究ノ爲渡歐各國ヲ視  
察ス、支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲北支那及滿洲國へ派遣セラ  
ル○當選三回(19 20 21)

深澤豐太郎

靜岡縣第一區選出、翼贊政治會  
從五位勳三等、著述業



明治二十八年五月清水市ニ生ル、明治大學ニ學ヒ後獨逸ベルリ  
ン大學ニ學フ○栃木縣會書記長、衆議院囑託トナル○農林大臣  
秘書官ニ被任、東京市會議員ニ選ハル、又明治大學評議員、順  
天中學校理事タリ、海外拓殖委員會、海外拓殖調査會、臨時  
滿洲開拓民審議會、總動員補償委員會各委員、拓務省委員及大  
東亞省委員被仰付、大政翼贊會調査委員會委員ヲ委嘱セララル、  
滿蘇蒙國境視察ノ爲派遣セララル、又第三十二回列國議會同盟會  
議ニ參列歐米各國ヲ視察ス○當選五回(17 18 19 20 21)

深水吉毅

熊本縣第二區選出、翼贊政治會  
農業



明治二十一年二月熊本縣葦北郡水俣町ニ生ル、同四十五年明治  
大學法科專門部卒業○株式會社水俣銀行頭取ニ就任ス、葦北郡  
農會會長、熊本縣農會議員、同縣會議員、同議長ニ舉ケラル、又  
三度水俣町長トナル、大政翼贊會熊本支部常務委員ヲ委嘱セラ  
ル○當選一回(21)



福井甚三

奈良縣選出、翼贊政治會  
正五位勳三等



明治七年十二月奈良縣生駒郡富鄉村ニ生ル○生駒土地株式會社  
長、城南土地、日本家畜土地、大阪商品市場、有明炭礦、炭礦  
商船、北鮮產業各株式會社重役、大和日報社長タリ、小作調停  
委員、帝國農會特別委員、奈良縣農會長、奈良縣出荷聯盟會長  
トナル○内務參與官ニ被任、土木會議議員、紀元二千六百年祝  
典評議委員會、國家總動員審議會、稅制調查會、中央防空委員  
會、神社制度調查會、臨時地方財政補給金委員會、政府貸付金  
處理委員會各委員被仰付、第二十八回列國議會同盟會議ニ議員  
團長トシテ參列歐米各國ヲ視察ス○當選七回(14 15 16 18 19 20 21)

福田重清

茨城縣第二區選出、翼贊政治會  
從七位、陸軍主計少尉、會社員



明治二十二年四月富山縣中新川郡中加積町ニ生ル、同四十二年  
中央大學本科法律科卒業○陸軍三等主計ニ被任、日立鑛山事務  
所ニ入り、現ニ副所長タリ、日立市長トナル、茨城縣選舉肅正  
委員會委員、水戸保護觀察所保護司、茨城縣地方物價委員會、  
水戸保護觀察所審查會、中小工業者職業轉換協議會各委員、茨  
城縣青少年團副團長タリ、司法省委員被仰付、大政翼贊會茨城縣  
協力會議長、同中央協力會議員ヲ委囑セラル○當選一回(21)

福家俊一

東京府第一區選出、翼贊政治會  
著述業



明治四十五年三月香川縣香川郡一宮村ニ生ル、大阪府立生野中  
學校ニ學フ○「斯民」「大陸新報」「新申報」「滿洲出版文化機關東  
光書苑」等ヲ創設經營シ、其ノ社長トナリ現在ニ至ル、支那派  
遣軍總司令部、興亞院囑託ヲ命セラル、内閣委員被仰付○滿洲  
國國務院囑託トシテ泰國、ビルマ、佛印、南洋各地へ出張ヲ命  
セラル○當選一回(21)

藤井伊右衛門

長野縣第一區選出、翼贊政治會  
正八位、陸軍少尉、釀造業



明治二十三年二月長野市ニ生ル、同四十五年大阪高等工業學校  
釀造科卒業○陸軍工兵少尉ニ被任、北信酒造組合長、長野縣酒  
造組合聯合會評議員、縣酒類販賣、醬油販賣統制各株式會社取  
締役タリ、長野市長ニ就任ス、長野縣方面委員、長野保護觀察  
審查會副會長トナル、大政翼贊會長長野縣支部常務委員ヲ委囑セ  
ラル○當選一回(21)



藤生安太郎

佐賀縣第二區選出、翼贊政治會  
正五位勳三等



藤本捨助

香川縣第一區選出、翼贊政治會  
從六位、著述業



二田是儀

秋田縣第一區選出、翼贊政治會  
公吏



船田中

栃木縣第一區選出、翼贊政治會  
正五位勳三等



明治二十八年八月唐津市ニ生ル、大正七年東京外國語學校卒業  
○新潟縣立村上中學校、陸軍士官學校、東京高等學校、拓殖大  
學各教師ヲ囑託セラル、其ノ間北白川宮永久王、竹田宮恒徳王、  
朝香宮鳩彦王、李王各殿下ニ柔道師範タリ、曩ニ衆議院議長祕  
書、現ニ大日本清風會專務理事、武道公論社長タリ○遞信參與  
官ニ被任、國民貯蓄獎勵委員會、武道振興委員會、船舶管理委  
員會、造船事業委員會、電力審議會、航空機製造事業委員會各  
委員及遞信省委員被仰付、大政翼贊會調查委員會委員ヲ委囑セ  
ラル○當選四回(18 19 20 21)

明治二十七年十二月香川縣大川郡引田町ニ生ル、東京高等師範  
學校及東北帝國大學法文學部卒業、「日本民法總論」ノ著書ア  
リ○小學校訓導、東京高等師範學校助教兼訓導、高松高等商  
業學校講師、同教授ニ歷任ス、其ノ間法律學研究ノ爲英、米、  
獨各國ニ留學ヲ命セラル、大阪商科大學講師トナル、現ニ香川  
縣家具商工組合聯合會會長、香川縣木材統制會社長タリ、木材  
統制委員會臨時委員及文部省委員被仰付、大政翼贊會香川縣協  
力會議長、同中央協力會議員ヲ委囑セラル、中華民國ニ出張ヲ  
命セラル○當選二回(20 21)

明治二十八年七月山形縣西村山郡高松村ニ生ル、大正十年東京  
帝國大學文學部印度哲學科卒業○五度天王村長ニ當選シ現ニ其  
ノ職ニアリ、三度秋田縣會議員ニ選ハル、又南秋田郡農會長、  
同郡町村長會長、秋田醫療購買利用組合聯合會長トナル、都市  
計畫秋田地方委員會委員被命、農林省委員被仰付、大政翼贊會  
南秋田郡支部長、同秋田縣支部常務委員ヲ委囑セラル○當選一  
回(21)

明治二十八年四月宇都宮市ニ生ル、大正七年東京帝國大學法科  
大學卒業、「地方財政研究」ヲ選舉法令通解ニ著書アリ○内務  
屬、福島、愛知各縣理事官、拓殖事務局事務官、内閣書記官ニ  
歴任ス、又東京市助役、東京市長代理トナル、曩ニ下野中學校  
主兼校長タリ、又財團法人下野中學校ヲ創立シ終身理事トナ  
ル、現ニ東京商工會議所理事タリ○内閣總理大臣祕書官、外務  
參與官、法制局長官ニ被任、企畫審議會、議會制度審議會、特  
許補償審査會、國家總動員審議會各委員及厚生省委員被仰付、  
大政翼贊會中央協力會議員ヲ委囑セラル、第二十八回列國議會  
同盟會議ニ、又第卅五回同會議ニハ議員團長トシテ參列歐米各  
國ヲ視察ス○當選五回(17 18 19 20 21)



船渡佐輔

岐阜縣第一區選出、  
農山林業  
翼贊政治會



明治二十一年七月岐阜縣武儀郡洞戸村ニ生ル、同四十三年早稻  
田大學商科卒業○洞戸村長、洞戸郵便局長タリ、關町會議員、岐  
阜縣會議員ニ選ハル、現ニ岐阜縣水産會長、岐阜縣貨物自動車  
運送事業組合理事長タリ○當選一回(21)

古河和一郎

兵庫縣第四區選出、  
計理士  
翼贊政治會



明治二十年六月兵庫縣神崎郡田原村ニ生ル、關西大學專門部法  
律科ニ學フ○稅務署屬ニ被任、株式仲買店ヲ經營シ、後計理士  
ヲ開業シ其ノ業務ニ從事ス、大阪市、府各計理士會理事、同會  
長タリ○當選二回(19 21)

古田喜三太

廣島縣第一區選出、  
信用組合專務理事  
翼贊政治會



明治二十一年二月廣島市ニ生ル○四度廣島縣會議員ニ當選シ、  
縣參事會員ニ選ハル、廣島市農會議員、貸賃價格調査委員、產  
業調査委員トナル、祇園高等女學校理事、廣島縣拓務協理會  
理事、同移住組合理事、廣島特殊木工品工業組合理事長、三篠信  
用組合專務理事タリ、商工省委員被仰付、大政翼贊會廣島市顧  
問、同調査委員會委員ヲ委嘱セラル、滿洲ヲ視察ス、支那事變  
ニ際シ皇軍慰問ノ爲北支那へ派遣セラル○當選三回(19 20 21)

古屋慶隆

岐阜縣第三區選出、  
從四位勳二等  
翼贊政治會



明治十二年十二月岐阜縣惠那郡大井町ニ生ル、京都同志社及明  
治大學卒業○鐵道參與官、內務政務次官ニ被任、鐵道會議臨時  
議員、衆議院議員選舉法改正調査會、失業防止委員會、保健衛  
生調査會、勞働保險調査會、資源審議會、傷痍軍人保護對策審  
議會、國家總動員審議會、臨時資金調整委員會各委員被仰付、  
大政翼贊會調査委員會委員ヲ委嘱セラル○當選九回(12 13 14 15  
17 18 19 20 21)



別所喜一郎

滋賀縣選出、翼贊政治會  
醸造業、公吏



明治二十三年三月滋賀縣甲賀郡水口町ニ生ル、縣立八幡商業學校卒業○醬油醸造ノ家業ヲ繼承シテ今日ニ至ル、又酒造會社ヲ創立シ現ニ其ノ社長タリ、水口町會議員、甲賀郡會議員、滋賀縣會議員ニ選ハル、水口町長ニ七度選ハレ現ニ其ノ職ニアリ、滋賀縣町村長會長ニ舉ケラル、滋賀司法保護委員會參與、滋賀縣防空委員會委員、大政翼贊會滋賀縣支部常務委員、同臨時中央協會議員ヲ委囑セラル、内務省委員被仰付、皇軍慰問ノ爲滿洲へ派遣セラル○當選一回(21)

星

福島縣第三區選出、翼贊政治會  
製藥業



明治六年十二月福島縣石城郡錦村ニ生ル、同二十七年東京商業學校卒業、後北米「コロンビア」大學ニ入り「マスター・オブ・アーツ」ノ學位ヲ受ク、英文「日本商工便覽」「官吏學」「選舉大學」ノ著アリ○紐育市ニ於テ「日米週報及雜誌」「ジャパン・エント・アメリカ」ヲ發刊ス、又小名木川製藥所ヲ創立シ製藥ニ從事ス、星製藥株式會社、戰友共濟生命保險株式會社、低溫工業株式會社各社長トナル、又星製藥商業學校ヲ創立シ其ノ校長トナル、大政翼贊會調査委員會委員ヲ委囑セラル、巴里開催ノ萬國新聞記者大會ニ參列ス○當選三回(10 20 21)

星島二郎

岡山縣第二區選出、翼贊政治會  
正五位勳三等



明治二十年十一月岡山縣兒島郡藤戸町ニ生ル、大正六年東京帝國大學法科大學獨法科卒業、「最近憲法論」「最近の歐米を見る」ノ著書アリ○帝國大學青年會、お茶の水文化アソシエーション、財團法人贊育會、家庭購買組合、法律扶助會各理事、隆文館株式會社社長トナル○鐵道參與官、司法政務次官ニ被任、對支文化事業調査會、國有財產調査會、社會事業調査會、國際觀光委員會、傷痍軍人保護對策審議會、中央社會事業委員會、交通事業調整委員會、司法制度調査委員會、小運送制度調査委員會、家事審判制度調査委員會各委員被仰付、第三十一回列國議會同盟會議ニ議員團長トシテ參列シ歐米各國ヲ視察ス○當選八回(14 15 16 17 18 19 20 21)

星野靖之助

北海道第四區選出、翼贊政治會



明治三十二年一月北海道夕張郡夕張町ニ生ル、大正十四年慶應義塾大學經濟學部卒業○三井鑛山株式會社、三井合名會社各社員トナル、司法省刑事局、内務省警保局各囑託ヲ命セラル、内閣委員被仰付○當選一回(21)



堀内一雄

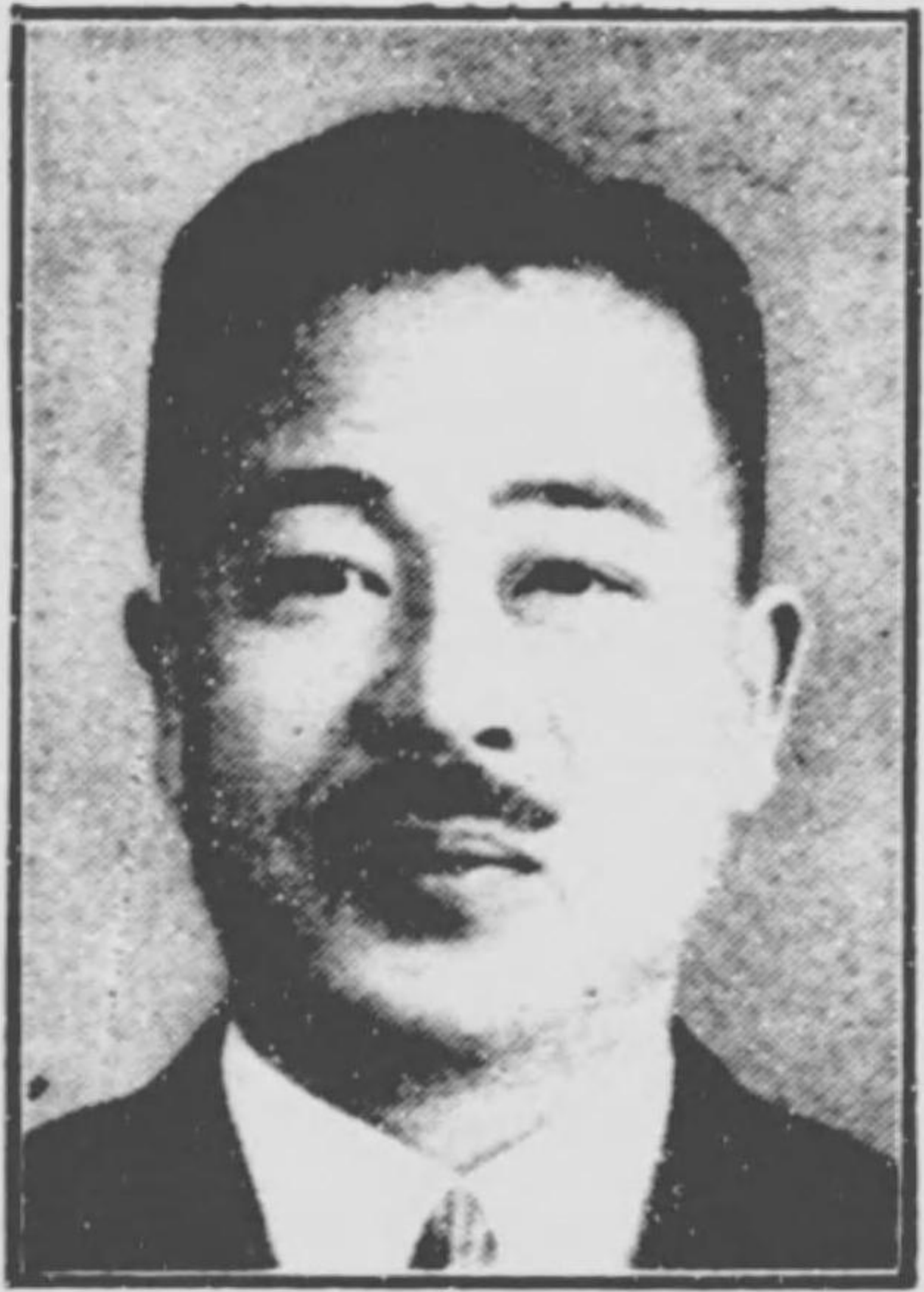
山梨縣選出、翼贊政治會  
正六位勳四等、陸軍少佐



明治二十六年九月山梨縣東八代郡黒駒村ニ生ル○陸軍士官學校  
及陸軍大學校卒業、歐米留學○陸軍少佐ニ被任、其ノ間歩兵  
第四十九聯隊中隊長、參謀本部附、關東軍幕僚附、第九師團參  
謀ニ補セラル、滿洲國陸軍少將ニ任セラレ第一軍管區參謀長ニ  
補セラル、後滿洲國總務廳弘報處長、安東省次長兼大東港建  
設局長ニ被任、滿洲帝國協和會中央本部委員、同參與、安東省  
本部長ニ就任ス、内閣委員被仰付○當選一回(21)

本多市郎

東京府第四區選出、翼贊政治會  
著述業



明治二十八年十一月長崎縣南高來郡南有馬町ニ生ル、大正十四  
年中央大學法學部卒業、「最近の世界を巡りて」ノ著書アリ○復  
興局屬ニ被任、東京市會議員、同參事會員、府會議員ニ選ハル、  
内閣委員被仰付、東京市ノ囑託トシテ歐米二十ヶ國五十餘都市  
ノ都市施設並社會狀勢ヲ視察ス○當選一回(21)

本多鋼治

愛知縣第四區選出、翼贊政治會  
農業



明治二十六年十二月愛知縣西加茂郡猿投村ニ生ル、京北中學校  
卒業○愛知縣會議員ニ選ハル、西加茂郡農會長、愛知縣農會副  
會長、愛知縣養蠶業組合評議員トナル、商工省委員被仰付○當  
選一回(21)

本領信治郎

東京府第五區選出、翼贊政治會  
著述業



明治三十六年十月京都市ニ生ル、昭和三年早稻田大學政治經濟  
學部卒業、同大学院ニ學フ、經濟學研究ノ爲歐洲各國ニ留學  
ス、「青年の信條」外數種ノ著書アリ○早稻田大學附屬第二早稻  
田高等學院講師兼學生係、同教授トナリ、専門部政治經濟科講  
師ヲ兼ヌ、外務省委員被仰付、大政翼贊會總務局宣傳部副部長  
ヲ委囑セラル○當選一回(21)



間宮成吉

岐阜縣第三區選出、翼贊政治會  
正八位、陸軍少尉、農業



明治三十一年二月岐阜縣加茂郡古井町ニ生ル、大正九年上田蠶絲專門學校卒業○陸軍砲兵少尉ニ被任、田原村長トナル、岐阜縣會議員、同參事會員ニ選ハル、全國組合製絲組合評議員、岐阜縣繭價協定委員、全國生絲販賣組合聯合會相談役、岐阜縣信用購買組合聯合會理事、同農地委員、同資源回收委員タリ、大政翼贊會岐阜縣支部庶務部長、同常務委員ヲ委嘱セラル、皇軍慰問ノ爲北支那へ派遣セラル○當選一回(21)

眞崎勝次

佐賀縣第一區選出、翼贊政治會  
從四位勳三等、海軍少將



明治十七年十二月佐賀縣神崎郡境野村ニ生ル、海軍兵學校及海軍大學校卒業、「非常時局讀本」ノ著書アリ○海軍少尉ヨリ累進海軍少將ニ至ル、其ノ間軍艦香取分隊長トシテ日獨戰爭ニ從軍ス、海軍軍令部出仕、同參謀、ソグイエット聯邦在勤帝國大使館附武官、隱戶艦長、大湊要港部參謀長、橫須賀防備隊司令、橫須賀海軍人事部長兼橫須賀鎮守府人事長、橫須賀警備戰隊司令官、大湊要港部司令官、軍令部出仕ニ補セラル○外務省委員被仰付、情況調査ノ爲尼港ニ派遣セラル、又浦塩ニ駐在ス○當選一回(21)

眞鍋儀十

東京府第四區選出、翼贊政治會  
正五位勳三等



明治二十四年九月長崎縣壹岐郡箱崎村ニ生ル、大正九年明治大學法科卒業、「新選舉法解釋」「府縣制通」「浮世哲學」「滿洲大觀」等ノ著書アリ○衆議院臨時囑託、遞信省囑託トナル、現ニ東京電工株式會社取締役、城北電線株式會社、東京機器製作所各社長タリ○海軍參與官ニ被任、政府貸付金處理委員會、社會保健調査會、米穀配給調整中央委員會、國民貯蓄獎勵委員會各委員及遞信省委員被仰付、大政翼贊會調査委員會委員ヲ委嘱セラル、海軍省ヨリ中華民國ニ派遣セラル、又支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲北滿へ派遣セラル○當選五回(17 18 19 20 21)

前川正一

香川縣第一區選出、翼贊政治會  
著述業



明治三十一年二月高松市ニ生ル、京都同志社大學ニ學フ、「農民組合の話」「百姓貧乏物語」ノ著書アリ○曾テ小學校代用教員タリ、農民組合運動ニ携ハリ全國農民組合組織部長トナル、香川縣農地委員、小作調停委員被命、大政翼贊會香川縣支部顧問ヲ委嘱セラル、支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲滿洲國へ派遣セラル○當選二回(20 21)